

ひ雨季は次第に短縮し遂に無雨の地となるのである。

【住民・生業】 前述の如き氣候であるから土地は大體に於て北より南に沙漠・草原・森林と變化し、肥沃な耕地も少くない。住民の數は三百萬内外に過ぎず、多くはアラビヤ族又は其の黒人と雜種で、生業は主として農牧に従事し、<sup>シヤブ</sup>稷・椰子・棉・護謨等を栽培してゐる。

此の地方は往時埃及の一部であつたが、十九世紀の後半より英國の勢力加はり一時は英埃共同行政の下にあつたが政治經濟の實權は今や英國の掌中に歸したのである。(大正十三年十一月英國の Sudan 總督兼埃及軍總指揮官たる <sup>スタック</sup>少將が埃及の兇漢の手に付れたのを好機とし、英國は高壓的に要求して埃及 Sudan 地方に於ける同國の實權を愈確實にした。)

【都邑】 ハルツーム (Khartum) (カルツーム) 碧・白兩ナイルの合流地點に當り、内地交通の要地を占め、埃及 Sudan の首邑である。人口十六萬三千。

ポートスタン (Port Sudan) 紅海岸に位し、埃及 Sudan の門戸をなしてゐる。元埃及 Sudan の産物はナイル河及び縦貫鐵道により埃及に運ばれたのであるが、近年本港の設備整ひ、此處よりナイル河畔のベルベラに通ずる鐵道開通して縦貫鐵道と連絡することとなつたので、ポートスタンは重要な海港となつたのである。

### 第三項 バーバリー諸國 (Barbary States)

【境域】 バーバリー諸國は阿弗利加の西北部海岸地方で、大體サハラ沙漠の北邊以北の地を占め、大部地中海に面してゐる。中に伊太利領トリポリ、佛領アルゼリヤ及びチュニス、及びモロッコの四地方を包含してゐる。

【地形・氣候】 此の地方の西北部には海岸線に並行して略々東西に走るアトラス山脈(自然地理の項参照)があつて、阿弗利加北部の單調な地形を破つてゐる。山脈の北部は南阿の東南海岸地方と共に阿弗利加中氣候・地味の最も善い處で、早くから住民も多く文化も進んでゐた地方である。山脈の南麓は急に下つて一帯の低地をなし、東部の如きは海面下に屬する窪地がある。けれども此の地方は埃及に接せるトリポリ地方と共に殆ど無雨の地帯で氣候も大陸的であり、従て不毛な土地をなし、人煙稀に産業上の價値も殆どない。海岸は東部に於て大きな凹字形の灣入もあるも良港灣をなす處なく、西部は絶壁多く、中部も單調である。

#### 一、トリポリ及びキレナイカ (Tripoli and Cyrenaica)

【總説】 バーバリー地方の東部を占め、伊太利領である。面積約百十萬方呎(七一、四〇〇方

里) 海岸の小部を除く外大部は不無地である。従て住民は海岸の狭長なる地帯と、内地の谿谷又はオアシスに住むのみで、總數百萬に満たない。ネグロ族多數を占め、アラブ族これに次ぎ、其他猶太族及び小數の歐羅巴人がゐる。言語は伊太利語及びアラビヤ語行はれ、宗教は回教が最も盛である。

住民の多くは農牧に従ひ、海岸地方にはアルファ草の特産がある。この草は禾本科の多年生草本で強き纖維を有し、蓆・網等の製作に用ひ、近年は製紙の原料として歐羅巴諸國に輸出されてゐる。其他穀類・果物・煙草・棉花等の産あるも多からず。又近海には海綿を産する。此の國は隊商貿易の盛な所で、即ち駱駝で沙漠を横斷してスダン地方と往來し、象牙・金・駱鳥の羽毛等を持ち來り歐洲産の工藝品と交換するのである。

此の國は約九十年前土耳其領となつたが、明治四十四年伊土戦争の結果伊太利領となつたのである。

【都邑】 トリポリ(Tripoli) 西北海岸に位し此の地方の首府で地方唯一の要港である。人口七萬三千。毎年此處を起點とし八ヶ所に沙漠横斷隊がでる。此等の隊商は何れも一千乃至三千の駱駝よりなり、武装したアラブ人に護衛せられ、ムルズクを経てスダン地方のクカ及びカノに至るもの及びトリポリから直に西南ニジェル河畔のチンブクツに至るものは最も主要なものである。ムルズク(Murzuk)は内地に於ける泉地オアシスの一都會で、隊商の集合地である。

## 一、チュニス(Tunis)

【總説】 バイバリー地方の中央ガベス灣に面する一帯の地で地中海を隔て、近くシシリー島及びサルチニヤ島に對してゐる。面積約十六萬七千方呎(約一〇、八四〇方里)、アトラス山脈の東端に當り北部は山地なるも海岸地方には沃地があり、オリーブ・無花果・葡萄等の果樹よく茂り、麥類・アルファ草・獸皮・海綿等の産もある。

チュニスは二千數百年前地中海に覇を稱へたカルタゴの地で、爾來幾變遷、中頃土耳其のサルタンに貢進し、西曆千八百八十一年(明治十四年)佛軍に迫られ其の保護國となつた。君主があつて自治の體を備ふるも實權は佛國官吏に歸してゐる。

【都邑】 チュニス(Tunis) チュニス灣に通ずるチュニス湖岸に位し、人口約十七萬、此の地は西紀六七〇年アラビア人の建設に係り一時は回教學藝の中心となつてゐた。今や佛人の手により西方アルゼリヤ及び南方ガベスに鐵道を通じ、交通上の要地となり、商業繁盛し、阿弗利加屈

指の都市である。

**カルタゴ**(Carthage) チュニスの北東チュニス灣に面し史上有名なカルタゴの廢墟がある。西紀前八八〇年頃フェニキヤ植民の建設せし都市で一時地中海の覇權を握り、七十餘萬の人口を有する大都會となつてゐたが、新興のローマと覇を争ふこと百數十年、遂に敗れて市は全く灰燼に歸し今や殆ど其の名殘を留めぬ。

**ビセルタ**(Bizerta) 北岸の重要な港で佛國の軍港である。

## 二、アルゼリヤ (Algeria)

**【總説】** バイバリー地方の略々中央を占め、北は地中海を隔てて佛蘭西の南岸及び西班牙の東岸に對し、東はチュニス・トリポリに西はモロッコに接してゐる。(南及び東の境界は明確でない處がある。面積約五十七萬三千方呎(三七、二〇〇方里)、人口約五百八十萬、内佛蘭西人約五十萬餘、土人は多く回教を奉じ、歐人は基督教徒である。

南部のアルゼリヤ領サハラ及び中部のアトラス山地は地味礫礫であるが、北部地中海岸からアトラス山麓には豊沃な耕地を展開し、穀類・煙草及び葡萄・無花果・オリーブ等の果物を出し、中部高原には羊・山羊・牛・馬・駱駝等牧養せられ、南部のオアシスには棗椰子の産がある。而してアルファ草は本地方の一富源で中部の廣い地方を掩ふて野生してゐる。鑛産には燐鑛・鐵・亞鉛等もあるも未だ産出は多くない。

本地方は約百年前佛蘭西に征服せられ、近時其の植民地として著しく發展し佛領中最も重要な地方となつてゐる。此くて土人もよく佛國の統治に服し、歐洲大戰の際の如き土人兵が本國兵を援けた功勞は多大なものがあつたと傳へられてゐる。本國より總督を派遣して統治してゐるが、北部の三州の如きは殆ど本國と同様の政治組織をなし、各々數名の代表者を本國議會に送つてゐる。

**【都邑】** **アルジエー**(Algiers) 地中海岸の一丘陵に立ち、展望外観頗る壯麗であるから「銀色都」の名がある。佛領となつてから著しく發展し、本城の政治商業の中心となつてゐる。人口二十萬餘、對岸のマルセイユとの間に汽船の往來甚だ頻繁である。

**オーラン**(Oran) アルジエーの西方海岸に位し、人口十四萬六千、本城第二の都會で、アルファ草の輸出盛に、内外商業の一中心なしてゐる。

## 四、モロッコ (Morocco)

【總説】 バーバリー地方の西部を占め、面積五十七萬二千方杆(約三七、一〇〇方里)、人口約三百五十萬、地形・氣候略々アルゼリヤに似たるも、アトラス山脈は本域に於て高度最も大となり、四千米以上の高峰が少くない。住民の多くはベルベル人及びアラビヤ人で、回教を奉じ、地中海岸の歐洲人も移住してゐる。

山脈以外の土地は概ね肥沃で、農耕牧畜行はれ、麥類・玉蜀黍・羊毛・果物の産がある。有名なモロッコ皮(野生の山羊の皮革で書籍の表装に用ゐらるゝことが多い)は本域の特産である。

【政治】 本域はバーバリー諸國中最も晚く迄獨立君主國として存立してゐた國であるが、十九世紀の終頃から佛國の勢力次第に加はり佛國は此處に政治的に優越なる地歩を確立せんとした。然るに日露戰爭中獨逸皇帝は突然モロッコを訪問し、其の王を煽動して佛蘭西の勢力を驅逐せしめんとしたので、此處に所謂モロッコ問題なるものを生じ、關係列國の間一時急を告げた事があつたが、明治四十四年獨逸はモロッコに於ける佛國の保護權を認め、其の代償として阿弗利加中部に於ける佛領コンゴの約半分(三十萬方杆)を得たのである。此處に於て從來獨立專制の君主であつたモロッコのサルタン(回教の君主)は、内外の政務皆佛國の指揮を受くる事となつた。唯北部西班牙の對岸にあたる一部の地方エル・リフ(El Rif)は西班牙に屬し、其の西北ジブラルタル海峡に臨むタンジエル附近の一小區は、モロッコ王の主權を認め、事實上は英・佛・西三國の共同管理の下にある。

【都邑】 ラバット(Rabat) 大西洋岸に位する商港で、現今政府の所在地である。佛國の總督此處に駐在し、人口約三萬八千。

フェズ(Fes) ラバットの東方アトラス山脈の北麓に位し、モロッコの舊都で嘗て回教文化の中心をなし壯大なる寺院があり教徒の聖地の一である。人口十一萬。

タンジール(Tangier) ジブラルタル海峡に臨み、地中海の咽喉を扼しモロッコ第一の貿易港である。位置形勝な地點を占むるを以て其の所屬問題に關し英・佛・西三國の間に久しく紛争を續けてゐたが、近年附近の小區域と共にモロッコ王主權の下に三國の共同管理となつたのである。  
セウダ(Ceuta) タンジールの東方海岸に臨み、重要な位置を占め、西班牙領中の要港である。

#### 第四項 サハラ (Sahara) 附リオ・デ・オロ (Rio de Oro)

【境域】 サハラ(亞刺比亞語の沙漠の義)はバーバリー諸國の南部一帯の廣大なる地域を占むる荒寥不毛な高原で、東西四千七百杆、南北千五百七十杆、面積實に九百二十三萬方杆(約五九九、

〇〇方里)、我が全面積の十三倍餘にあたる。

抑サハラ沙漠は舊大陸の中部に横はる一大缺雨帯(蒙古よりタクラマカン・中亞南部・イラン・亞刺比亞を通じサハラに連る。)の一部で、單調な茫漠たる沙漠ではなく、山岳・丘陵起伏し、其の間に洞河(Wadi)があり、往時の大河床又は湖水の跡と想はれるものも少くない。又沙漠の島嶼若しくは港とも稱せられる泉地(Oasis)處々にあつて、渺茫たる荒野の中に綠野を展開し、棗・椰子等よく繁茂して沙漠旅行者の爲に好個の寄泊地となり、其の大なるものには定住者の部落を見る處もある。近年佛人はアルゼリヤの沙漠地方に鑿井により人工的泉地を造り廣大な椰子林を開いて成功してゐる。

【氣候】 極端な大陸的氣候をあらはし、晝間は暑氣酷烈で乾燥を極め、樹蔭にあつて尙四十五度乃至五十度に上るも、夜間は零下二度若くは五度に降り、其の變化の激しき事他に類がない。夜間往々百雷の一時に落つるやうな響を聞くのは、溫度の激變のために岩石が破碎するによると云はれてゐる。又乳を暖めるに之を皮革に入れ、太陽熱の爲に熱せる小石を拾ひ一つづつ袋の中に入るれば、乳は次第に熱せられ遂には沸騰するに至り、肉を焼くには直接太陽熱を受けてゐる岩石上に之を置き數回位置をかゆれば焼肉が出来ると云ふ。

降雨の稀なる事は沙漠生成の一大原因で、土地も空氣も甚しく乾燥し、數年に亘り一滴の雨もない處がある。風もよく吹き其の烈しき時は隊商等は進行を妨げられ駱駝の蔭に休息するも、往々にして砂塵の爲に全滅する事、海洋で船舶の風浪の爲に難破するやうなものがあると云ふ。けれども旅行者を最も苦しめるのは熱風砂塵よりも寧ろ渴にあつて、誤て泉地を發見する事が出来な



第三章 地方誌

駱駝の旅

い折とか、時に依つて慄悍な土人が泉地を防衛して近づけぬ時等は遂に渴死することがある。又旅行者を屢々驚かすのは蜃氣樓で、荒野の中に綠滴る林や冷水の湧出する泉等が出現するのである。

【天産・交通】 沙漠と云へば荒蕪不毛の砂地のやうに考へらるゝも、泉地や冬季雨を見る地方では、草木繁茂し兎・羊・牛等棲息し、特に泉地には椰子樹繁り、果樹・牧草・小麦・玉蜀黍等を栽培してゐる所もある。又岩鹽處々に出て椰子と共にサハラ地方の二大天産である。椰子は土人の常食となり、又南方のスタン地方から送られる駱鳥の羽毛や砂

金と共に唯一の商品として歐洲の雜貨と交易される。交通機關としては「沙漠の船」の稱ある駝が唯一の機關で、隊商は之を追ひ泉地を辿りつゝ進むので、所謂踏み分け路が出来てゐる。

◎【駝隊商】 駝は驚くべき渴に耐ふる性質を有し、大抵三四日間に一回水と與ふれば足りる。甚だしきは十三日間一滴の水も飲まないで勞役に服し渴に耐ふるのがある。且つ四十貫から五十五貫迄の重荷を負擔し熱砂の上を一日二十五軒乃至三十軒の行程を歩行しても何等疲勞の様が見えない。之を以て蒙古・北支那・波斯・小亞細亞・亞刺比亞等沙漠のある處には早くから使用せられ多大な利便を與へてゐる。近年は濠太刺利にも輸入せられ彼の廣大な沙漠に使用せられてゐる。沙漠の旅は如何に駝でも日中は耐へ得ないから、又夜行は不可能であるので、拂曉と黄昏とをえらぶのである。而して中部スダンからサハラを越えて地中海に出づるには、其の最も利便で且つ最短行路たるフェザンの泉地からトリポリに到る道程を取ると猶且三ヶ月以上を費さればならぬ。サハラを横斷するには斯かる困難がある上に、屢々「沙漠の舟」を襲ふ海賊の如き強盜が現はれ、隊伍を組んで掠奪殺傷するので、行商は多人數隊を組み所謂隊商(Caravans)なるものを作り、小銃・短刀・劍等の武器を携へて其の安全を計るのである。(牧口氏「人生地理學」による)

◎【住民・政治】 多くは泉地に定住し或は泉地より泉地へ遊居してゐるものもある。其の數は五十萬乃至二百萬と稱せられ甚だ不確實である。ネグロ族及びアラビヤ人混住し、歐洲人は大西洋岸

地方に居住來往するに過ぎない。生業は農牧を主とし、各自生活に必要な日用器具の製作には巧なものがある。此の大沙漠は政治上諸邦に分割せられ、北東部は埃及及び英國に、北部はトリポリ・アルジェリヤに、西北はモロッコに屬し、大西洋岸の大部は西班牙の所領なるも、サハラの大部は佛國の勢力範圍に屬するのである。

◎【リオデオロ】 (Rio de Oro) サハラ沙漠の西端に當り大西洋に面し、面積二五八、〇〇〇方軒(一萬七千方里)人口三萬、西班牙の所屬で行政上近海のカナリヤ諸島に屬してゐる。

◎【練習問題】 (一) ナイル河流域の地理を詳説すべし(文檢)。(二) 埃及の産業に就て記せ。(三) ナイル河沿岸の都市を擧げて説明せよ。(四) 蘇士運河につきて詳述せよ(文檢)。(五) パーバリー地方の産業を問ふ。(六) パーバリー地方の政治區劃及各首府を問ふ。(七) 次の諸項に就き説明せよ。(イ) カイロ(海兵、高等)、(ロ) アレキサンドリア(商船、女師)、(ハ) ボートサイド(高等、小商)、(ニ) アスワン(文檢)、(ホ) バルツーム(東師)、(ヘ) トリポリ(海兵、商船、小商)、(ト) チュニス、(チ) アルジェー(文檢)、(リ) タンジユル(長商、海兵)、(ヌ) モロッコ(海兵、高等)、(ル) フェズ(文檢、外語)、(ラ) ラバット (カ) ラナ(文檢)。

◎【研究問題】 ① 暗黒大陸中埃及のみが早くより文化發達せる理由如何。② 埃及に於けるナイル河と産業

との關係を考察せよ。●サハラ沙漠は阿弗利加の交通及び開發を如何に妨げてゐるか。

## 第二節 中部阿弗利加

【位置】 洲の中部を占め、北はサハラ地方に接し、東は紅海の南部より印度洋に、西は大西洋に面し、南は凡そ南緯十七八度の邊で南阿弗利加と分たれてゐる。

### 第一項 スーダン地方 (Sudan)

【境域】 サハラ沙漠の南邊からギネア灣に及び、東はナイル河の上流地方に達し、阿弗利加の中央を略々東西に貫く廣大なる地帯の總稱で、南北の境界の如き甚だ明瞭を缺いてゐる。南部阿弗利加より北方に次第に低くなつて來てゐる高臺は、此の地域に於て三分し、東部はアビシニヤ高臺をなし、中部はナイル河西方の分水嶺となり、西部はギネア灣沿岸一帯の高原となつて其等の間にファッシ・ダ盆地とチャード湖を中心とする内陸流域の大盆地を作り、前者の諸水は集つてナイル河に注いでゐる。而して本域中重要な地帯はニ・ジル河中流以下の地とギネア灣岸の海岸平野とである。

【氣候・天産】 氣温は著しく高きも、南するに従ひ降雨多く、南部の如きは本洲第一の降雨地をなし、(自然地理の項参照)暑熱稍々調節せらる。植物も大體に於て北部より草原・サバンナ・森林と變化し、諸種の猛獸毒蛇が棲息してゐる。産物には砂金・象牙・駝鳥の羽毛・護謨・皮革等もあるも、産業は一般に幼稚の域を脱せぬ。

【中部スーダン】 大體に於てチャード湖を中心とし之に注ぐ諸川の流域地方で、中に幾多の回教を奉ずる黒人の酋長國もあるも、英・佛兩國の勢力範圍となつてゐる。酋長國の主なるものにはチャード湖の東部を占むるワダイ(Wadai)、西南部のボルヌ(Bornu)及び、其の西部のソコト(Sokoto)等があり、チャード湖畔のクカ(Kuka)は本域の中心市場で、數千の草屋よりなり、人口五萬に達す。嘗て黒人大帝國の首都たりし處で今はボルヌの酋長が居り、隊商貿易の一大要路にあつて、トリポリとの間に隊商の交通が盛である。

【西部スーダン】 キネア灣の北岸なる上ギネア地方と、其西方セネガンビア地方とを總稱し、スダン地方中の主要部である。本域の大部は佛蘭西に屬してゐるが、海岸地方には英領處々に間在し、黒人唯一の獨立國たるリ、ベリアは西南海岸に、西岸には葡領ギネアの小地域がある。又ギネア灣岸の略中部には英領黄金海岸と佛領タホメに挟まれ、獨領トゴランドがあつたが、歐洲大戦中

英佛に分割された。海岸は一般に單調で、ギネア灣に面し奴隸海岸 (Slave Coast)・黄金海岸 (Gold Coast)・象牙海岸 (Ivory Coast)・穀物海岸 (Grain Coast) 等の名あるは、往時其等海岸の輸出物に因んで附けられた名稱である。

●佛領 本域に於ける佛領の總面積は四百七十萬方秆餘に及び、千三百萬の住民を抱擁してゐる。其の主要なる地帯をなすのはニジェル河の上流地方で、農耕に適する廣い流域を展開してゐる。河畔のチンブクツ (Timbuktu) は北方サハラ沙漠に接する市場で、沙漠北部のモロッコ・アルジェリヤ等より來る五大隊商路此處に集り、隊商貿易の一大中心である。

海岸地方に於ける佛領には、ギネア灣岸の略々中央に面するダホメ (Dahomey)・同灣岸の西部に面する象牙海岸地方、及び西岸に佛領ギネアとセネガルとがある。土地の開発は猶初期に屬するも、椰子・護謨樹等を始め熱帯植物よく繁茂し、椰子油・護謨等の産少からず。都邑の繁華なるものは少いが、セネガルの西端ヘルデ岬の附近なるダカル (Dakar) は天然の良錨地を控え、佛領西部阿弗利加總督此處に駐在し、政治商業の一中心をなしてゐる。

●英領 本域の英領は四ヶ所に散在してゐる。今其等の面積人口を表示すれば、

ニジェリヤ (Nigeria)	一、八七三、〇〇〇方秆 (二二〇、〇〇〇方里)	一七、五〇〇千人
黄金海岸 (Gold Coast) 及び トランド (Togoland)	一四二、四〇〇方秆	九、〇〇〇方里
シエラレオネ (Sierra Leone)	八〇、三〇〇方秆	二五、二〇〇方里
ガンバヤ (Gambia)	一〇、九〇〇方秆	七、〇〇〇方里
計	二二四、九〇〇方秆	二二〇、八五〇千人

ニジェリヤのニジェル河流域は英領中の主要部で、殊に其の廣大な三角洲には椰子樹繁茂し、其他有用植物よく栽培せられてゐる。其の西方奴隸海岸に面するラゴス (Lagos) はニジェリヤの首府で、深い入江の咽喉を扼し、内地に鐵道を通じ、政治商業の中心としてギネア灣岸第一の都會である。人口七萬三千餘、往時は重要な奴隸市場の一であつた處である。ニジェリヤの東境に沿へる狭長なる地帯は元獨領カメルンの一部で歐洲大戰後英國の委任統治に歸し、其の面積七萬五千方秆、人口約百萬。

●リベリア共和國 (Liberia) 面積九五四、〇〇〇方秆、人口約百五十萬。此の國は西曆一八二二年北米合衆國で解放せられた奴隸の收容を目的として植民會社が起つたのに始まり、今より約八十年前英・佛の後援により獨立した。リベリアの國名は自由 (Liberia) に因み、首府モンロービア (Monrovia) は米國大統領モンローの名に因めるものである。政治は北米合衆國に則り、大



統領及び副統領がある。此の共和國は歐洲の政治組織をなす唯一の黒人國として頗る興味を以て見られ、當初稍々政治の見るべきものありしも、近年は特有の蠻風を發揮し、屢々擾亂を起してゐる。而して解放された奴隸の子孫は約一萬五千に過ぎず、他は舊來の土民で、英語を公用語としてゐる。

## 第二項 下ギネア地方 (Lower Guinea)

【境域】 ギネア灣の東岸カメルンから南方アンゴラに至り、内部はコンゴ河の大流域を占むる地方を總稱して下ギネア地方と呼ぶのである。本地域の大部はコンゴ河の流域に屬し、其の周邊は阿弗利加高臺の隆起部をなし、コンゴ大盆地とニジェル・ナイル及びザンベジ諸川との分水界をなしてゐる。本域は政治上大體カメルン(佛國委任統治)・佛領赤道阿弗利加・白領コンゴ及び葡領アンゴラの四區に分れ、海岸及び近海の小島には西班牙及び葡萄牙に屬する小地域がある。今其等の面積人口を表示すれば次の如くである。

カメルン (Kamerun) 四二〇千方軒 (二、七千方里) 二、〇〇〇千人  
(英領及び元の佛領コンゴを含まず)

佛領赤道阿弗利加 (French Equatorial Africa) 二、二六七千方軒 (一、五〇、〇〇〇) 三、八六〇千人  
白領コンゴ (Belgian Congo) 二、四二〇千方軒 (一、五六、〇〇〇) 一、八、〇〇〇千人  
葡領アンゴラ (Angola) 一、二五五千方軒 (八〇、〇〇〇) 四、一〇〇千人

○カメルン 西北英國の統治に屬するカメルンとの境界地方は一帶の高地をなし、海岸近くに聳ゆるカメルン山の如きは四〇七〇米に達してゐる。阿弗利加に於ける最多雨の地に屬し、コンゴ河の支流サンガ河を始め諸川の流域廣く、コ、ア・煙草の産あるも開化の度は猶低く、都市の發達せるものを見ない。本域の東部は明治四十四年モロッコ問題の解決に際し、獨逸が佛蘭西より割取した所であるが、(モロッコ項参照) 歐洲戰爭の結果其の地方は全部佛國に返還する事となり其の他は佛國の委任統治となつたのである。本域の西南海岸に面し西班牙領ギネアの小地域がある。西北のフェルナンドポ島及び附近の小島嶼と共に西領ギアナ總督の管轄に屬する。

○佛領赤道阿弗利加 東南部は大體コンゴ河及び其の大支流ウバンジ河 (Ubangi) を以て白領コンゴに接し、カメルンの南部から其の東北ナイル河とウバンジ河との分水界に達する廣大なる地方で、元佛領コンゴと稱してゐた。護謨・象牙・椰子・珈琲等の産あるも、内地の開発は

遅々として進まず、都邑の發達せるものを見ない。

● **白領コンゴ** コンゴ大盆地の大部を占め、西北は佛領赤道阿弗利加に、東北より東南にかけて英國の勢力範圍たる埃及・スダン・ウガンダ・タンガンイカ・北ロデシヤ等に、西南は葡領アンゴラに接してゐる。而して海に面せるは西部コンゴ河の海に注ぐ處の小地帯に過ぎぬ。コンゴ河は本域の大動脈とも稱すべく、内地の開發は河の本支流に沿うて次第に進み、唯下流大の交通には多大の便益を與へてゐる。

土地赤道直下に位すると、降雨の多きとの爲に熱帯の密林廣き地帯を占め、人畜の通行を妨げ且つ不健康地多きも、椰子・護謨等の有要植物も多く、珈琲・棉花・煙草・米等の栽培に適した處もある。又象牙は本域の一特産で、鑛産には南部カタンガの銅最も有名である。附近銅山の數百六十に及び、世界一の銅鑛であらうと稱せられてゐる。本域は又交通上重要な位置を占め阿、弗利加縱貫鐵道は東部を通すべく、横斷交通路は大部コンゴ河を利用して一部鐵道によつてゐる。(交通の項参照)

【沿革】 此の地方は元白耳義王レオポルド二世の主宰たる阿弗利加探検協會によつて探検せられ、スタン

レーの助力により其の歩を進め、明治十六年にはコンゴ萬國協會を創立して經營者々進み、同十八年コンゴ自由國なる一獨立國の建設を見るに至り、レオポルド王其の王を兼ねたが、明治四十一年遂に白耳義に併合さるゝ事となつたのである。今歐洲人の在住するもの八千二百、過半は白耳義人である。而して歐洲大戰の結果獨領東阿弗利加のコンゴに隣接せる一部ルアンダ及びウルンサも白耳義の委任統治に歸したのである。

首府ボマ(Boma)はコンゴ河の下流に沿ひ、河口から約八十浬の右岸に位し、本國より派遣された總督此處に駐在す。人口一千五百人、河口に位するバナナ(Banana)を補助港とし此處には歐洲よりの定期船がある。ボマよりコンゴ河を溯る事八十浬の處にあるマタチ(Matadi)は海岸よりする可航水路の終點で、此處よりレオポルドビル(Léopoldville)迄舟航を妨げらるゝを以て鐵道により交通を補つてゐる。

コンゴ河の北方には葡領カビンダ(Cabinda)の小地帯がある。又ギニア灣の小島サントメ(Sao Tome)・プリンシペ(Principe)も葡萄牙に屬してゐる。

● **葡領アンゴラ** 白領コンゴの南に連り、面積我が國の二倍に近きも地、形一般に高臺なると降雨の著しく少きとの爲有用の土地割合に少く、唯山地の一部に沃地帯があり、又内地諸川の

流域に氣候温和な處があつて農耕稍々行はれてゐる。産物は珈琲・護謨・蠟を主とし、砂糖・椰子・象牙等之に次ぐ。又石油・アスファルト・銅・鐵等の鑛産あるも、多くは英國資本家の經營する所である。首府セントポール・デ・ロアンダ (St. Paul de Loanda) は北部の海岸に位し、本域の主要貿易港である。人口約二萬。阿弗利加西岸の都市中白人の最も多く住む處である。又此處より内部へ鐵道を通じ、内地へ入る一門戸をなしてゐる。

### 第三項 東岸地方

【境域】 北は紅海東南部の沿岸より、概ね東部阿弗利加地溝帯の東方印度洋岸に至る地域を占め、南はモザンビーク海峡の南部に至る地方で、西部に地溝帯に屬する大小の湖水列をなし、其の間に高峻なる火山聳へ、阿弗利加に於ては複雑なる地帯を作つてゐる。而して其の東部は割合に狭い海岸地帯を作り、河流の長大なるものを見ない。唯南部のザンベジ河は地溝帯の南部を限り、コンゴ南部の分水界より南流する諸水を集めて東流し、長大なる河域を作つてゐる。海岸は一般に單調で、ソマリランド半島の大突出あるも小出入に乏しく良港灣をなさない。本域は、政治上左の諸地方に分れてゐる。

伊領エリトリア (Eritrea)	一一九千方呎 (七、七六〇方里)	三八〇千人
アビシニア王國 (Abyssinia)	一一二〇方呎 (七二、七〇〇方里)	八、〇〇〇千人
佛領ソマリランド (Fr. Somaliland)	二二方呎 (一、四二〇方里)	六五千人
英領ソマリランド (Brit. Somaliland)	一七〇方呎 (一一、〇〇〇方里)	三六〇千人
伊領ソマリランド (Italian Somaliland)	三五七方呎 (二二、〇〇〇方里)	三〇〇千人
英領東アフリカ (Brit. East Africa)	九二九方呎 (六〇、三〇〇方里)	五、八〇〇千人
タンガニイカ (英國委任統治) (Tanganyika)	九四九方呎 (六一、六〇〇方里)	四、一〇七千人
英領マツサラン (Nyassaland)	七七方呎 (五、〇〇〇方里)	一、二〇二千人
葡領モザンビーク (Mozambique)	七六〇方呎 (四九、三〇〇方里)	三、一〇〇千人

【伊領エリトリア】 紅海南部沿岸の狭長なる地帯を占め、内地は急に高まつてアビシニア高原となり、降雨少く、多くは不毛の荒地である。住民の多數は牧畜に従事し、駱駝・牛・羊の飼育行はれ、又近海の諸島には眞珠の採取盛に、主要なる輸出品となつてゐる。首府アスマラ (Asmara) は内地の高臺上に位し人口八千六百。マッサワ (Massawa) は其の東方海岸にあつてアスマラに鐵道を通じ、此の地の貿易港である。

### ●【アビシニア】

エリトリアの南に連り、アビシニア高原の地を占め、阿弗利加中最も高峻なる地域で、最高峰ラス・ダシャン(Ras Dashan)(四、六二〇米)を始め、四千米以上の高峰少からず。西北部にツアナ湖を湛へ、碧・ナイル此處に源を發し高原を刻んでナイル河に注いでゐる。此の國は阿弗利加三獨立國の一で、古代の基督教(コプト派)を奉ずる王國なるも、今は回教徒・猶太教徒も少くない。住民はセム族を主とするも、ネグロ族アラビヤ人も少くない。生業は牧畜を主とし、牛・羊・山羊等を飼養し、農耕は近年漸く進み棉花・砂糖・椰子・珈琲・葡萄・麥類・煙草等の産がある。鑛産には金・銀・銅・石炭等の埋藏多きも採掘は未だ十分に行はれてゐない。道路は不完全で運搬は主に騾・驢・駱駝によつてゐる。此の國は海を持たないので、外國との交通貿易は一部埃及スダン方向に、他は東北若くは東南の海岸地帯を占むる諸國の港に出でて行はれ、近年は國の中央に位する首府アヂス・アベバよりアデン灣岸の佛領ジブチに鐵道を通じ主要交通路となつてゐる。

政治は歐洲中古の封建制に類する專制王政で、國內五王國に分れ、其の中のチグレ(Tigre)・アムハラ(Amhara)・シオア(Shoa)の三王主權を有し交々王位に即くのである。明治三十二年シオア王全國の王位に即き、一時伊太利の保護國となつたが、後大に伊太利軍を破り、明治三十九年に

至り完全に獨立することが出來た。國務は八人の大臣が分擔し、十五萬餘の常備兵がある。シオアの首都アヂス・アベバ(Addis, Abbeba)は現在のアビシニアの首府で人口四萬を有し、二千二百五十米の高臺上にあるので、赤道に近きに拘らず四時秋の如き氣候である。鐵道此處よりアデン灣岸に通ず。其の他は人口五千以下の小都市のみである。

### ●【ソマリランド地方】

ソマリランドの海洋に面する地方は、アデン灣に面する佛領の小地區と、其の東部に連る英領及び印度洋岸に面する伊領とより成つてゐる。アデン灣岸に近く海岸線に並行して分水界横はるを以て、北岸に急斜し東南印度洋岸に緩斜してゐる。降雨甚だしく河流の海に達するもの稀で、従て大部は不毛の荒地である。住民の多くは遊牧を業とし、隊商を組織して内部地方との商業に従事してゐるものもある。従つて畜産は主要産物で、牛・羊・駱駝等の皮革及び象牙・駝鳥の羽毛等の産がある。

都邑の主なるものを擧ぐれば、佛領の首府ジブチ(Jibuti)(人口一萬五千)はアビシニアの門戸に當り、一方バプエルマンデブ海峽を扼し交通上の要地を占め、英領の首都ベルベラ(Berbera)(人口三萬)は同國領亞刺比亞のアデンに對し、政治商業の中心をなしてゐる。而して伊領には海岸に小都邑の點在するものもあると殆ど云ふに足らぬ。

④【英領東アフリカ】 アビシニヤの南に連り、西北は英國の勢力範圍なる埃及スタンに接し、西は白領コンゴに、南はタンガンイカに、境し而して東南部は印度洋に面してゐる。本領の中部より西部にはケニア・ルヴェンゾリ等の高峻なる火山があり、南境には本洲第一の高峰キリマンジャロ聳ゆるも、地溝帯の凹窪地には湖水を湛え、處々に小内陸流域を展開してゐる。又海岸平野稍々發達し、農耕に適する處も少なくない。此の地方は政治上ケニア植民地・ウガンダ及びケニアの兩保護領に三分せられ、何れも英國植民省の直轄に屬する。

ケニア植民地 (Kenya Colony) 元東アフリカ會社の開拓經營に委してあつたが、明治二十八年以來本國政府の手に收められた。低地には米・玉蜀黍・棉花を産し、内地の高臺には牧畜に適した地が多く、珈琲・麥類・馬鈴薯も産する。而して内地地方は獅子・象等の猛獸及び麒麟・犀・河馬・斑馬等の群出沒し、アフリカ的色彩を最もよく現してゐる。近年英國の同地方に對する經營著しく進み、本國人及び印度人の移住者多く英領アフリカ中最も有望なる地方であると稱せられ、特に明治三十五年海岸のモンバサよりビクトリア湖畔迄鐵道の開通するや、内地の開發に一新紀元を開いたと稱せられてゐる。唯近年印度人の移住する者多く、白人との間に人種的問題から紛糾を起し、英國政府に多大の憂慮を與へてゐる。

モンバサ (Mombasa) は海岸の小島上に位し東アフリカ第一の良港である。人口三萬、交通上の一大要路に當ることは屢々記述せる通りである。

ウガンダ保護領 (Uganda Protectorate) ケニア地方の西部と共に本洲特有の動植物の多い地方で、大部は土地豊饒なるも、歐洲人の來る者未だ少きと、土人に未開人多きとの爲十分開發されてゐない。唯縱貫鐵道は此の地方を過る事となつてゐるから、其の貫通の曉には大に面目を改むるであらう。産物の主なるものは象牙・皮革・護謨・棉花等で、鐵・銅・金等の鑛産も少くない。

ケニア保護領 (Kenya Protectorate) ケニア地方海岸の南方にあるザンジバル (Zanzibar) 及びペンバ (Pemba) の兩島を主とし、附近の小島嶼及び大陸の小部を含む。回教徒多くサルタン之を支配するも、實權は英國官吏の手にある。ザンジバル島の東岸に面するザンジバルは良灣を控へ東アフリカの主要貿易港で、自由貿易港であるから歐洲及びアフリカ商品の集散市場となつてゐる。人口五萬五千人。

◎【英領東アフリカと我が國との關係】 近年英領東アフリカ及びタンガンイカ地方に輸入さるる、各國よりの未晒木綿の状況を見るに、大正六年には印度は英國の二倍半、英國は日本の七倍にあたり、大正九年には印度は英國の三倍半、英國は日本の一倍半となり而して大正十二年には英國は印度を凌ぎ、更に日本は英國の

二倍弱の額に達してゐる。即ち同地方に賣れ行く我が綿布の著しく増加せることがわかる。そこで我國では近時印度・アテンを経て同地方に新航路を開く計畫がある。同地方は航海上西歐よりすると本邦よりすると距離に於て我に不利なるも、彼はスエズ運河の通過料を支拂はねばならぬ關係上運賃では我に有利となるのである。上述の計畫實行の曉は從來最も關係の少かつた日・阿の關係に一新面目を改むるであらう。

⑤【タンガンイカ】 英領東アフリカの南部に連り地形も略々似てゐる。元獨逸領であつたのが歐洲大戦後英國の統治に歸した。(西方の一部は白耳義の統治) 大部はサバンナをなして諸種の野獸棲息し農耕に適せざるも、海岸地方の丘陵地及び西北・東南の境界附近には沃野があり、煙草・珈琲・棉花の産がある。其他ココア・椰子・護謨等の栽培も行はれる。

鐵道は海岸のダル・エス・サレムからタンガンイカ湖畔のウジジに達するものがあつて、内地開發の重要な動脈となり、又北部海岸のバンガニからキリマンジ・ロ山麓のモシーに通ずるものがある。

ダル・エス・サレム(Dar-es-Salaam) は本城の首府で、行政・軍務を統轄する官吏此處に駐在し、人口二萬六千、内地に鐵道を通じ重要な門戸である。ウジジ(Ujiji)(人口一萬四千)はタンガンイカ湖上交通の中心をなし、内地に於ける物資集散の市場である。嘗て探檢家スタンレー

がリビングストンと會合せる地點として有名である。

⑥【英領ヌサラヤッドン】 タンガンイカの南部ヌヤッサ湖の西邊を占むる狭長なる地帯で、我が北海道より稍々廣く、土人の教化は稍々進んでゐて。棉花・煙草・茶・護謨等を産し、ヌヤッサ湖には汽船を浮べ湖上交通の便がある。又南部の湖岸より南方葡領に鐵道を通じ、沿線のプランチア(Blantyre)は首府である。

⑦【葡領モザンビーク】 タンガンイカ地方の南方に連り、長き海岸地帯を占め、モザンビーク海峡を隔て、マダガスカル島に對し、西境は全部英領南アフリカに接してゐる。面積は我が全面積より稍々廣く、人口は九州の三分一に過ぎない。内地は一般に高原・山地をなすも海岸・平野稍々發達し、夏季の雨量多きと相待つて農耕に適する地方多く、砂糖・珈琲・煙草・ココア・椰子等を産し、又護謨・蜜蠟・象牙の産もある。鑛産にはザンベジ河域から金・石炭を産する。

鐵道は南部のデラゴア灣、及び中部のベイヤ港から内部の英領に通じ、ベイヤからは又北方ヌヤッサ湖畔に達するものがある。而してザンベシ・リンボボ等諸川の舟航に適する處もあつて内地の交通は稍々發達してゐる。

首府モザンビーク(Mozambique)は北部の海岸に近い珊瑚島の上に發達した港市で、人口一萬、

總督此處に駐在してゐる。チンデ(Chinde)はザンベジ河舟行の要地を占め、ベイヤ(Beyra)はベングウェア河口に臨み、又英領に通ずる鐵道の起點として本地域の一門戸をなしてゐる。而して此の地方第一の都邑はデラゴア灣に臨むロレンソマルケス(Lorenzo Marques)で、英領トランスバールに鐵道を通じ、葡領に於ける商港としてよりは、寧ろ英領の一門戸として發達し、本城貿易の過半は此處に行はれ、人口三萬六千に達する。

◎【練習問題】(一)スタン地方の住民・生業を問ふ。(二)ギネア灣沿岸の政治的區劃を述べよ。(三)東岸地方の政治的區劃を述べよ。(四)次の諸項につき説明せよ。(イ)リベリア(外語)、(ロ)白領コンゴ(小商、文檢、外語)、(ハ)クカ、(ニ)チンブグツ(文檢)、(ホ)ラゴス、(ヘ)ホマ、(ト)ジブチ(文檢)、(チ)アザニア、(リ)モンバサ(文檢)、(ヌ)ザンジバル、(ル)ウジジ、(チ)デラゴア灣、(ロ)ロレンソマルケス、(カ)モンロービヤ(文檢)。(五)アフリカ大陸の東西横斷交通路に就て記せ。

## 第二節 南部アフリカ

【境域】 本洲の南部を占め、東・西・南の三面は渺茫たる大洋に瀕し、悉く英領若くは其の委任統治に屬す。政治上之を左の諸地方に分つ。

南・アフリカ連邦(Union of south Africa)	1,225,500方里	6,927千人
バーストランド(Basutoland)	300方里	500千人
スワジランド(Swaziland)	169方里	1,340千人
ベチエアナラント(Bechuanaland)	712方里	1,530千人
ローデシヤ(Rhodesia)	1,139,5方里	1,737千人
南西アフリカ(南アフリカ委任統治)	835方里	2,370千人
計	3,958,4方里	9,688千人

### 第一項 南アフリカ連邦

【地文】 ●地形 大陸の南端一帯の土地を占め、三面は海に面してゐる。一般にアフリカ高原中高度の大なる地方で、東南部は殊に著しく、高峻なる山峰相連りてドラケン山脈をなしてゐる。(最高峰カトキン山(Katkin)は三、六六〇米、此の山脈はアフリカ南部の自然人文に多大の影響を與へてゐる。即ち此の地方に卓越せる東南風は之が爲に遮ぎられて濕氣を奪はれ、爲に山脈の東南沿岸地方は多大の降雨(夏季特に著し)があつて森林繁茂し、農耕に適し、氣候亦極めて温

和なるも、西北に進むに従ひ雨量著しく減じ、不毛の荒地相連つてゐる。斯くて分水界は著しく東南に偏し、東南流する河流は數に於て多いが皆短流であり、西北流するものは集つてオレンジ河となり、上流に多くの支流を容るゝに拘らず、中流以下全く支流なきはナイル河等と同じく、氣候(特に降雨)に支配されるものである。

海岸は他地方と同じく出入極て乏しく、海岸平野狭く斷崖をなす處も少くない。唯西南岸には有名な喜望峯(Cape of Good Hope)の突出があつてフォールズ(False)灣を抱へてゐる。而して阿弗利加の南端をなすアグリヤス岬(Agulhas)はその東南に位してゐる。

●氣候 地形・海流及び風向の影響を受けて甚だ複雑であるが、本域の大部は南回歸線以南の地を占め、且海岸に面する地方割合に廣い爲、中部・北部地方に比すれば、一般に嚴酷でない。特に南端は南緯三十五度に近く(北緯にすれば我が中國の南部にあたる)氣候溫和で健康に適順な處がある。

【人文】 ●政治 此の地方は明治四十三年ケープ州・ナタル州・オレンジ自由州及びトランスバール州の四州連合して成れる聯邦で、聯邦政府はプレトリアに、聯邦議會をケープタウンに置してゐる。而して行政の長官に英國皇帝の任命による總督があるので、此の點にのみ英本國との

政治的關係を繋ぐも事實上自治獨立の國家である。各洲にも知事及び議會があつて自治制が行はれてゐる。

◎【南阿聯邦の由來】 此の地方が始て歐洲人に知られたのは十五世紀の末葉で、葡萄牙人は當時印度航路の發見に努め、阿弗利加の西岸に勇敢なる探検を續けてゐたが、一四八八年バートロミュー・ガブズにより南端を極められ、印度航路達成の冀望がなげき捨てられたのである。彼の歸着後葡萄牙王は今の喜望峯に同意味の名を命じ、後英領となつて「Cape of Good Hope」の名を得たのである。此くて一四九八年バスコダガマにより印度航路開かれ、爾來南阿迂回の東西交通頻繁となるに従つて、南阿地方に着目する者も出來た。特に和蘭人は十七世紀の中葉以後ケープ州地方に移住し、同地方は彼等の植民地となつて次第に發展してゐた。而して十九世紀の始頃より英國人又來り、和蘭人と競争するやうになつたが、歐洲に於けるアボレオン戦争後ケープ州地方の主權が和蘭より英國に移るに及び、和蘭人の子孫(ボアール人 Boers と呼ぶ、農民の義である)は北に移住してナタール共和國を建設した。然るに此處も亦英人に奪はれたので、内地に入つてトランスバール共和國及びオレンジ自由國を建て英政府にも承認された。爾來外國人の此の地方に移住するもの漸く増加し、特に英國人最も多數であつたので、英國政府は更に同地方の併合を計畫してゐたが、十九世紀の末葉右の兩國に豊富なる大金礦及び金剛石礦の發見さるゝに及び、英國人の移住



俄に増加し、英國政府亦益々二國併合の必要を認め、諸種の口實の下に二國の行政權を握らんとしたが、兩國民が頑強に反抗した爲に遂に所謂ボアール戦争(又は南阿戦争)(明治三十二年より同三十五年迄)となつた。此くて四年の歳月と多大の犠牲とな拂つて英國は其の目的を達し、二國を併合することが出来た。而して明治四十三年南阿聯邦成立にあたり二國も亦之に加はることとなつたのである。

●住民 住民の多數はホッテントット、ブッシュマン及びバンツ族等の土人なるも、歐洲人の子供も割合に多く、全人口の約五分の一を占め、中にも英國人及びボアール人が大多數で政治・産業の實權はこの兩者にあるのである。

●産業 産業の主要なるものは農牧及び鑛業で、近年著しき發達を遂げてゐる。

●農産・畜産 東南部の降雨多き地方は農耕よく行はれ小麥の産少からず、又葡萄の産も多く、歐洲に輸出せられて冬季彼の地の食卓に新鮮な果實を供してゐる。此の地は牧畜に適する地方廣く牛・馬・羊・山羊・駝鳥等飼養せられ、特に羊及び駝鳥は世界主要牧場の一で、羊毛・駝鳥の羽毛は輸出品の主なるものとなつてゐる。

●鑛産 は甚だ豊富で、金・金剛石の産は共に世界第一位を占め、大正九年の金産額は約四億圓に達し、その主産地はトランスバール洲の南方ヨハネスブルグである。金剛石はケープ洲の東境に近き

キンバリーが主要産地で、南阿の開發は實に此の二大鑛産に負ふ所が多大である。其他ナタラ洲の石炭を始め、銀・鐵の産も少くない。

④交通 交通は産業と共に本洲中最も發達せる地方で、鐵道の延長二萬五千軒に及び、(英領南阿全部にて)縦貫鐵道を始め、内地主要の産業地帯と海岸諸港との連絡よく行はれ、海運も亦英本國及歐洲諸國との間に船舶の往復頻繁に、近年は本邦南米航路も此の地に寄港してゐる。

【都邑】 ケープタウン(Cape town) 洲の西南端テーブル灣に臨み、背後にテーブル山を控へ、港灣は良好とは云へないが、南阿の諸港中最も好位置を占めてゐるので、夙に南阿の門戸として發達し、縦貫鐵道の南部の起點となり、南阿聯邦の立法部亦此の地に置かれ、且博物館・圖書館・天文臺・大學等の文化的施設よく整ひ、北部のアレキサンドリヤ港と共に阿弗利加の最も盛なる貿易港である。人口十八萬三千餘、我が大阪商船の南米東岸航路の汽船も寄泊する。

ポートエリザベス(Pot Elizabeth) ケープ洲の東南岸アルゴア灣に臨み、内地に豊富なる羊毛及び麥の産地を控へ、其の取引盛に、人口三萬六千餘に及ぶ。

イーストロンドン(East London) 本洲の東南海岸に臨み、沿岸商業の一中心をなし、又オレンジ州の海口となり人口約三萬を有する。

**キンバリー** (Kimberley) ケープ州の東境オレンジ州に近く發達せる鑛業都市で、附近は金剛石の産を以て有名である。人口三萬九千。

**ブルムフォンタイン** (Bloemfontein) 内部交通の要地に當り、オレンジ自由州の首府である。人口三萬六千。

**ダーバン** (Durban) ナタル州の東岸に位し、聯邦東部の主要門戸をなし、トランスバール及びオレンジ州に鐵道を通じ其の海口となつてゐるので、近年の發達は著しい。我が南米航路も此處に寄泊する。人口約九萬七千、市街の交通には人力車が多く使用せられてゐる。

**ピーターマリツブルグ** (Pietermaritzburg) ナタル州の首府で、ダーバンより内地の約八十軒の高臺に位する。人口三萬五千、風光の美を以て名高い。

**プレトリア** (Pretoria) トランスバール州の首府で、又聯邦政廳の所在地である。鐵道聯邦の主要部に通じ、又葡領東アフリカのデラゴア灣に達してゐる。人口六萬二千人。

**ヨハネスブルグ** (Johannesburg) プレトリア市の南方約六七十里の地方一帯は聯邦主要の産金地として名高く、從て近年鑛業都市の發達著しく、附近に五萬以上の人口を有する都市六を算するに至つた。而してヨハネスブルグは其の大中心をなし、人口二十八萬二千、南阿第一の大都會である。市は又交通上の要點に當り、主要鐵道の附近に集るもの五線に及ぶ。

**【直轄植民地】** 南阿聯邦の内部に小地域を占め、聯邦に加はらず、英國政府の直轄地となつてゐる二地方がある。一はオレ・ジ州の東南に當るバスターランドで、他はナタル州の北方に位するスワジランドである。共にドラケン山脈の山地に當り、平野に乏しきも、諸川の上源をなす許多の水流があつて沃野をなす處もあり、農牧行はれ小麦・牛・羊の産がある。

### 第二項 ベチアナランド

ケープ州の北部カラハリ沙漠の地を占め、面積は本邦より遙かに大なるも人口は十五萬餘に過ぎない。住民の多くは泉地に住じ牧畜を業とし、羊・山羊・牛及び駝鳥を飼養してゐる。夏期には降雨稍々多く雜草發生するので畜類は各地を徘徊して食を取る。本域は英國保護領の一で、英國官吏は多數の酋長を統轄してゐる。

**ハマングワト** (Bamangwato) 本域の東部縦貫鐵道線に沿ひ、本域第一の都邑である。

### 第二項 ロデシヤ

**【地文】** ベチアナランドの東北からタンガンイカ湖の南端に至る廣大なる内部地方を占め、

大部はザンベジ河上流の流域に屬し、北方の一部はコンゴ河の流域に屬してゐる。面積は我が國の二倍に近きも人口は百七十餘萬に過ぎない。本域は周圍の諸地方と同じく、象・犀・麒麟等の住地で、土人の中には其等の猛獸と闘ひ自然に猛惡となつてゐるものもある。

【人文】 住民は多く牧畜を生業とし牛・羊・山羊を飼養してゐる。又狩獵に巧に獸類の皮革は主要なる産物となつてゐる。農耕に適する地域廣きも農業未だ發達せず、玉蜀黍・小麥・煙草・棉花等多少の産がある。近年金鑛及び石炭鑛の發見があつて鑛産は本域の主要産物となつてゐる。阿弗利加縱貫鐵道は本域を貫通し、東南部には葡領モザンビークに達する鐵道あり。而してザンベジ河の中流は舟楫の便を有するを以て主要地の交通は便利である。

本域は十九世紀の末葉諸國の注目する所となり、特にポア人は此の地方を占有せんとして諸種の計畫をなしてゐたが、一世の怪傑セシル・ローツ(Cecil Rhodes)の活躍により英領に歸したのである。ローツの名はローツに因んだものである。英國は本域の經營上二地方に分ちザンベジ本流を以て境し、東南部を南ロデシヤ、西北部を北ロデシヤとし、其の開拓統治を南ロデシヤ及び北ロデシヤの兩會社に委してゐる。

サリスブリー(Salisbury) 南ロデシヤの首府で、交通上の要地に當り、西南縱貫鐵道に連絡

し、東岸葡領のベイラ港に通ずる鐵道がある。

リビングストーン(Livingstone) ザンベジ河畔縱貫鐵道に沿ひ北ロデシヤの首府である。

#### 第四項 南西阿弗利加(南阿聯邦委任統治)

【地文】 ベチアアナランドの西境以西大西洋岸に達する地域を占め、面積八十三萬五千方杆、(約五四、二二〇方里)人口は二十三萬餘に過ぎない。一般に高原高く、狹長なる海岸平野を有するも砂礫多く農耕に適しない。氣候上東部のベチアアナランドの連續地帯で降雨著しく少く、殆ど河流の發達を見なす。

【人文】 地形・氣候前述の如くであるから農産に乏しく、住民の生業は主として牧畜にあつて、牛・羊・山羊を飼養してゐる。けれども最も重要な産物は金剛石で、當植民地の重要財源である。又銅・錫・鉛等の産もあるも未だ多くない。

此の地方はケープ州に接してゐるので、英國は始め自己の勢力範圍と考へてゐたが、一八八三年獨逸の一商人が此の海岸に來り、少數の古銃器と金貨二千馬克を出して土人酋長から其の土地を買收したので、一時英・獨逸の問題を引起した。而して當時の獨逸宰相ビスマークの外交策成功し

て獨逸の領有に歸したが、歐洲大戰に際し英軍に占領され、戦後南阿聯邦の委任統治に歸したものである。

**ウインドフーク** (Windhuk) 此の地方の首都で中央高臺上に位し、南阿聯邦より鐵道を通じてゐる。又海岸のウ・ルフィッシ灣は以前より英領に屬し近海に於ける良錨地である。

◎【練習問題】 (一) 南部阿弗利加の氣候につき説明せよ。(二) 南阿聯邦の主要産業を問ふ。(三) 南阿聯邦の政治組織を問ふ(東師、文檢)。(四) 次の諸項に就き説明せよ。(イ) ケープタウン(高等・商船・海兵・文檢)。(ロ) トランスバール(海兵・陸士・神商)。(ハ) キンバレー(陸士・商船・高等)。(ニ) プルムフォン イン(文檢)。(ホ) プレトリア(東師・海機・陸士・外語)。(ヘ) ダーバン(文檢)。(ト) ヨハネスブルグ(長商・文檢・外語・神商・山商)。(チ) ホアール人、(リ) 喜望峰、(ヌ) ロータシヤ。

◎【考究問題】 南阿地方が歐洲其他の文化諸國より最も遠き地方にあるに拘らず最も開發せる理由如何。

#### 第四節 近海諸島

阿弗利加洲は屬島の割合の最も少い大陸の一で、數に於て必ずしも少くないが、マダガスカル島を除いては殆ど記するに足らぬ小島のみである。

#### 第一項 マダガスカル島 (Madagascar)

【境域】 阿弗利加大陸の東南海中に横はり、モザンビーク海峽を挟んで葡領モザンビークに對し、其の最短距離約三百八十七軒、島は北々東より南々西に延び、長さ約千五百九十軒、幅は最も廣き所五百七十軒、面積五十八萬七千七百方軒(約三八一六二方里)に達し、世界第四の大島である。内部は大部高原をなし五百米乃至八百米の高度を有し、分水界は東岸に偏してゐるので、東岸には極めて狭い海岸平野を有するに過ぎないが、西岸には河流の稍長大なるもの注ぎ、廣い海岸平野の發達を見る所もある。海岸線は極めて單調で、特に東岸の如きは一直線に近く、東北岸には小出入を見る。

【氣候・天産】 氣候 南回歸線島の南部を通過してゐるから大部熱帶圏内に入り一般に暑熱烈しい。特に沿岸地方にはマラリヤ熱流行し歐人の生活に適しない。唯内部高臺上には溫和で健康に適する所がある。降雨は夏冬を通じて多い。

天産 従つて密林廣く連り、椰子樹・羊齒類・バオバブ樹等の有用植物も少くない。又珍奇なる旅人木は本島特有の植物である。(芭蕉科に屬し一名扇芭蕉の名がある、葉柄の貯水組織發達して水

分を貯ふことが多いから、其の下部を傷づければ、列なる水を得ることが出来る。旅人此の樹を發見すれば以つて渴を醫すべく、その名ある所以である。

動物は阿弗利加大陸と著しく異り、巨大な獸類を見ないが、既に他地方に絶滅せるものにして本島にのみ殘存するものがある。狐、狼及び其の他の猿類・アイアイ・カメレオン等を始め諸種の珍奇な動物が生存してゐる。斯く本島の動植物が著しく阿弗利加大陸のそれと異なるものあるは、本島が阿弗利加大陸より分離したのが、よほど古い地質時代に屬する證據とされてゐる。鑛産には山地に鐵・石炭・方鉛鑛・金・銅等の産がある。

【住民・政治】 住民の總數約三百三十九萬、内佛人は一萬五千に過ぎず、他は殆ど土人である。西部の土人は多くパンツ族であるが、東部には馬來族のホバ族がある。宗教は新教最も盛に又四十萬餘の回教徒がある。元首長國なりしも佛國人に懷柔されて其の保護を受くるに至り、次第に歐洲文化に浴してゐる。

タナナリボ(Tananarivo) 山地の中央千四百二十米の處に位し、此地の首府で氣候佳良、飲料水に富み人口六萬七千、東岸に鐵道を通じてゐる。

## 第二項 印度洋諸島

【英領モーリシヤス島】 (Mauritius) マダガスカル島の東方八百軒の印度洋中にある火山島で、海岸は珊瑚礁に圍まれ風景の秀麗なるを以て有名である。面積千八百六十五方軒(一二〇方里) 人口三十八萬五千、其の多數は印度人である。産物は砂糖を以て最とする。首府ポートルイス (Port Louis) は西北岸に位し、良港を控へ人口五萬餘。本島は英國植民中主要なる地方の一で、英領各地を連絡する海底電信の中繼所となつてゐる。

【佛領レユニオン島】 (Reunion) モーリシヤス島の西南に當る火山島で面積二千五百方軒(一六〇方里)、人口十七萬二千、産物には甘蔗・珈琲・椰子・香料等がある。首府セン・ドニ(Denis) は北岸に位し人口約二萬八千人。

【英領セーシェル諸島】 (Seychelles) マダガスカル島の東北印度洋中に散在する九十の小島岐よりなり、其の中多數は無人の岩礁である。面積四百方軒(二六方里)、人口二萬五千、本諸島の西南に散在するアミラント諸島(Amirante)は多く珊瑚島で同じく英領である。

【コモロ・マオヨット・ソコトラ】 前記の外、印度洋にはモザンビータ海峽の北部に佛領

コモロ (Comoro) 及びマイオット (Mayotta) 諸島があり、ソマリーランド半島の東に英領ソコトラ島 (Sokotora) があるも経済的の價値は殆どなし。唯後者はアデン灣の門戸にあたり、軍事上稍注目されてゐた所である。

### 第二項 大西洋諸島

【葡領アゾレス諸島】 (Azores) 葡萄牙の海岸を距る西方千四百五十軒の大西洋上に散布し、總面積二千三百六十餘方軒(一五三方里)、全島火山質よりなり、地味良好に氣候適順、雨量に富み、柑橋・葡萄等の産がある。住民は二十六萬餘、多數は葡萄牙人である。本島は本國の直轄に屬してゐる。

【葡領マデイラ島】 (Madeira) 阿弗利加洲の西北岸を距る六百軒の大西洋中にあつて、面積八百十五方軒(五二方里)、人口十六萬九千八百。地味氣候共に善良で健康に適し、甘蔗・葡萄・珈琲の産がある。首府フンシヤル (Funchal) は人口約二萬、本島も行政上葡萄牙の直轄地である。

【西領カナリヤ諸島】 (Canaria) 西班牙領リオデオの沖合に散布する諸島で、面積七千二百七十三方軒(四七二方里)、人口四十九萬九千四百、山岳に富める數多の火山質の島より成り、

中には三七〇九米の高峰を有する。地味肥沃に農産に富み、バナナ・砂糖・馬鈴薯等の産がある。又カナリヤ島は此の地の原産である。政治上西班牙本國に直屬し、首府はテネリフア島のサンタクルズ (Santa-Cruz) と稱し、人口六萬三千人。

【葡領ベルデ岬諸島】 (Cape Verde) カナリヤ諸島の西南に當り、ベルデ岬の沖に當るを以て此の名がある。面積三千九百三十方軒(二五五方里)、人口約十五萬人、全島火山質で、降雨少き爲土地乾燥し、マデイラ・カナリヤ等の如く肥沃でない。多少の棉花・珈琲を産するも、食鹽を以て主要産物とする。位置の關係上航海通信上の要地となつてゐる。首府ブラヤ (Praia) は人口一萬二千、葡國官吏此處に駐在す。

【アッセンション、セントヘレナ】 前述の外阿弗利加大陸西南の大西洋上に英領に屬するアッセンション (Ascension) 及びセントヘレナ (St. Helena) の兩島がある。共に絶海の小火山島で、英國海軍の管轄に屬し、石炭の貯藏所として重視されてゐる。アッセンションは面積九十方軒(約六方里)、人口二百五十人。セントヘレナは面積百二十一方軒(約八方里)、人口三千八百五十人あり。此のセントヘレナにナポレオン一世が流謫せられ、一八二二年島中の一隅に逝去せしを以て名高し。

◎【練習問題】 (一)阿弗利加の主なる屬島を擧げて其の所屬を記せ。(二)マダガスカル島につき述べよ(東師・汽機・文檢)。(三)次の諸項に就き説明せよ。(イ)モーリシヤス(ロ)フエニオン(文檢)。(キ)ブレンメ諸島(文檢)。(ニ)マダガスカル諸島(ホ)カナリヤ諸島(ハ)ブッセンシヨン(文檢)。(ト)セントヘレナ(商船・汽機)。

◎【考究問題】 蕨爾たる絶海の孤島が歐羅巴の各邦に領屬せられてゐるが、各島獨特の交通上・軍事上意義ある位置を占めてゐることを考察せよ。假令(イ)セントヘレナ島、(ロ)ソコトラ島等について例證せよ。

## 第四編 北亞米利加洲 (North America)

### 第一章 自然地理

【境域】 北亞米利加洲は西半球の北部を占むる世界第三の大陸で、南米と共に新大陸と呼ばれる。北は北極洋に、東は大西洋に、西は太平洋に臨み、南は僅か七十三軒(十八里)のパナマ地峽で南亞米利加洲と連つて居る。西北部のベーリング海峡では僅か百軒(二十五里)を隔て、亞細亞洲と相呼應してゐる。全部北半球に位し、北部は北極圏内に入る。

面積は二千四百七十萬方軒(約百六十萬方里)で亞細亞・阿弗利加に次ぎ六大洲中第三位に位する。我國の略三十七倍にあたる。

【地形】 ●概観 北方に廣く、南方に尖つた不正三角形をなし、西部大高地、中央大平原、東部小高地の三部に分たれる。

(A)西部大高地 大陸の西部を縦走してゐる數條の山脈を總稱してコルチレラ山系(Cordillera)

と呼ぶ。即ち東部には高峻長大なロッキーマウンテン(Rocky Mountains)があり、其西に平行してカスケード山脈(Cascade M's.)とシエラネヴァダ山脈(Sierra Nevada)がありロッキーマウンテンとの間には北部にコロンビヤ高臺(Columbia)といふ熔岩臺地があり、其南には不毛の高原グレートベインズン(大盆地 Great Basin)及びコロラド河流域のコロラド高原(Colorado)を擁してゐる。シエラネヴァダ山脈の西方には帯状のカリフォルニア平野(California)を挟んで海岸山脈(Coast Range)が走り、北方バンクーバー島に至つてゐる。而して南方墨西哥では、シエラマドレ山脈(Sierra Madre)となつて墨西哥高原を作る。尙本地区の西部には太平洋東岸火山脈が縦走してゐる。

①【ロッキーマウンテン】褶曲によつて出来た山脈の好例である。西北部のアラスカから東南部の中央亞米利加まで走つてゐる高峻な大山脈で、米國の中央附近は最も幅廣く千六百軒(四百里)に及んでゐる。カッダのフーカー山(Hooker 四三二八米)、米國コロラド州のパイクス山(Pikes Peak 四二九二米)、ブランカ山(Blanca Peak 四三八六米)など著名な高山がある。廣義に解して、西北部のエリアス山脈等を含みむるとローガン山(Logan)の五九四八米を最高とする。岩石の大部分は中世代のもので、第三紀第四紀の地質を混じ其の上近き時代に火山作用が盛んであつたために熔岩の堆積甚しい所がある。殊に間歇泉や峡谷などの絶景地も多い。ロッキーマウンテンとは「岩山の義」である。

②【火山脈】アレウト列島(Aleutian Is.)から太平洋岸に沿ひ西部大高地を縫ひて南に走る太平洋東岸火山脈には數多の高峯が聳えてゐる。本洲最高峰たるマッキンレー山(アラスカ)の六二四〇米をはじめ、セントエリアス山(同上)の五五一七米、ボボカテペトル山(墨西哥)の五四五二米、オリサバ山(同上)の五五五〇米などの火山が多い。又アンチル列島の大部は西部大高地の餘派であるが小アンチル列島の内側は世界横走火山脈に當るので火山に富んでゐる。

(B)中央大平原 東西兩高地間の大平原で北氷洋からメキシコ灣に至る。唯其の中央に東西に走る低い丘陵があつて河水をメキシコ灣斜面とハドソン灣斜面とに分つてゐる。此の平原の中央以北は氷河時代に著しく氷河の侵蝕を受けた地方で五大湖をはじめ氷河の作用で出来た湖水が多い。大平原西部のロッキーマウンテン東斜面はプレイリー(Prairie)といふ草原でカナダではロッキーマウンテンからレッド河(Red)ウイニベグ湖の南岸に注ぐ)まで、米國ではウイコンシン、アイオワ二州附近は殊に發達して、牧畜が盛んに行はれてゐる。

(C)東部小高地 東北にラブラドル高地(Labrador)があり其の南にアパラチヤ山脈(Appalachian)が南北に走つてゐるが、共に低い山地に過ぎない。アパラチヤ山脈は褶曲による山脈で永い間の侵蝕のため二回迄も準平原を形成し、現在は又隆起が起つて第三の輪廻を始め前の谷底には若い谷



を生じ、準平原は開析せられつゝある。最高ミッセル峰(Mitchell)(一名ブラックドーム)すら高さ二千四十四米の低い山脈で、文明の西漸を阻止しなかつたばかりでなく、鐵・石炭・石油等の埋藏が多く、米國の發達に多大の關係がある。この山脈は數條の平行した山脈から成つて、中部以南の主要部をアレガニー山脈(Alleghany)と云つてゐる。山脈の東部では瀑布線を作り、工業都市が發達してゐる。

◎【瀑布線】(Fall-line) アパラチヤ山脈東斜面の臺地から海岸平野までは階段的に急斜するので山地を流れ来た諸川は多くの瀑布を作る。之を瀑布線といひ、水力の利力が盛んに行はれて大小の工業都市が發達してゐる。

**夕河流** 北氷洋・太平洋・大西洋・メキシコ灣の四斜面に分ける。カナダでは大分水界が西偏するのと、ハドソン灣や、湖水の多いため、土地の廣い割合に長大な河がないが、北米合衆國では山脈が西と東に遠く隔たつてゐて、中央に大平原が發展し北に小分水界があるため大河が發達し世界第一の長流が出來たのである。

**北氷洋斜面** 此の斜面に流るゝ主なものはマッケンジー河(Mackenzie)ネルソン河(Nelson)等がある。

◎【マッケンジー河】 ロッキー山脈の東側に發源して、始めは、アサバスカ河と唱へられ、アサバスカ湖(Athabasca)グレートスレーブ湖(Great Slave)グレートベア湖(Great Bear)の水を入れ約一千方軒(七百萬方里)の大三角洲を抱いて北氷洋に注いでゐる。全長四千五百八十八(一一四八里)流域百五十三萬九千七百二十二方軒(九九八三〇方里)といふ廣大なものであるが、寒地にあつて一年の大半は氷に閉ざされるので利用の途が少く流域に都會が殆んど見當らぬのも人文との關係の乏しいのが察せられる。

◎【ネルソン河】 ロッキー山脈の東側に、してウイニペグ湖(Winipeg)に入り、ハドソン灣に注いでゐる。全長二千七百五十軒(七百里)に近いが、凍結するのと處々に淺瀬があつて、舟行を妨げる缺點があるけれども灌溉にはよく利用されてゐる。

**大西洋斜面** セントローレンス河(St. Lawrence)がこの斜面中最大のもので、その他アラチャ山脈に發源する數多の小河流がある。紐育を貫流するハドソン河(Hudson)フィラデルフィアを貫くデラウェア河(Delaware)華盛頓を流るゝポトマク河(Potomac)等著名である。是等の小河は臺地から海岸平野に下るとき多くの瀑布を作り所謂瀑布線附近の水力利用となり工業都市を形成するのである。

◎【セントローレンス河】 其の上流はスペリオール、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオ等の湖水

を連れて東に流れ、セントローレンス湾に注いでゐる。全長三三七七軒(八六〇里)、舟運漕漕の便が甚だ大で、遠洋汽船は大支流オッタワ河(Ottawa)との會點モントリオールまで通じて、米・加の發達に非常に貢獻してゐる。

●墨西哥灣斜面 ミシシッピ河 世界第一の長流。ミシシッピ河(Mississippi)及び合衆國とメキシコとの國境をなしてゐる。オグランデデルノルテ(Rio Grande der Norte)が著しものである。殊にミシシッピ河は全長六六〇〇軒(一六八〇里)本支流の流域三百十八萬方軒(廿萬六千方里)に及んで生産力の偉大な中央大平原は殆んど此の河一つで養はれてゐるのである。加ふるに舟運の便多く航水路は二萬四千餘軒(約一萬五千哩)に及んで交通上に與ふる影響も少くない。

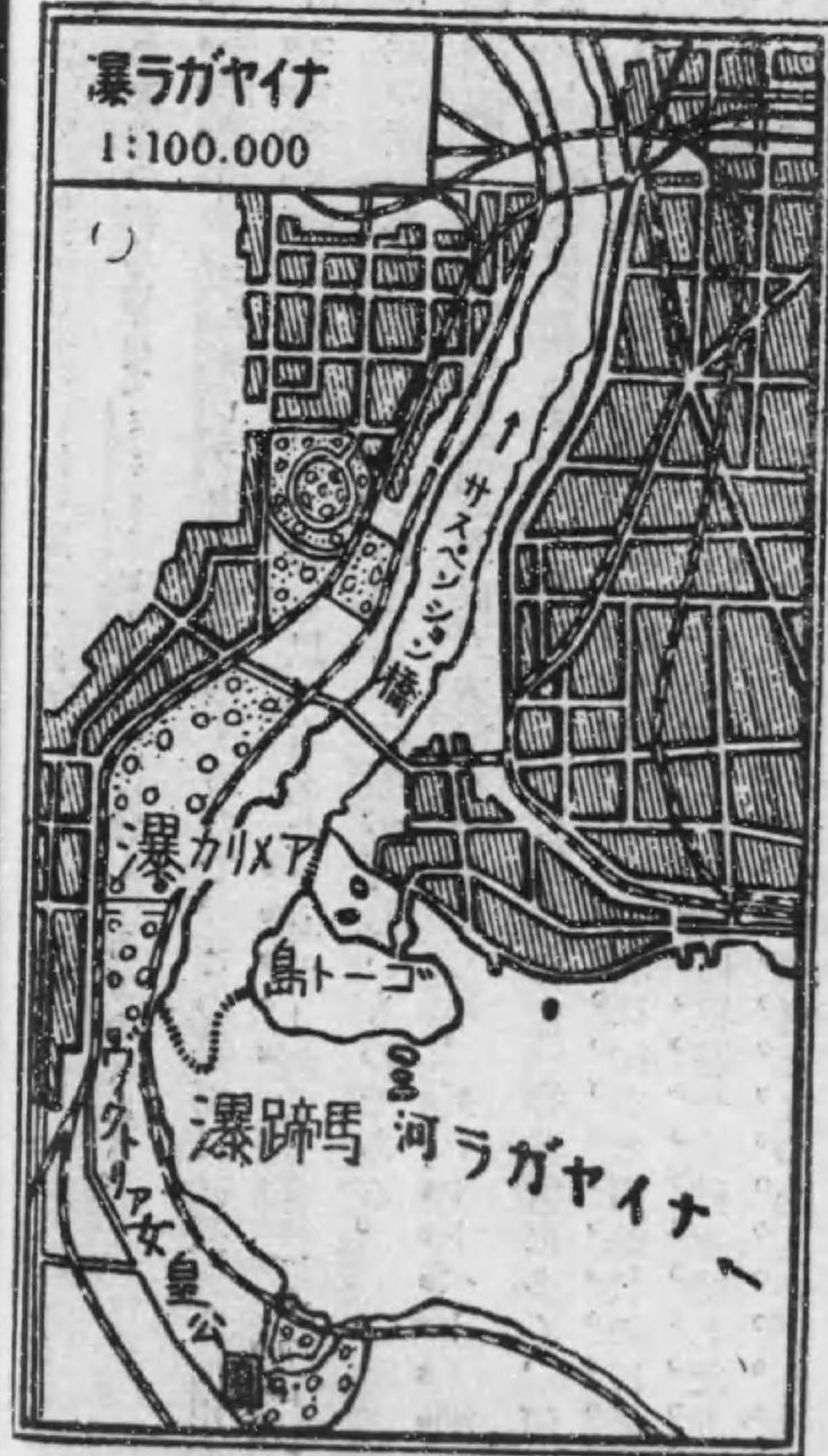
◎【ミシシッピ河】「衆河の父の義」北方のイタスカ湖に源を發して南流し、セントルイスで大支流のミズーリ河(Missouri)を合せて水量が大に増加してゐる。それから尙オハイオ河(Ohio)アーカンサス河(Arkansas)レッド河(Red)等の大きな支流を容れ、河口には掌狀の大三角洲を作つてメキシコ灣に注いでゐる。又湖畔には澤山の三日月湖があつて同河往時の流路の跡を示してゐる。河幅は割合に狭くて其の廣さ六六〇〇軒(一六八〇里)はミズーリ河上流からの長さである。本支流の流域は三二四萬方軒(一萬方

里)で、我が日本の五倍の廣さである。ミズーリ河はエローストーン公園から源を發しロツキー山脈東部の澤山の河を集めてミシシッピの本流に會してゐるのである。

●大平洋斜面 コルチレラ山系が蟠踞するので、この斜面には長大な河川が少なく、大峽谷で名高スコロラド河(Colorado) 鮭を以て有名なフレザー河(Fraser)やロマンジャ河(Columbia) 金や鮭の産の豊富なユークン河(Yukon)等が著しいものである。

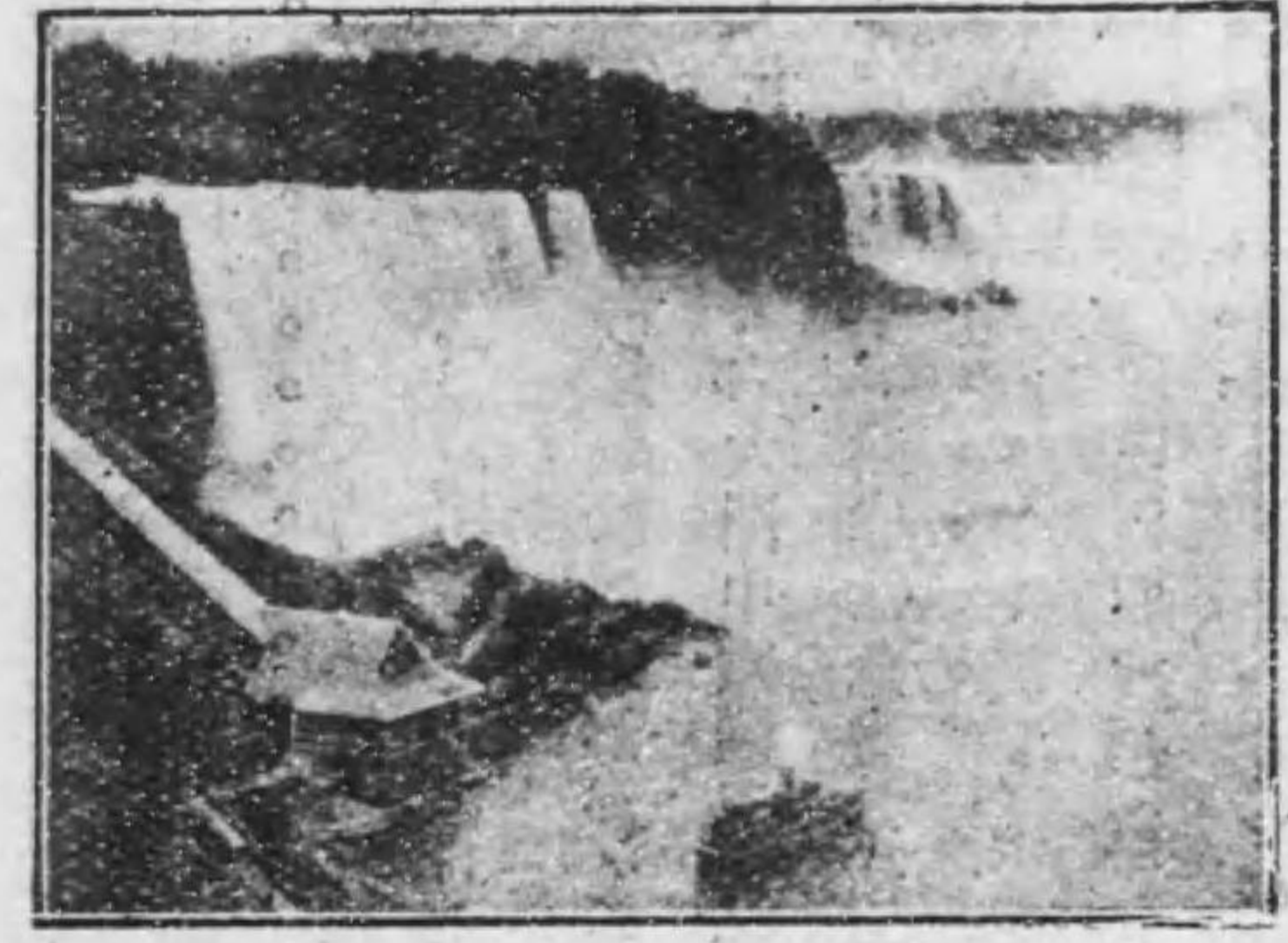
●湖沼 本大陸の中部以北は五大淡水湖をはじめ、グレートベール湖(Great Bear)グレートスレーブ湖(Great Slave)アサバスカ湖(Atabasca)等非常に多く、何れも氷河の作用で出来たものである。即ち、北米の北半部北緯四十度以北は往昔氷河時代には廣大な氷層に被はれたものでその數多の氷河の爲め、凹地を作つたり低地に堆石や土砂を残したりしたが、漸次氷河が融解し退却すると共に其の凹地、低地に水を湛えて湖沼となつたものである。五大湖も斯様にして出来たもので、其のスベリオル湖(Superior)は世界最大の淡水湖で面積八萬方軒(五二〇〇方里)我が北海道の廣さ位である。湖中にはローヤル島を始め數多の島嶼があつて風景がよく、沿岸には銅・鐵・銀等の鑛産が頗る豊富である。ソーサンマリ運河(Sault St. Marie)やマホーロン湖(Huron)に通じてゐる。ヒューロン湖は五大湖中第二の大湖で面積四千方里、世界第三の淡水湖

である。ミシガン湖(Michigan)は五大湖とミシシッピ河との舟運連絡をなす道程にあたるので船舶の往来頗る多く、市俄古の大都會が湖岸に發達してゐる。エリー湖(Erie)とオンタリオ湖(Ontario)は前三湖より遙に小さく、兩湖の水面の高度が約百米も違ふのでナイヤガラ河(長さ十五里)で相連ぬる途中、有名なナイヤガラ瀑布(Niagara Falls)を懸けてゐるからエリー、オン



タリオ兩湖間にはウ  
ルランド運河 (Well-  
land) を開いて舟運に  
便してゐる。湖沼には  
尙、ロッキーマン山中に大  
鹹湖(Great Salt Lake)  
があるが、合衆國の所  
で説明する。  
◎【ナイヤガラ瀑布】  
エリー湖とオンタリオ

湖を連れるナイヤガラ河は米・加の境界線をなしてゐる。同河が、北流する途中ゴート島(Goat)のある所で有名なナイヤガラ瀑布をなし、ゴート島の爲にカナダ瀑とアメリカ瀑とに分かれてゐる。カナダ瀑は其の形状によつて一に蹄鐵瀑(Horseshoe)と名づけられ幅九百米。アメリカ瀑は幅約三百米、高さは共に約五十米である。瀑布の轟々たる水聲は静夜順風の時五十哩を隔つるバーリントン丘(Burlington)で



布瀑ラガヤイナ

聞かれ、大地の振動は周圍十五哩に達し、一秒間の總水量七十萬噸に及ぶといふ。瀑布の觀望はゴート島の對岸ナイヤガラ公園のテーブルロックに及ぶ所はない。彼の懸崖から落下する巨水は流勢矢よりも早く、水量山より大に鞏々として地軸を振動せしめ、瀑底、沸騰混亂して叫喚の聲天地に滿ち、心膽爲に寒く感ずるものである。今は瀑布の周圍に七ヶ所の發電所があつて、大に水力を利用しつゝある。  
◎【瀑布の退却】 ナイヤガラ瀑布は一八四二年から一九〇五年までの觀察によれば、年々一米二七(四尺二寸)づつ退却してゐるといふことである。これは瀑布の上部は堅い石灰岩の層で水の浸蝕を受けること少いが、下部は比較的軟かな頁

岩であるので、飛沫の爲め頁岩は泥土となつて水と共に流れ去り深い洞穴を流の下に作るから、上部に突出した石灰岩も自己の重さの爲め墜落して瀑布の退却となるのである。現在のナイヤガラ瀑布から七哩の下流のクインスタウンといふ小市街までは兩側が絶壁から成る峡谷をなしてゐるが、是れは瀑布の退却路である。すべて瀑布はこの様にして、遂に峽流と化してしまふものである。

#### ④海岸

海岸線は屈曲が多くて、半島、島嶼の面積は本大陸の軀幹部面積に對し二十五パーセントに當つて六大洲中歐羅巴に次ぐ水平的肢節に富んだ所である。概して北岸及東岸は西岸よりも出入が多く、西岸は急峻な所が多いが東岸は平低な海岸が多い。

北氷洋方面 ハドソン灣(Hudson Bay)の外にバフィンランド(Baffin Land)をはじめ、數多の北氷洋諸島(Arctic Is.)があるけれども一年過半は氷結して人文の開発に關係少いのである。尙デーヴィス海峽(Davis Str.)の東方には世界最大の島グリーンランド(Greenland)が横はつてゐるが、氷雪に被はれて南西岸の外は殆んど利用されない。バフィン灣からは寒流(ラブラドル海流)南下し、鯨及海豹の漁獲がある。

大西洋方面 高豪性のラブラドル半島(Labrador)とニューファンドランド(Newfoundland)及ノヴァスコチヤ半島(Nova Scotia)に包まれたセントローレンス灣(St. Lawrence)がある。夏は霧多く、冬は氷結する。ニューファンドランド附近にはニューファンドランドバンクと稱せらるゝ淺き陸棚が發達して有名な漁場である。ノヴァスコチヤ半島の南部はカナダ東岸唯一の不凍の海岸であり、又同半島西部のファンチー灣(Bay of Fundy)は潮汐干満の差の大なること世界第一で二十一米を越ゆといふ。それで潮流は甚だ迅速である。その南フロリダ半島までは大きな出入は無いが、デラウェア灣、 Chesapeake 灣などがあつて良港大都が多く、人文發達上最も重要な海岸である。南部にはフロリダ(Florida)、ユカタン(Yucatan)の兩半島が突出してメキシコ灣(Gulf of Mexico)を包み、大小アンチル列島(Antilles)は弓形を畫してその外に連り、カリブ海(Caribbean Sea)を抱してゐる。

太平洋方面 西北部にアラスカ半島(Alaska)が突出で、數多の火山を有するアレウト列島(Aleutian Is.)の北にベーリング海(Bering Sea)を抱き、臘納歐で名高スプリピロフ群島(Pribilof Is.)が横はつてゐる。その以南の海岸は小出入が多く所謂フィヨルド(峽灣 Fiord)を形成してゐる。島も亦甚だ多く、ピージェットサウンド灣頭(Puget Sound)にあるヴァンクーヴァー島(Vancouver I.)が最も著しい。更に南に下ればカリフォルニア半島が細長く延びてカリフォルニア灣(California)を抱してゐる。概して太平洋岸は斷崖直ちに海に迫つてゐる處が多い。

【氣候】 地域が廣大で北極圏から北熱帯に亘つてゐる上に近海にはメキシコ灣流、ラブラドル海流、日本海流等の海流があるため氣候も各地一様ではない。便宜上左の五地方に分けて説明する。

1 北部地方 土地が北偏し且北氷洋に開けてゐるため、寒氣酷烈でグリーンランドはシベリヤのヴェルホヤンスク附近と共に世界寒極の一に數へられる。海面は年中の大半は堅氷が解けず、夏季には巨大な氷山が流れて来て航海者を困らせるものである。陸上は地下深く凍結して荒涼寂莫を極め無人の曠原が多い。この地方では夏季は夜がなく、冬季は晝がない所であつて、北進するに従ひ數ヶ月間、ぶつ通しの夜又は晝を生ずるのである。

2 東部地方 ラブラドル海流 (Labrador Current) (寒流) に洗はるゝ北部は寒氣強く、ヨーロッパの同緯度の地に比して遙かに寒冷であるが、メキシコ灣流 (Gulf Stream) (暖流) が近海を流るゝ南部地方は稍暖かである。若し北米の季節風が冬に南東風を吹き送るならば非常に温暖になるわけであるが、冬は大陸から海洋に向ふ風となるため、恰も日本に於ける日本海流の關係のやうに大なる影響は與へてゐない。此の寒暖二流が相會する所はニューファウンドランド (Newfoundland) の附近であるが四五月の頃は濃霧多く、殊にラブラドル海流が運び來る氷山はこの附近で融解す

るので、その氷山が含んでゐる土砂が堆積してニューファウンドランドペンクと稱する好漁場を形成したものである。氷山は北半球では此の附近に流下するのが最も多くて、時には水面上百米(水面下はこの七倍あり)に達するものがあり、其の低緯度地方で崩壊する時には大波を卷起して汽船を難破せしむるのである。それで濃霧と氷山は航海者が非常に恐れる所で、溫度の急降と突然の濃霧發生などで氷山の接近し來つたのを前知し、豫め針路をかへて之を避くるものである。

◎カナダのケベック (Quebec) は巴里と同緯度の地であるがケベックの一月平均溫度は零下十一度二で巴里の二度二に比すれば甚だ寒冷である。ノヴァスコシャ半島の南岸にあるハリファクス (Halifax) はフアンサー湾内のセントジョン (St. John) と共に東岸の不凍港でメキシコ灣流の影響を受け稍温暖なることが知られる。

3 南部地方 メキシコ灣岸・西印度諸島・中央亞米利加を含む地方で、地域が既に大部熱帯に位置すると、メキシコ灣流の影響とで熱帯性を帯び、雨量も亦多量で熱帯植物が繁茂してゐる。乾濕二季に分れ、而も低地は高温多濕であるため健康を害する所が少くない。西印度諸島及び南東沿海には夏秋の候旋風が屢々襲來する。

4 西部地方 太平洋岸の北半は日本海流(暖流)、南半はカリフォルニア海流(寒流)と西南風が發

達してゐる爲め、著しく温和で、雨量も亦少くない。一月の等温線圖を見ると、ノヴォスコチヤ半島とアラスカ半島とが同温度であることがわかるであらう。即ち加奈陀の西岸が緯度の割合に高温なることを知ることが出来る。桑港の一月平均温度九度四で略々同緯度のリスボン（ポルトガルの首府）の十度六と似てゐるが、夏は桑港の十六度に對しリスボンは二十一度七で桑港が温和なることが知れる。即ち南半は寒流の爲め、高温であるべき地方が緩和されて良好な氣候を呈してゐる。然しカスケード山脈又はシユラネバダ山脈を越えて内部の高臺地方に至ると寒暑共にはげしくして、著しく大陸的氣候となり、殊に雨量少くして所々に沙漠及び鹹湖を生じてゐる。コルチレラ山系中の大盆地地方は最も乾燥してゐる。

**中部大平原** 南北を遮断する山脈がなく、且つ、東西に障壁を有してゐる爲め、冬季の北風、夏季の南風が容赦なく侵入し來て、冬寒夏熱、大陸的氣候を呈し、雨量も亦甚だ少い。ロッキーマウンテンの東側ではチヌーク(Chinook)と云ふ西南風が吹いて氣温を調節するが又加奈陀から合衆國の大平原に亘つて襲來するブリザード(Bizzard)と云ふ強北風は大に氣温を低下せしめる寒風である。

**雨量** 太平洋岸の北部と大西洋岸の南半に最も多い。殊に、中央亞米利加の東岸は北東貿易風が

メキシコ灣流上の温暖にて濕潤な空氣を齎し來たる爲め特に多く、太平洋岸の北半も日本海流上の濕り氣の多い空氣を西南の主風の爲に吹送さるゝのが山脈に遮られて、多雨地を作るのである。故に太平洋から來る濕氣は多く西側の諸山脈に吸收されるから内部は概ね乾燥し、殊に大盆地は雨が少くして沙漠になつてゐる處がある。その沙漠地方は汽車で之を横切るのに一日もかゝるほど廣い面積を占めてゐるのが今は巧に灌溉工事を施し、荒地を化して農園となるものが年々その面積を加へてゐる。試みに降水量を挙げると、加奈陀のウニベグで五四八耗、南部のニューオールリーンスで一五三耗、西岸のバンギーバー島附近から北緯六十度に至る海岸地方は二千耗以上で其の南方は三千耗以上に達する所がある。グアテマラのヅラン(Duran)では四九五三耗の雨量があるといふ。要するに本大陸の降水量は海流と、山脈及び主風に大關係のあることがわかるであらう。

**【天産】 ●植物** 本洲の原生で今は世界各地に擴つてゐる、玉蜀黍・馬鈴薯・煙草等があり、又コロンブスの發見當時には、本大陸に一本も存在しなかつた綿・麥・甘藷・珈琲などが今では世界の大生産物となつてゐる。其の外珍奇なものには、南部の少雨乾燥の地では、仙人掌や、マグエー(龍舌蘭)(Maguey)のやうな水分に富んだものが多く、西部の海岸地方にはカリフォルニアの巨

樹が鬱蒼としてゐる。中米の熱帯林中のマホガニー (Mahogany) 及び蘇枋木 (Logwood) (染料をとる) は著名である。又森林は西部山地と五大湖地方とに發達して建築材及バルブ等を供給してゐる。

◎【仙人掌】 多肉質の植物で、葉はなく、扁平又は圓柱狀等の莖があつてその表面に數多の刺針がある。莖は二十米の高さに達するものがある。花は概ね單生である。莖に寄生する油蟲の一種のコチニール蟲は乾燥すると美麗な鮮紅色の色素を含むが故にこれに以て臘脂 (ベニ) を製す。又染料となすので墨西哥では、盛に仙人掌を植ゆ、コチニール蟲は雌蟲が洋紅の原料となる。

◎【龍舌蘭】 (マゲニー) 墨西哥の雨少い地方に盛に栽培して、多肉質の葉を有し、中部に高さ六間餘の花柄が出来てその頂に白色の花を開く。花柄よりはブルク (Pulque) と名づくる酒精質の飲料を集めることが出来る。其葉の纖維はヘネケン (Henquen) と云つて、強いため麻糸として綱又は袋などの原料とし、或は紙に製することが出来る。我が臺灣でも近時栽培す。

◎【カリフォルニアの巨樹】 樹種は松柏科であつて、其の平均樹高は四十餘間であるが、五十餘間に達するものが少くない。幹の直径は三間乃至六間もあつて、皮の厚さ三尺に餘る、其幹を いへ隧道を作つて馬車を通ずるものがある。其の生茂する所はシエラネバタ山脈の西斜面の二千五百米から千五百米の高地、

南北凡百里の間である。殊に巨大なものにはカリフォルニア州のカラザラス郡 (桑港の東約五十里) の森林地方である。米國政府は世界の名勝として之を保存する事として一部は伐採を禁じてゐる。(山崎氏「地理教授備考」に據る)

◎【マホガニー】 (桃心木) メキシコ、中米、西印度等に産する喬木で、材質は彎曲性に乏しいが堅硬で能く水に強い。木質は赤褐色を固有とするが日光に晒すと黒色に變じて甚だ雅致がある。器具用として賞用され、又柱時計の側に用ひられる。

◎【蘇枋木】 (Logwood) 中米に産する莖料の喬木で染料の原料とする。即ちこの木材を刻んで水を注いで醗酵させ熱湯で浸出せしめた液を、銅・鐵・クロムなどの酸化物と化合させて種々の染料を拵へるのである。殊に顯微鏡用の染料として貴重せられる。(守屋氏「物産辭典」に據る)

◎【動物】 七面鳥は新大陸特有の動物であつたが今は世界各地に擴まり、牛・馬・羊・豚等の家畜は新大陸發見當時は一つも居住しなかつたものだが現在は世界有數の家畜の多い所となつたのである。其の他本洲は舊大陸と永く隔離してゐたので生物の特殊なのが尠くない。北部には極地特有の白熊 (Polar Bear) 麝牛等が棲み、中部の山中にはアメリカ獅子の稱あるピューマ (Puma) がゐる。平原にはプレイリー犬 (Prairie Dog) が群居し、ロッキーマウンテン東麓の野牛 (Bison) 合衆國

西部の響尾蛇(Rattle Snake)、河湖の附近のビーヴァー(Beaver) (海狸) など何れもこの大陸の特産である。又中米にはタピア(Tapi) や林間の珠玉と稱せられる蜂鳥(Hummingbird) がゐる。

◎【白熊】 北極圏内に住む。性質兇悪で人を襲ひ猛獣中最大なもので、身長往々八尺以上に及ぶものがある。グリーンランドの土人は此の毛皮で外套や股引、足袋などをつくり又家内の敷物夜具等とする。日夕よく深海に入り游泳潜行して魚類を捕ふといふ。

◎【麝牛】 麝香牛ともいふ。小形の牛で北米の極北に住み、山野に群居してゐる。肉を食用とするが生肉は麝香の匂がする。

◎【ヒュマ】 亞米利加獅子と稱す。色の黄灰色なのは獅子に似てゐるが、大き及び性質は却て豹に類してゐる。身長約一米位、尾の長さは其の半位ある。鬣なく、時に行人を害す。北緯六十六度以南からメキシコの北部までの森林地方に群居し、夜間民家を襲うては一夜に数千の羊を奪ふ事がある。

◎【ブレイリー犬】 ブレイリー地方に群居するモルモットの一種で、ブレイリーモルモットとも稱せられる。土中に穴を掘つて住み、穴の上には監視者をおいて外敵を見張りしてゐる。體の長さは二尺に満たない。背は褐色、腹は青白色である。

◎【野牛】 ロッキーマン脈東側の草地に産し、北緯三十三度以南では生存しない。大群をなして生活し、北米の最大哺乳動物である。長さ約二間で鬣と角とを有してゐる。肉は美味、毛皮は土人の天幕、衣服、盾等に製作し、毛も亦利用される。夏日旅行の際、湯に瀕する時は、之を殺して胃中の水を得て渴死を免れる、ことがある。グリーンランドやコーカサス地方に生ずるものもある。

◎【響尾蛇】 (ガラヘビ) 長さ五尺許りで非常な毒を有する。人が之に噛まれると多くは死すが幸に生命はあつても噛まれた局部は切り取らねばならぬ。尾端に角質の環状をなしたものが二十枚位ゆるく連つて、尾を振ると一種の音を發する。十間を隔て、聞えるが水が其の中にはいれれば音を發しない。鳶色のが最も多く黄色や黒色のもある。今は合衆國の西部に多い。

◎【ビーヴァー】 (海狸) 貴重な毛皮を供給す。扁平な尾を有して水を泳ぎ齒では大木をも伐り倒す。夏は河湖の附近に穴をほりて住み、冬には二三百匹一群となつてビーヴァー町を造る。先づ立木を齒で噛み倒し之に樹枝や石や粘土などで半球形の巢を作り、周りに水を満へて來襲者を防ぐ。巢毎に二三十匹棲む、數多の巢の上部が水面に現はれた有様は恰も一村落のやうである。毛皮は褐色にて黄赤色を帯び非常に高價である。

◎【タピア】 (獺) 中米の森林地方に棲み、殊に河岸に群をなす。高さ四尺に達するものがある。力強く性質溫和で人を害することはない。感覺鋭敏で晝間は森林中に隠れ、夜間は遠く往來して菓實樹皮等を食す



る。毛色は一般に灰褐色である。馬來半島及びヒスマトラ、ホルネオ地方に産するものもある。

◎【蜂鳥】 メキシコの山地から南米智利に至るアンデス山中に多い。高い雪線附近にも棲んでゐる。鳥類中最小の種類で體長二寸に過ぎない。羽毛美麗で金綠色を呈し、尾羽は殆んど半透明で、深紅色や紫や紺などの色に變はる。其の形も或は方形に或は圓形に變する。その翼の振動音は數間を隔て、聞かれる。故にハンミングバード(Hummingbird)の名がある。多く花間に戯れて蜜を吸ひ又昆蟲を食ふ。その羽毛は婦人帽子等の裝飾品となるので頗る高價である。

◎【鑛物】 其の産出は頗る豊富で他洲に傑出してゐる。即ち合衆國の鐵・石炭・石油・金・銀・銅は何れも世界屈指の産であり、加奈陀のニッケル、墨西哥の銀も世界第一である。尙詳細は各國産業の部で解説することとする。

◎【練習問題】 (一)北アメリカ州の地形を記せ(海機)。(二)アマラチ山脈に就て記せ(高等)。(三)コロンサレラ山系につきて記述せよ(専校・陸士)。(四)北アメリカ州の東岸と西岸との差異を問ふ(海機)。(五)運輸上著名なる北米の大河を擧げよ(外語)。(六)北亞米利加の五大湖及び二大灣を問ふ(海兵)。(七)北アメリカ州と歐羅巴州との氣候の差異及びその差異ある理由を述べよ(海兵)。(八)ラブラドル海流に就き知る所を記せ(陸士)。(九)ヒューゼットサウンド灣につきて知る所を記せ(神商)。

◎【考究問題】 一北米附近の海流が其氣候に及ぼせる影響を考察せよ。二北米の湖沼が主としてロッキーマウンテンと直角の方向をとる所以を考察せよ。◎五大湖及び東西兩高地の成因を考究せよ。

## 第二章 人文地理

【住民】 ●人口 人口一億三千萬で面積は我が國の三十七倍に當るが人口は二倍に足らぬ。それで人口密度は一方五・五人餘(一方里八十一人)で我が國の百十四人に對しては二十三分の一の密度しか無い。(我が内地の百四十六人に對しては約三十分の一)それで産業開發の爲めにも人口が不足であり隨つて歐洲人の移住は非常に多く年々數十萬に上り過去百年間に四千萬を越えたのである。

◎【種族】 歐羅巴人種が全人口の三分の二を占め有色人種が三分の一程の割合である。  
A. 歐羅巴人種 全人口の三分の二を占め八千數百萬人に及ぶ。概ね歐羅巴から移住したもの及び其の子孫で、就中最も多いのはチュートン民族の英吉利人系統で南部地方以外は各地に住し、殊に亞米利加合衆國及び加奈陀の中堅をなしてゐる。同じチュートン民族の獨逸人系も中部に繁殖し、共に新教を奉じてゐる。次にラテン民族の佛蘭西人系のもは加奈陀の東部に住み同じ民族

の西班牙人系のもは墨西哥以南の中堅民となり何れも舊教を奉じてゐる。殊に近時は伊太利人の移民が非常に増加し、主に米國に住んでゐる。

B. 亞弗利加人種 本洲の原住民たるアメリカインディアンは北部に少く、中部以南に多く、白人の移住以來漸次減少するので保護問題が起り、亞米利加合衆國ではこの人種の爲に特に地區を限つてその部落を存せしめ保護の途を講じてゐる。皮膚銅色であるから銅色人種ともいふ。白人との雜種をメスチゾ族(Mestizos)と言ひ甚だ勢力がある。

○【アメリカインディアン】 加奈陀に十三萬、合衆國に約三十萬、墨西哥に約五百萬、中央亞米利加に約百五十萬、南米では雜種のメスチゾ族を合せると三千五百萬に達する。此の土人の風習として男子は鷲の羽と猪の牙で頭部を飾り顔や體には脂肪と炭とを混ぜたものを塗抹し皮又は綿布製の襦袢を着て、手に武器を持つ。又婦人は小兒を水牛の皮の籠に入れて負ふてゐる。天幕は四米乃至六米位の棒を組みそれに水牛の皮を張つて作りその中に住んでゐる。合衆國では、ミシシッピ河以西に住んで牧畜漁獵を業としてゐるが南部にあるものは農業を營むものがある、其の数が次第に減少するので特別の地區を限つて保護してゐる。其の保護地域では、白人の居住を禁じ政府から生活必需品の一部又は全部を給せられ、各部落には政府から任命した管理者と教師と醫師がある。オクラホマ州にあるものが最大で其の他各地を合算すると

約三十一萬方軒(二萬方里)に達する

C. 阿弗利加人種 所謂黒人で、昔奴隸として亞弗利加のギネヤ地方(Guinea)から輸入されたネグロ族は始めは甘薯、煙草、棉等の栽培に使用されたものであるが、大統領モンローの時に開放されて、今は合衆國の南東部から熱帯地方にかけて繁殖し、凡そ全人口の一分を占めてゐる。合衆國だけでも一千萬人に近く、自ら教會堂を有し、或は大學を經營してゐるものがあつて、近來大に進歩してゐる。白人との雜種をムラト(Mulatto)と言ふ。

D. 亞細亞人種 北部にエスキモー族(亞米利加人種とも稱せられる)が住み西部に日本人、支那人が居住するが以上三人種に比較すると極めて少數である。日本人は米國本土に十三萬一千人、加奈陀に約二萬人、墨西哥に三千二百人、中米に六百人在留してゐるが、合衆國では排日法が制定された爲め、一九二四年(大正十三年)七月一日より日本人の移民は不可能となつた。加奈陀ではルニョー條約が存在するが、それでも勞働者は一年四百名しか行けない。而も此處でも米國同様排日の氣運が動いてゐる。唯々獨り墨西哥だけは日本人の入國を大に歡迎してゐるのである。支那人の本洲に居住するもの約三十萬人あるが、日本人以上に排斥されて居り、同移民の入國不能の所が多い。

○【エスキモー族】皮膚は黄色又は褐色で鬚は少い。世界第一の倭小な人種と言ふのは誤りで其實六尺に達するものがあり、普通の身長は日本人と大差はない。北米の北方一帯の西はベーリンゲ海峡から東はグリーンランドまで居住する。衣服は筒袖股引で獸類の皮又は鳥の皮で造る外に海獸の腸を縦に切り開き縫ひ合せて作ることもある。毛皮にて作つたものは雪が毛の間に入つて重くなる不便があるから、此の滑かな勝製の服を着として用ひてゐる。頭巾は寒氣を防ぐためばかりでなく女子は之を後方に垂れて中に幼児を入れる。食物は鳥・海獸・馴鹿・白熊・魚等で多く獲た時は雪中に穴を掘り天然の冷蔵庫として入れて置くから腐敗することはない。家屋を造るには降り積つた堅い雪を煉瓦形に切つて重れ水で之を接合す。水は直ぐに凍るから恰度セメントの代りとなる。入口は寒氣が屋内に入ることを防ぐ爲めに甚だ低く且長くして匍匐して入れればならぬ。屋内は温暖で天井の雪塊から融ける水滴を防ぐ爲め馴鹿の皮で造つた天幕を張つてゐる。此の人種の自製の利器は石器或は骨器である。グリーンランド鳥のエスキモー種族の中には普通の家屋を有し學校や寺院などを有してゐるものがある。エスキモー人の總数は約三萬人と稱せられる。(主として三省堂「日本百科辭書」に據る)

●宗教 基督教を主として、其の新教は中部以北のチュートン系統の種族に行はれ、舊教は南部のラテン系統の種族を主として信ぜられる。

●四言語 大部は英語が行はれてゐるが、墨西哥以南には西班牙語、セントローレンス河域の各地には佛蘭西語や獨逸語が行はれてゐる。言語の配布で歐洲諸國の本洲に於ける植民政策の成敗の跡を察することが出来る。

●移民 前に述べたやうに本洲は人口稀薄な爲め、富源開發にも勞働者の不足を感じる状態であつたから或は黒人の輸入となり、或は歐羅巴人の移住、亞細亞人種の發展となつたのである。殊に歐洲人の移住は年々數十萬に上り過去百年間に四千萬を越えたのである。加奈陀及合衆國に移住する農民で中部平原を拓殖するものは一戸につき六十四ヘクタール(一ヘクタールは約一町歩)の地を無代で下附される。我が農民が平均一戸一ヘクタール餘(我農家一戸當平均一町一段歩)を耕すのに比べると、驚くべき差である。然るに人種的偏見から日本人や支那人の移民に對しては入國を拒絶したり、或は制限する様になつたのは遺憾である。合衆國では一八八八年に支那人の排斥法制定され、一九二四年には日本人も全然移民を禁止する法律を作つた。加奈陀では日本人に對してはルニユー條約があるため年々四百名までの入國を許すが、支那人に對しては一入につき五百弗といふ高い入國税をとつて殆んど勞働者の入國を不可能ならしめてゐたが、それでも入國するものがあるので、一九二三年以來(大正十二年)極端な法律を作つて之を拒絶しやう

としてゐる。墨西哥は親日の念厚く、邦人の移住を歓迎してゐるが、邦人間に十分理解されざる爲か、現在三千二百人足らずである。尙合衆國では歐洲人に對しても入國を制限するやうになつたが後章に説明することとする。

【産業】 本洲は土地廣大肥沃、而も其の大部分が温帯で、人口少くして天産豊富であるが土人は薄弱無力であるから發見以來歐洲人は先を争つて移住し、南部では黒人を輸入して拓殖に努めたので其の發達が非常に速く、現在では産業の發達は他に比類がない程である。

●農業 中部の大平原は「世界の大穀倉」と稱せられ、中部以北には玉蜀黍・小麦・燕麥・大麦の産が多く南部には棉花・煙草を産し、熱帯地方には甘蔗や果實が多い。而も世界第一の産額を誇るものが頗る夥しい。農耕、收穫は人口の密度が尙少いので、多くは電力、汽力に依る機械や駄獸を使用し、規模が甚だ大きい大農法を採つてゐる。

◎【大農法】 米國テキサス州では一人平均百エーカー（一エーカーは四段二十四歩）を受持つのが普通である。日本で五段歩に一人とすれば約八十倍の土地を耕すことになる。蒸氣耕耘機を使用すると、土壤を細く碎いて其の後に種子を下し、ロールで其の上に土をおふて地均しをすることが一度に出来て行く。又、馬力收穫機を使用すると小麦等を刈り取ると同時に之を脱穀し、稈は細く碎いて外部に四散させ穀粒だけを下部の容器に堆積させることを一度に済して行くのである。

●林業 東西の兩高地には林産が極めて豊富で合衆國ではカリフォルニアの巨樹とアメリカ松などが有名で木材の輸出は頗る多い。又加奈陀の南西部地方にも鬱蒼たる森林があつて木材やパルプの産が有名である。

●牧畜業 ロッキーマン山脈の東麓と本洲の中部に盛大で牛・馬・羊・豚を牧し、肉・乳・皮革等を歐洲に供給してゐる。殊に合衆國の豚の數は世界第一で、牛・馬・羊も亦多く、シカゴ(Chicago)の屠獸場では日に十餘萬頭を屠殺する程である。加奈陀の大湖地方でも肉類の外乾酪(チーズ Cheese)や皮革等の副産物が多いのである。

●水産業 東西兩岸の北部が最も盛大で鱈・鯨・鮭等の漁獲が多い。ニューファウンドランド(Newfoundland)近海は「世界三大漁場」の一に數へられ好漁場である。フレゼー河(Fraser)やユーコン河(Yukon)の鮭を始めとして北方の河湖にも亦水産豊富である。

●鑛業 鑛物の種類と埋藏量の豊富なことは他洲に冠絶し、大湖附近やアパラチャ山脈や中部平原には、鐵・石油・石炭等を産し、コルチレラ山中には銅・銀・鉛の産が頗る多い。鐵・石炭・石油・銅・硫黄等は米國に、ニッケルは加奈陀に、銀は墨西哥に世界第一の産額を示してゐる。

六 工業 鑛産及工業原料が頗る豊富な上に五大湖をはじめ米國東部の瀑布線附近は水力の利用に便利なため工業が大いに發達し、特に大戰當時から目覺しく發展勃興して、米國の如きは英國と覇を争ふ大工業國となつたのである。米國の製鐵・造船・機械・織物・製粉・罐詰等、加奈陀の製粉・製材・酪業等は特に有名である。

七 商業 世界第二の大商船隊を有して貿易材料豊富な米國がある上に、英國の大植民地で食糧品を多量に産する加奈陀があるために、商業も頗る盛で、東部諸港は既に世界有数の貿易港となり、歐洲貿易が最も盛大で、南米貿易及び東洋貿易が之に次で盛である。殊に米國は各種の生産品が豊富であるために世界の大出超國として又世界第二の貿易額ある國で名高い。

【交通】 本洲は天産が多く各種の産業が發達してゐて、水陸の交通機關が大に發達してゐる。殊に本大陸の産業の大中心が西經百度以東、南は墨西哥灣の北岸から北は五大湖、セントローレンス河に至る地域で農牧、鑛工業の主要産物の大部がこゝに産せられるので、海岸には數多の良港があり陸には鐵道網の大發達と共に河湖の水運が大に便利で本洲中最も交通の發達が著しい所である。

一 鐵道 本洲は六大洲中鐵道の最もよく發達した所で世界鐵道百十八萬軒(約七十二萬哩)の半に近き五十二萬軒(三十二萬哩)に達し、米國だけでも四十二萬七千軒(二十六萬五千哩)で地球の周りを優に十周することが出来る。殊に大陸の東部が最も早くから開けた地方で産業が發達してゐるので鐵道網が密である。大陸横斷の鐵道も加奈陀に二線、米國に七線、墨西哥及中米に四線あつて、東西兩洋の連絡も至極便利である。陸上では鐵道の外自動車も日常必須の交通機關となつてゐて米國だけでも一千萬臺を超えてゐる。

二 河湖の交通 五大湖及びミシシッピ河、セントローレンス河をはじめとして、平原にある多くの河川の水運は頗る盛で、寧ろ海上交通に優る程である。殊にミシシッピ河本支流の航水路は二萬四千餘軒(約一萬五千哩)に達し、大陸の交通に便利を與へることが大である。

三 運河 パナマ運河の開通は、東西兩洋交通の最短線路を開いたもので、眞に世界交通上一新紀元を劃したのである。その他、スベリオル湖とヒューロン湖を連ねてゐるソーサンマリイ運河(Sault St. Marie)及びエリー湖とオンタリオ湖を連絡するウ・ルランド運河(Welland)は有名である。殊にソーサンマリイ運河を通過する船舶の數がスエズ運河より多いのでも其の交通が盛であることが知られる。

四 航路 歐洲との交通が最も頻繁で南米・東洋・濠洲との航路も盛である。殊に東岸は海港が多

く大西洋を隔て、歐洲の文明諸國を控へ、本洲よりの輸出品が頗る豊富であり、従つて交通頻繁である。又パナマ運河の開通は本洲東岸と東亞・濠洲との連絡を容易ならしたのである。殊に太平・大西兩岸には近年次第に大速度の巨船を用ひるやうになり、其の大速度の船で最捷路によると日本・アメリカ間約八日、イギリス・アメリカ間約五日を要するに過ぎないが、日本の船舶は横濱・桑港間を普通十六日を要してゐる。

◎我が國と亞米利加航路】日本郵船の米國線(香港—タコマ間)、大阪商船の北米線(香港—タコマ間)、南米東岸線(神戸—アエノスアイレス間)、紐育線(シンガポール—横濱—紐育間)、東洋汽船の桑港線(香港—ロスアンゼルス間)、南米西岸線(香港—ヴァルパライソ間)等がある。

【五通信】海底電線は歐洲との間に十六線、亞細亞・濠洲に至るものが各一線ある。中米・西印度には海岸各地を連絡するものがある。歐米間十六線中十二線はニューファンドランド及ノヴァスコチア半島から出てゐる。無線電信も大に發達し、本洲各地間には飛行郵便が定期に行はれるなど通信網は殆んど完備に近いといつてよい。

【北亞米利加洲の現勢】現今十一箇國と英・佛・蘭等歐洲諸國の領土とから成つてゐる。是等の獨立國は合衆國の獨立以後に國を建てたものですべて立憲共和制を採つてゐて、王國が一つも

無いのは注意すべき事である。獨立國を擧げると北米に亞米利加合衆國と墨西哥の二國があり、中米にはグアテマラ、サルヴァドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマの六共和國があり、西印度諸島にキューバ、ハイチ、サントドミンゴの三共和國がある。領土には北部に英領たる加奈陀、米領たるアラスカがあり、中米には英領のホンジュラス、西印度諸島には英、佛・米・蘭の領土がある。今本洲の政治的區劃及び其の面積人口等の概略を示せば、次の如くである。(Xは外國領土)

國名	面積	人口	人口密度	首府
	方	人	一	
	方	人	方	
	里	人	里	
亞米利加合衆國	7,700,000 (7,700,000)	105,710,000	14	華盛頓
X加奈陀(英領)	9,510,000 (9,510,000)	8,800,000	1	オッタワ
墨西哥	1,000,000 (1,000,000)	15,110,000	8	墨西哥
グアテマラ	130,000 (130,000)	2,000,000	16	グアテマラ
ホンジュラス	115,000 (115,000)	500,000	5	テケシガルバ
サルヴァドル	50,000 (50,000)	1,250,000	25	サンサルバドル

ニカラガ	118,000	( 8,500)	700,000	五	マナグア
コスタリカ	59,000	( 3,800)	500,000	八	サンホセ
メナマ	83,900	( 5,800)	800,000	五	メナマ
X英領ホンジュラス	31,000	( 1,800)	800,000	二	
キューバ	118,000	( 4,800)	1,100,000	三	ハヴァナ
ハイチ	112,000	( 1,200)	1,000,000	七	ポートオープリンス
サントドミンゴ	82,000	( 3,000)	710,000	一	サントドミンゴ
Xグリーンランド(丁抹領)	11,200,000	(180,000)	10,000	0.00%	
Xアラスカ(米領)	1,500,000	(100,000)	50,000	0.03%	
Xニューファウンドランド(英領)	110,000	( 7,000)	110,000	一	
Xジャマイカ(英領)	10,900	( 700)	80,000	八	
Xホルトリコ(米領)	9,000	( 200)	1,100,000	110	
Xバハマ諸島(英領)	11,800	( 720)	20,000	五	

【亞米利加の探検】 一時北歐の海上を雄飛したノルマン人(Norhmen)(今の丁抹やスカンヂ

ナビヤの住民の祖先)は十世紀の頃アイスランドからグリーンランド・ラブラドルを経て尙南方に達したことがあるが本洲発見者の名譽はクリストフ・コロンブス(Christopher Columbus)の負ふ所である。コロンブスは一四三五年伊太利ゼノアに生れ、航海の業に従事し、地球が球形なること、印度に達するには西航する方が東航よりも近距離であることを確信して、生地ゼノア人に説いたが納れられず、次で葡萄牙のジョン王及び西班牙のフェルデナンド王にも採用されず、漸く西班牙の女王イサベラ(Isabella)の贊助を得、三隻の小船と百十二人の水夫を率ゐて一四九二年八月三日西班牙のパロス港(Palos)を出帆し、十月十一日の朝西印度バハマ群島中のサンサルバドル島(ワトリング島) San Salvador (Waling) に上陸、西班牙領と宣言した。時にコロンブスは五十七歳であつた。次いでキューバ・ハイチ等の島嶼を發見して翌年歐洲に歸つた。其の後コロンブスは三回の探検を試みて居る。即ち第二回(一四九三—一四九六)にはジャマイカ・小アンチル列島を、第三回(一四九八—一五〇〇)には南米オリノコ河口を、第四回(一五〇一—一五〇四)には中米のホンジュラス・コスタリカを發見したのである。西印度諸島と稱するものもコロンブスが印度の西部であると信じたが爲である。一五〇六年死す。

其の他伊太利ベニスの人カボット(Cabot)は英吉利に仕へて、ラブラドルに始めて至り(一四九

七) 其の子カボットも北緯六十七度から南はフロリダ附近に至り(一四九八)、伊太利人アメリゴ・ベスプチ(Amerigo Vespucci)は葡萄牙から派遣されてギアナ地方に達し(一四九九—一五〇〇)カブラル(Cabral)はブラジルの海岸に漂着して此の地を葡萄牙領と定めた(一五〇〇)。又西班牙人フェルナンド・コルテス(Fernand Cortes)は墨西哥を征伐し(一五一九—一二)葡萄牙人マルラン(Marallanes)は西班牙王の命を受け、マジラン海峡を始めて通過し(一五二〇)、アジャに來てフィリピン諸島を發見し、西班牙の將ピサロ(Pizarro)はペルーを征服して西班牙領を擴張した(一五三一—三二)。それから探検者も益々増加すると共に、西班牙人、葡萄牙人が先づ移住し、次に英吉利人、佛蘭西人も多く來住し、アフリカから黒人を奴隸として輸入したことがあつて次第に開發されたのである。亞米利加といふ名稱は伊太利の探検家アメリゴベスプチに因んでワルドゼーミッセルレルが一五〇七年に出版したコスモグラフィに始めて用ひたるに起つたものだといふ。

◎【練習問題】 (一)北亞米利加の國名を北より順次に列記せよ(海兵・普文) (二)北亞米利加に於ける我が條約國(長商)。(答。北米合衆國と墨西哥) (三)北亞米利加大陸の横斷鐵道を列舉せよ(高等) (尙各國地方誌の部参照)。(四)北亞米利加洲へ航路を有する我が汽船會社の名稱並に其の航路の終點を記せ(海兵)。

(五)北米大陸の内陸水路につきて記せ(文檢)。(六)ラテンアメリカ諸國の政體・住民を記せ(文檢)(注意—墨西哥以南の各國地方誌参照—南米まで)。(七)我が移民地としての北米各地の現狀を述べよ。(八)北米の人種分布について説明せよ。(九)北米の産業を述べよ。(十)北米と我が國との交通・通信兩機關の狀況を述べよ。(十一)新大陸發見に就て記せ。

◎【考究問題】 ①北米東部が大都會多く開化の度著しい理由を記せ。②北米が移住を必要とする所以と米國等がそれを制限又は拒否する理由を考察せよ。③本洲に大農法が發達せる所以如何。④嘗つて本洲に生存しなかつた家畜が世界有数の頭數となつた理由を考察せよ。⑤本洲産業の大中心が中部以東にある所以を記せ。

### 第二章 加奈陀 (Canada)

#### 附 ニューファウンドランド (Newfoundland)

【境域】 本大陸の北半部の廣大な地域を占め、東西經度の差九十度に近い。北西は、アラスカ(Alaska)と境し、南は北米合衆國と北緯四十九度線及びスベリオル、ヒューロン、エリー、オンタリオの四大湖等を以て境し、三方は大洋に面する。即ち西は太平洋、北は北極洋、東は大西洋



に臨む。北は北緯八十三度以上に及び極南は北緯四十二度である。  
面積は九百六十二萬方呎(約六十二萬四千方里)で歐羅巴洲(九九一萬方呎)の廣さと大差なく北米大陸の三分の一より大で、我が國の十四倍に當つて居るが凍原荒野多く、人類の居住に適する所は少ない。

【地勢】 加奈陀の地勢は往昔氷河時代に於て氷河の營力の爲に生成せられた氷河湖や堆石が多くて北歐羅巴地方の地勢に類似した所が尠くない。

●山嶽・平野 大別して東西兩高地及び中央平原とする。

1 西部大高地 太平洋岸にはカスケード山脈(Cascade)があり其の東方にロッキーマウンテン脈(Rocky)並走し、太平洋岸は急傾斜をなしてゐる。是等の西部の山脈を總稱してコルヂレラ山系(Cordilleran)と言ひ土地高峻で、一般に南部が高度著しいけれども最高峯ローガン山(Mt. Logan)(五九四八米)は却て北方アラスカに近く存してゐる。其の他の高峯にはフーカー山(Hooker)(四三三二八米)、アルベルタ(Alberta)(三六一九米)、マーチソン山(Murchison)(四一八八米)等がある。殊にアルベルタ山は加奈陀、ロッキーマウンテン中の最も登攀に困難なる山峯であつたが、我が邦の山岳家横有恒氏一行が、最近に山嶺に足跡を印して登山記録を造つた。アラスカに近いセントエリヤス

山(St. Elias)(五五一七米)は火山である。

◎【アルベルタ山と横有恒氏】 アルベルタ山は高さ一一、八七四呎(三、六一九米)で、カナダロッキーマウンテン中最高峰ではないが、山峰峻嶒で此れまで登山家によりて屢々登攀を企てられたが、遂に失敗に終つて唯山の王として威容を恣にするのみであつた。我が日本の山岳家横有恒氏が同志五名と共に大阪毎日新聞社の後援で遙々登攀を企て、遂に非常の困苦を極めて山頂に達し、遂に此の山を征服した。一行が山頂に達するや、細川護立侯爵が與へられた水斧(アイスクラス)を岩を積んだ中に立た。そうして空罐のなかに「千九百二十五年七月二十一日午後七時半、十六時間の健闘の後に頂上に達す。案内者フーレル、コーレル助手ウエバー以下六名の一行は遙けくも日本より、この偉大なる山岳を慕ひて來れるものなり」との意を認めて残り、下山にも非常の困難の後、十四時間を費して麓に達した。嗟呼此の靈山が長へに巍然として偉容を擅にして聳へる限り、横有恒氏一行の英名も不朽に存するであらう。

2 東部小高地 東方にはラブラドル高臺(Labrador)があるがその高度は著しくない。尙其の南部にはアバラチャ山脈の餘勢を受け、ノヴスコチヤ半島にも山地や湖沼が多く、セントローレンス河下流の北方にローレンシア山脈(Laurentian)があるが何れも高さは著しくない。ラブラ

ドル高臺は氷河の營力即ち著しい氷蝕を受けて出來た臺地である。

3 中央平原 東西兩高地間の廣大な平野で往昔氷河の作用で出來た數多の氷河湖がある。北部は不毛の凍原で、地下深い所まで氷結し夏と雖、凍土の表面が一米内外融解する所で人類の生活に適してゐない。然し南部は肥沃な平原で農業に適し森林も亦頗る繁茂して、加奈陀の主要部をなしてゐる。ロッキーマウンテン東麓から、ウィニペグ湖までの平原は、合衆國と同じく、プレイリー(Prairie)と云ふ草原があつて牧畜に適してゐる。北方には又ハドソン灣が深く入り込んでゐる。

● 河流・湖沼 河流は多くの湖沼を連ねて流るのが特色で、セントローレンス河 (St. Lawrence) は五大湖を、マッケンジー河 (MacKenzie) はアサバスカ湖 (Athabasca) グレートスレーブ湖 (Great Slave) グレートベア湖 (Great Bear) 等を連ね、ネルソン河 (Nelson) はウィニペグ湖 (Winnipeg) の水を容れてハドソン灣に注いでゐる。尙西部には銜で名高フレザー河 (Fraser) がある。土地が北偏するから、是等の諸川は冬季概ね凍結する缺點があるが、セントローレンス河をはじめ、灌溉と水運とに便利な河川も多い。尙、大分水界が西偏するのと東部にハドソン灣の大灣入があり、域内に湖沼の多いのは加奈陀に大河の少い所以である。湖沼には五大湖中のスペリオール (Superior) ジュロノン (Huron) エリー (Erie) オンタリオ (Ontario) の四湖が合衆國と

の國境線上に位する外、北方平原には多數の湖沼あること前に説明した通りであるが、是等は昔氷河の營力で生成したものである。即ち往昔地質時代の末期洪積世の氷河時代には北米の約北緯四十度以北は廣大な氷層に被はれしが爲め、歐洲の北西部と同じく、岩石露出し又は砂礫に蔽はれた不毛の地が多く、或は水を湛へて氷河湖を形成し、又は氷河の遺物たる堆石を各所に散在してゐるのである。五大湖をはじめ、多くの湖沼がロッキーマウンテンと直角の方向に細長い形をしてゐるのも氷河融解の跡が窺はれる。エリー湖とオンタリオ湖とを連ねるナイアガラ河 (Niagara R.) には有名なナイアガラ瀑布 (Niagara Falls) があるのは總説の部(二二四頁)で説明した通りである。

● 海岸 太平洋岸は小出入多くフィヨルド (Fjord) をなし、島嶼も亦多くバンクーバー島 (Vancouver) が最も有名である。然し山脈が海岸に迫つて平地少く、且又背後との交通不便等のため出入の割合に大貿易港は發展しないが、バンクーバー・プリンズルバートは主要の良港である。東方、大西洋岸にはラブラドル半島 (Labrador) とノヴァスコチヤ半島 (Nova Scotia) が突出してニューファウンドランド島 (Newfoundland) と共にセントローレンス灣を抱いてゐる。この灣は冬季結氷五ヶ月にわたり夏季には霧多い缺點はあるが、最も重要な灣入であるから夏は内陸

出入の門戸に當るのである。北氷洋岸は半島も島嶼も頗る多いが、ハドソン灣(Hudson Bay)の八ヶ月凍結をはじめ、概して結氷期が長い上に産物が少いため、僅に少數のエスキモー族のため放棄して居て人文上の價値は少い。唯ハドソン灣には夏季英本國の船舶が出入してゐる。グリーンヤ半島(Groenland)は地磁氣の北極である。

◎【地磁氣の極】 地磁氣の極は地軸と一致しない爲に、磁針は處によつて眞の南北と多少方向を異にし、而も永久不變でない。東京では西偏約五度である。北磁極は一八一三年英人ロウスの發見でグリーンヤ半島の西部に當る。南磁極は一九〇九年英人デヴィット博士の發見で南極洲のヴィクトリアランドにある。

【氣候】 合衆國との國境は大部分北緯四十九度であるから、地域が既に我が樺太の北部以北の地に在るわけで一般に寒冷である。殊に北方には寒風を遮る山脈がないのと附近に寒暖の海流があるので各地多少の趣きを異にしてゐる。即ち、北部は寒氣酷烈で西比利亚と大差なく年の大部は氷雪に鎖されて地下深い所まで凍結した所謂凍土帯で、殆んど人類の生活に適しない。河湖、沿海は半年以上氷結する。東岸はラブラドル海流(Labrador Current)南下して寒氣強く、濃霧多く緯度の割合に低溫で不凍港は稀である。唯五大湖からノヴァスコチヤ半島に至る地は稍溫和でハリファクス(Halifax)やセントジョン(St. John)等の不凍港があり、産業が發達してゐる。西

岸は日本海流(Japan Current)と南西風の爲め、氣溫が高く雨量が多いので最も良好な氣候である。中部は寒暑甚しく、降雨中度の大陸性氣候で、南部のプレイリーは寡雨の草野で、五大湖附近は比較的溫和、人口稠密である。

【産業】 面積は歐洲に匹敵するが、人口は我が九州にも及ばないから、天然の資源は豊富であるが、其の利用はまだ十分ではない。産業の主なるものは農業で林業・牧畜が之に次いでゐる。

●農業 セントローレンス河流域、五大湖附近、及中央平原の南部は地味肥沃で夏の氣溫も亦高いので、農耕に適してこの國産業の大中心をなして居る。農産物は小麥・燕麥・馬鈴薯・果實等で、大規模の農業が行はれ、殊に小麥は米國・印度に次ぎ世界第三の産出で小麥及麥粉として、この國の主要な輸出品である。

●林業 南東及び南西地方には樺や松などの自然林が鬱蒼と茂つて木材やパルプの産が甚だ多く、この國の一大富源をなしてゐる。殊にオッタワ河附近では冬日河畔に集積し陽春融氷を待つて流し出す木材が毎年五百萬本を下らずといふ。又南西部の山地に多い砂糖楓(Sugar Maple)からは春樹幹に孔を穿ち、滲出した液を樽に滴下させて砂糖を作るのである。

●牧畜業 ロッキー山脈東麓にある乾燥した平原地方即ちプレイリーといふ草原が最も盛んで、

牛・羊・豚等が多く、肉類や乾酪(チーズ)皮革等は重要な輸出品をなしてゐる。又、セントローレンス灣内のプリンス・エドワード島(Prince Edward I.)には養狐業が行はれて毛皮をとつてゐるし、北部の荒野にも毛皮獣が夥しい。

④水産業 東岸は世界三大豊漁帯の一であるから、ノヴ・スコチヤ半島近海では鱈・鯊の漁業が盛で、西海岸の諸川、殊にフレゼー河(Fraser)の鮭と共に最も有名である。フレゼー河では鮭の群集季には河水が堰き止めらるゝ事がある。其の他の河湖も亦魚族に富んでゐる。

⑤鑛業 鑛物の埋蔵は頗る豊富で、ノヴ・スコチヤ半島・バジクーパー島の石炭が鑛産中第一位を占める外、ヒューロン湖北の銀・ニッケル、西部山地の銅、アラスカに近いクロンダイク(Klon-dike)の砂金、ヒューロン湖北及西部の鐵は著名である。殊にニッケル(白銅)はウィニベク湖の西方サッドバリー(Sudbury)を主産地として、世界産額の半以上を産し、ニューカレドニアのそれを遙かに凌ぐやうになつた。又ラブラドル半島の石綿も世界主要の産である。石炭の埋蔵量は米國に次ぐ多量の地と稱せられるが、採掘はまだ十分でないので米國から輸入してゐる。

⑥工業 東部地方は特に發達して、ナイヤガラ瀑布の水力も利用せられ、製粉・製材・パルプ・乾酪等の工業が盛である。加奈陀の工業が年々發達し、製造品の輸出も増加してはゐるが、尙、輸

入の主なるものが鐵製品・綿製品の如き工業品であるのを見ても、未だ隆盛だとはいはれない。

⑦貿易 米國との取引最も多く英國之に次ぐ。輸出には小麦及麥粉・木材及その製品・鑛物・乾酪等主として原料品が多く、輸入には鐵製品・綿製品・石炭・砂糖・毛織物等の製造品が多い。一九二二年の輸入九億四千五百萬弗、輸出八億二百萬弗で、總計四十億圓内外である。我が國から絹織物・製茶・生絲・陶器等を輸入し、木材・パルプ・麥粉等を日本へ輸出する。

【交通】 鐵道 延長四萬哩で東南部によく發達し、東西海岸を連絡する横斷鐵道が二線ある。一は加奈陀太平洋鐵道(Canadian Pacific Railway)でハリヤフクスから起りモントリオール・ウィニベグを経てヴァンクーバーに至る(五千八百軒約三千六百哩)もので約五日半かゝる。(狹義に解してモントリオール・ヴァンクーバー間四千六百軒(二千九百哩)を言ふこともある)一八八六年開通以來沿線の廣大な沃野が開發され附近に幾多の聚落が出来た。此の線は我が國から北米を経て歐洲に至る捷路で横濱からモントリオールまで十五日、倫敦まで二十二日で行けるので郵便線として用ひらる。他の一線はグランドトランク太平洋鐵道(Grand Trunk Pacific Railway)でケベック(Quebec)からウィニベグを経て太平洋岸のプリンスルパート(Prince Rupert)に至る横斷線である。

**河運** 河湖運河の水運も便利で殊にセントローレンス河・大湖及びこれと連絡する運河が重要な交通路で、ウエルランド運河・ソーサンマリ運河は有名である。唯、冬季結氷する缺點がある。又近年ハドソン灣岸のネルソン港（ネルソン河口にあり）までウニベグからハドソン鐵道を布設し、又は水路によつてハドソン灣岸に出で、中央加奈陀と歐洲とを接続せしめ、穀物を輸出してゐる。然しハドソン灣方面の航路は歐洲に最も近いが夏二ヶ月間航行されるだけである。

①【ウエルランド運河】Welland） エリー・オンタリオ兩湖間のナイヤガラ瀑布を迴避する運河で東端と北端との高低の差約百米あるので二十七箇の閘門（Lock）を造つて舟行をなしてゐる。長さ二七哩。

②【ソーサンマリ運河】（Sault Ste. Marie）（ソーサンマリ運河） スペリオル湖とヒューロンとを連ぬる運河で、兩湖の水面の差八米に及ぶから兩湖間千二百米（四分の三哩）の急流を避けるために米・加兩側に各一條の運河を開いたのである。附近に銅・銀・鐵などの鑛産地が多い爲に通過船舶はスエズ運河よりも多いといはれる。

**海運** 歐洲や米國に對しては、モントリオールを基點とするが結氷期にはハリファク・ヤセント・ジョンの不凍港を門戸とする。尙夏二ヶ月間は歐洲からの最捷路ハドソン灣への航路が利用されて、穀物を輸送してゐる。東洋や濠洲方面に對してはヴァンクーバーを門戸としてゐる。我が大

阪商船の北米航路にも寄航する。

**通信** ノヴァスコチヤ半島は歐洲に最も近いので海底電線が多く集まり、歐米間十六線中同半島及びニューファンドランドにあるのが十二線に及んでゐる。ヴァンクーバー島からは濠洲に通じてゐる。

**【住民】** ●人口 人口は八百八十萬人一方軒一人弱（一方里十四人）、面積は我國の十四倍あるが人口は九州位で密度は我が國の百二十分の一に過ぎない。北部一帯の寒地は人口稀薄で無人の地が多い。

●種族 種族には英人系のものが七割を占め、南部一帯の地に多く住み英語を用ひ新教を奉じてゐる。東南部のセントローレンス河下流地方には最初に植民した佛人系のものが多く佛語を用ひ、舊教を信じ、其の風俗も本國の古風を存してゐる。其の數約百七十萬。内地各所にはアメリカインヂアン（American Indians）が原始的生活を營み其の數僅に十三萬餘、而も減少の傾向がある。又北部には極少數のエスキモー族（Esquimaux）が氷を煉瓦狀に積んだ氷屋に海獸の腸や毛皮で作つた衣服を着て生活してゐる。在留日本人は一萬九千七百二十七人（大正十二年六月末調査）で多く西部ブリチッシュ・コロンビア州（一二、〇五一一人）に住んでゐる。

我が國は加奈陀とルニュー・條約を結んでゐるので一ヶ年四百名の移民は出来るが、近時排日の風があつて我が移民を喜ばない。

【政治】 英國の主要な自治領で加奈陀領土(Dominion of Canada)と稱し濠洲や南阿と共に三大自治植民地である。内閣と上下二院の議會があつて、英國皇帝の任命した總督が政權を統べてゐる。全土を九州と數地方とに分け、州にも自治制を布いて民選の知事と議會がある。英本國の干渉は殆んど受けないので獨立國の觀がある。唯ラブラドル半島北部の海岸地方はニューファウン  
ドランドと共に別に自治植民地である。

【沿革】 一四九七年伊人カボット(Cabot)はラブラドルに到達した。後佛國の領地となり、英國は稍遅れてハドソン灣會社を起して大に競争し、遂に一七一三年、英は佛より新ファウランド・ノヴァスコ  
チヤ・ハドソン灣地方を得たが、國境劃定の事から兩國相戦ひ、一七六三年巴黎條約によつて加奈陀全部英領となる。其の後幾多の領土會社が設立され、一八六一年から七十一年に至りニューファウランド  
以外の諸州は聯合して自治植民地を形成したのである。

【都會】 オッタワ(Ottawa) 首府でオッタワ河の右岸に立ち、總督の駐在地である。又材木の  
大集散地で世界屈指の製材所がある。人口約十一萬。我が總領事館がある。

トロント(Toronto) オンタリオ湖畔主要の港で、湖上交通の中心地である。附近にはナイヤ  
ガラ瀑布の水力を利用する工場が多く商工業の中心をなし、乾酪や果實の取引が盛である。人口  
約五十二萬。加奈陀第二の大都會である。

モントリオール(Montreal) 加奈陀第一の都會で、オッタワ河とセントローレンス河との會  
點に位し、遠洋航路の大船溯行の極限地で水陸交通の便がよく、商工業は最も盛んである。人口  
約六十二萬。

ケベック(Quebec) 一六〇八年佛人の創建で加奈陀最古の都會である。今も佛人の子孫が多く  
佛語が行はれ、木材の集散が盛である。人口約十萬。堅固な要塞がある。

ハリファクス(Halifax) ノヴァスコチヤ半島にある不凍港で冬季は殊に重要な門戸となる。  
附近は石炭の産が豊富で又魚類を輸出する。又軍港で英國艦隊の根據地である。人口六萬。

セントジョン(St. John) 潮汐干満の差二十一米に達するファンデー灣(Bay of Fundy)に  
ぞみ、ハリファクスと共に東岸の不凍港で、冬季は共に商業が盛である。

ウイニペグ(Winnipeg) 中央平原の農牧業の中心地で農産物及び畜産物の大集散地である。  
又、交通の要地で加奈陀太平洋鐵道とグラントラント太平洋鐵道の二大横斷線が此の地で相交

つてゐる、人口約十八萬。

**バンクーバー**(Vancouver) 加奈陀太平洋鐵道の終點で西岸第一の良港、東洋及び濠洲との貿易が盛んで殊に我が國との最短航路に當り、速力のはやい船は横濱まで十日で達するが、我が定期船は十五六日を要する。晚香坡・横濱間は四千三百十哩で、こゝに我が領事館がある。附近のフレザー河は鮭の漁業に名高く我邦人も多く従事してゐる。邦人の在住するもの、六千六百餘人に上る。大阪商船の北米航路に寄港する。人口十二萬。

**ビクトリア**(Victoria) バンクーバー島の南端にあり。ブリタニッシュコロニア州の首府で我が郵船及商船會社の北米航路に寄港する。附近に石炭を産する。人口僅に四萬餘。  
**エスキモルト**(Esquimalt) ビクトリアより六軒はなる。良好な泊地で太平洋艦隊の根據地である。

**プリンスルパート**(Prince Rupert) グランドトランク太平洋鐵道の終點で西岸の良港。附近のスキーナ河は鮭の産が多し。

**ドーンソン市**(Dawson City) ユーコン河畔にある。金産地を以て名高いクロンダイク地方(Klondike)の中心市である。

【加奈陀と日本】 加奈陀と我が國との關係は英吉利の領土の内で印度と共に最も密接である。今其の主なる事情を述べれば

一、**加奈陀と我が移民** 加奈陀に於ける我が移民は主として西部のブリタニッシュコロニア州にありて其の數一萬二千餘(十二年六月末)加奈陀全國移住氏は一萬九千七百二十九人あり、其の職業は第一漁業に従事するもの多く、次ぎは工業で、商業は最も少いのである。此地でも北亞米利加合衆國と同じく、日本人排斥の聲喧しく従つて我が國人の移民は制限せらるゝに至つた。今や邦人の此の地に土地を所有するもの一萬二千英町に達するも、次第に壓迫を加へられ發達甚だ困難となつた。

我が移民と歐洲大戰 斯く壓迫を受けてゐるに拘はらず、邦人は常に正義と誠意とを以て此れに處し、曩に歐洲に大戰役起るや、進んで義勇兵となつて、出征せしもの三十餘名で常に西部戦線に奮戦苦闘して能く其大和魂を發揮して外國の賞讃を博した。此れより先き我が義勇兵が愈々戦線に出發せんとするに當りて、大正五年六月二十二日左の告別辭を述べて同胞に與へた。

敬愛なる加奈陀在留同胞諸君  
我等は今や遠く諸君と別れて征途に上らんとす。

我衣を拂ふて征歌を高唱する時、満身の血潮は湧き返りて東海男子の意氣正に天に冲せんとす。噫我等は今や征途にあり行程悠々幾千哩、波を蹴つて彼方に到らば歐洲の天地今や正に戦ひ酣なり。里子一度志を立つ庶幾くは身を鴻毛の輕きに置き、砲煙彈雨の間を馳驅して誓つて諸君の爲めに我等の使命を全うせむ。

敬愛なる同胞諸君

我等はア州第十三大隊に入隊せしより以來、我等が教練は優秀なりと認められ、市民軍友の好遇を受けて一般に決死隊と迄稱揚せらるゝに至りたるは全く加奈陀日本人會諸君の同情に基くものなる事を信じ、諸君の爲め加奈陀の爲め將又祖國友邦の爲めに誓つて我等の本分を盡さんとす、正義の爲めに捧げたる身命は固より惜しむ所にあらず、歐洲戰場の花と散り香ばしき大和櫻の一本たらんことは我等が願ひなり、さらば諸君、我等は將に征かんとす、諸君希くは健在なれ。

之れを一讀して誰れが肉躍り、血湧き、感憤興起、以て此の忠勇義烈なる同胞の爲め同情の涙を絞り其の赤心を讀嘆せざるものなからんやである。

二、貿易上の關係 横濱と晚香破との間に定期船の便があることは既に述べた通りで(四三〇)漕(漕)あつて、我が國から茶・羽二重・生糸・陶磁器等を運び、此の國から鉛・麥粉・魚類・木材等を輸

出し、貿易甚だ盛とは云へないが、我が國の重要な華客の一つである。

### ニューファウンドランド (Newfoundland)

政治上ラブラドル半島北岸の地方と共に、別に英吉利の自治植民地となつてゐる。セントローレンス灣口の一大島で、面積十萬八千方里(七千方里)我が北海道より廣いが、人口二十五萬で甚だ少い。全土高原性で西岸は特に著しく高起してゐる。島の東南にはニューファウンドランドバンク(Newfoundland Bank)と云ふ一大淺海があつて、鱈・鯨等の魚族が頗る多く、世界三大漁場の一と稱せられる。蓋し、寒暖兩海流の會合地點であるからラブラドル海流の齧らした氷山が融解し、其の土砂が堆積して出來た陸棚で浮游生物が多いから魚族が群集するのである。沿岸は濃霧が多く、快晴の日は少い。島民の多數は漁業を營み、鱈・鯨の外海豹が多く、其の皮と脂肪とを供給する。又バルブの産もあり、鐵鑛の埋藏も豊富であるといはれる。

セントジョンズ(St. Johns) 首府。不凍港で水産物の取引多く、肝油の製造が盛である。愛蘭へ海底電線が直通してゐる。人口三萬。

【佛領サンピエール(St. Pierre)及ミクロン(Miquelon)】 この兩島はニューファウンドランド島



の南方にある漁業の根據地で佛本國から來り漁するものが多い。佛蘭西最初の植民はこの地方の漁利に誘はれて來たものである。面積は兩島で約二百四十方軒(十五方里半)。人口七千。

### グリーンランド (Greenland)

世界第一の大島で面積二百十四萬方軒(十三萬九千方里)で我が本州の十倍に近く、丁抹國に屬してゐる。大部は氷雪に覆はれた高原で、平均海拔六百五十米、最高峯ペテルマン峯 (Petermann Peak) は二千五百米に達する。内陸を覆ふた氷河は、海中に流入して冰山となる。氣候は頗る寒冷でシベリヤと共に世界の寒極に數へられ、大部は全く利用することが出来ない。唯西南の海岸に少數のエスキモー族が居住して漁獵に従事し、其の文化も稍開けて、學校や寺院を有し、氷屋に住まないで普通の家屋に住んでゐるのがある。それでこの大島に住民は僅に一萬三千餘人に過ぎない。主邑ウベルニヴィク (Upernivik) は北緯七十二度四十八分に位し、人類定住の最北點と稱せらる。

- ◎【練習問題】 (一)何故に加奈陀は湖沼多きか(高等)。(二)加奈陀の産業及貿易狀況に就き述べよ(商船)。(三)セントローレンス河沿岸の著名なる都市を列舉せよ(海機)。(四)ニューファウンドランドに就て記

せ(水産)。(五)加奈陀の穀物は如何なる道を経て輸出されるか。(六)加奈陀と西比利亞を比較してその異同點を述べよ。(七)倫敦から加奈陀經由日本に來る郵便線路圖を描け。(八)次の地につき知れる所を記せ(イ)フレッザー河(水産・東商)。(ロ)セントローレンス河(海機・長商)。(ハ)ケマック(東師・小商・海機・陸士)。(ニ)オッター海兵・東師・專檢・郵電)。(ホ)ウイニメグ(長商・文檢)。(ヘ)トロント(專檢・文檢)。(ト)バンクーバー(海兵・高等・海機・外語・商船)。(チ)ハリファクス(海兵・文檢)。(リ)プリンズルバート(文檢)。(ヌ)クロングアイク(名商・文檢・小商)。(ル)ドーソンシチー(文檢)。(サ)モントリオール(商船・外務・專檢)。(ワ)サンビエル(文檢)。(カ)ニューファウンドランドバンク(文檢)。(ハ)加奈陀と我が國との關係を述べ、殊に世界大戦役中在留邦人が義勇兵として出征したる犠牲的精神日本男兒の意氣を述べよ。

◎【考究問題】 (一)ニューファウンドランド近海が豊漁場なる所以を考察せよ。(二)加奈陀の湖沼の成因を考察せよ。(三)英國がハドソン灣航路を開きし所以如何。(四)五大湖が人文上に與へる影響を述べよ。(五)加奈陀の南東部が最も開化せる理由を述べよ。(六)都會の多く南方に集り北部は無人の境を爲す所多きは如何。(七)大陸横斷鐵道の産業上軍事上の價值を考察せよ。

## 第四章 亞米利加合衆國 (The United State of America) (U. S. A)

【**境域**】 北米大陸の中部にある大國で、大西・太平洋の間に挟まり北は北緯四十九度及び五大湖によつて加奈陀に境し南には墨西哥及び墨西哥灣がある。北米の中樞たるばかりでなく東は大西洋を隔て、歐羅巴洲、西は太平洋を隔て、亞細亞を控へ、南は南米に覇たらんとするの好位置にある。面積七百七十萬方呎(約五十萬方里)で我が日本(六十八萬方呎)の十一・四倍ある。之にアラスカ(九八、四八〇方里)と布哇(一、〇七五方里)とを加へると約九百七十七萬七千方呎(五十九萬五千方里)に上り我が十四倍餘になる。東部と西部とは太陽出沒の時差が四時間に及んでゐる。

【**地勢**】 ●**山岳平野** 西部大高地、中央平原、東部小高地の三部に分つことが出来る。

1 ●西部大高地 ●コルデレラ山系 (Cordillera Mts.) の占むる所である。此の山系は東にロッキーマウンテン (Rocky) の高嶺が連りその内側に並走してワシントン山脈 (Wasatch) (大鹹湖の東を南北に走る) があり、西にはカスケード山脈 (Cascade) シエラネバダ山脈 (Sierra Nevada) 及び細長いカリフォルニア平原を挟んで海岸山脈 (Coast Range) があつて何れも略南北に走つてゐる。此の

東西南派の間には不毛の大高原があつて北部の熔岩臺地をコロンビヤ高臺 (Columbia) と云ひ、中部には大盆地 (Great Basin) と稱する不毛の砂原があつて其の中に大鹹湖 (Great Salt Lake) を湛へてゐる。その南部はコロラド高原 (Colorado) で、コロラド河の大峽谷は雄壯絶佳の風景を呈してゐる。是等の西部高地には山姿水態の勝地が多く、東側のエローストーン公園 (黄石公園) (Yellowstone Park) は、世界第一の公園で、西部のシエラネバダ山中のヨセミテ谷 (Yosemite Valley) は奇景絶勝を以て有名で、南部のコロラド大峽谷 (Grand Canon of Colorado) も亦有名な奇勝である。

【**火山脈**】 太平洋東岸火山帯はコルデレラ山系上を走り數多の火山が分布してゐる。合衆國內では略三帯に分れて、其の第一帯は海岸山脈上にある。第二帯はカスケード・シエラネバダ山脈上に噴出し、北部にあるライニエル山 (Rainier) (四四〇二米) は最も有名である。第三帯はロッキーマウンテン及附近の高原にあるもので、エローストーン公園も其の一部である。

●コロラド大峽谷 (Grand Canon of Colorado) ●コロラド河の水蝕によつて形成した深い峽谷で、懸崖の高さ二千米に達する所があり、長さ八千餘里(二十餘里)に及んで風景壯絶である。蓋し、コロラド高原は降雨稀で植物は殆んど生育しないが、ロッキーマウンテンは海岸から来る濕氣を凝縮せしめて雨雪となすこと

が多い爲め、コロラド河は水量多くして、無雨の高原を垂直方面に強烈に侵蝕して、この大峡谷を生成したのである。国立公園の一である。

① **イエローストーン公園** (Yellowstone Park) **ワイオミング州**の北西隅 あつて東西八十七軒(二十二里)、南北百軒(二十六里)、面積五百五十方里、我が四國の約二分の一の廣さある大規模の国立公園 (National Park) である。七十一の間歇泉と三千五百の温泉をはじめ幽邃なる湖沼や峡谷があり、珍らしい動植物があつて眞に世界の樂園である。間歇泉中オールドフェイスフル間歇泉 (Old Faithful) と稱するものは約一時間毎に直徑一・二米乃至二・四米の熱湯を約四十米の高さに噴騰し、その水量一時間十五萬ガロンで若し水道用となす事が出来るならば、人口十萬の一市を支ゆといはれる。この公園を遊覽するのに最も簡単に廻つても自動車で三日を要する。公園の名稱は黄石岩の多いエローストーン河を流る、故起つたものである。

② **ヨセミテ峡谷** (Yosemite Valley) **マーセド河** (Merced) の峡谷で氷河の削磨によつて出来たものである。長さ八哩、幅の廣い所は一哩に亘り花崗岩の懸崖峭立し、數多の飛瀑があつて風景絶佳、国立公園の一である。兩岸の峭立一千米乃至二千米で、有名な氷河角 (Glacier's Point) と稱する巨岩は直立千二百米の絶壁から突出してゐる二坪許りの岩である。ヨセミテ湖の頂點は海拔二千二百米の所にあり、その湖の高さは九日米に及ぶといふ。

2 **中央平原** ミシシッピ河本支流の灌漑する大平原で、北は加奈陀から南は墨西哥灣に及んでゐる。西部のロッキー山脈東麓から平野の北部ウィスコンシン・アイオワ二州附近に亘る**プレーリー** (Prairie) といふ大草原で牧畜が盛に行はれてゐる。プレーリーは國有地で自然の共同放牧場となつてゐて羊や牛を牧してゐる。この中央平原は合衆國の最も重要な生産地域で、全世界食料の三分の一、鐵産三分の一を出し、衣服材料の五分の四を出すといふ。

3 **東部小高地** **アパラチャ山脈** (Appalachian Mts.) の占むる高地で數條の並走した山地から成り其の東側では臺地をなして、急に海岸平野に下るため、殆んど列をなして瀑布を懸け所謂瀑布線 (Fall-line) を作つて水力利用に適し、數多の工業都市がこゝに發達し河口には良港を形成するものが多いことは前にも説明した通りである。最高峰**ミッタール** 峰は二〇四四米で、山脈の西方**テンネッシー州**の東部は**カンバーランド高原** (Cumberland) をなしてゐる。この山脈は礦物の埋藏が多く、交通其の他に妨害を與ふことが少い。

● **河流** **大西洋斜面** **アパラチャ山脈** から發源して、東流するもので、狭長な海岸平野を流るため短流が多く、臺地から平野に出る所に瀑布線を形成してゐる。水力の利用が盛大で、都會が多く、河口には良港をつくるものが少くない。著名なものは**ハドソン河** (Hudson)、**デラウ**

ア河(Delaware)、ポトマック河(Potomac)等で紐育や、フィラデルフィヤや、華盛頓を貫流してゐる。墨西哥灣斜面 ミシシッピ河(Mississippi) 世界第一の長流であるミシシッピ河には、ミズーリ河(Missouri)オハイオ河(Ohio)アーカンサス河(Arkansas)レッド河(Red)等の大支流があり本支流の流域約二十一萬方里(三二四萬方里)で我が日本の五倍の廣さである。(ミシシッピ河に就ては二二二頁参照)。又リオグランデ、デルノルテ河(Rio Grande der norte)は墨西哥國との境を流れ長さ二千三百里(五八四里)灌漑水運の便が大で、船舶の溯航するのは河口から百八十一里に及んでゐる。

太平洋斜面 コロラド河(Colorado)はロッキー山脈に發源し、礮礮不毛のコロラド高原を流過して、有名なコロラド大峽谷を形成し、カリフォルニヤ港に注いでゐる。全長二二三六里(五四四里)で下流九四三里(二四〇里)の間は小汽船が往來する。尙、北部にあるコロンビヤ河(Columbia)はロッキー山脈に發し延長二千二百里(五六〇里)を流れて、太平洋に注ぐ。鮭の漁獲の多いので名高く、航洋汽船はボーランド市(河口より二百里)に至ることが出来る。

●湖沼 北東部の加奈陀との國境に五大淡水湖があり、西部の高地には、大鹹湖(Great Salt Lake)をはじめ、數多の鹹湖がある。(五大湖に就ては二二三頁参照)

◎【大鹹湖】 ユター州の北部にあつて、斷層の爲めに出來た盆地に水を湛えたものである。鹽分が甚だ多くて、二十二%(死海は二十五%、普通の海水は三%位)に達し、現に、流入河川の水量よりも蒸發量が多いので鹽分が少しづつ増加してゐる。現水面より二百八十六米の高所に水準線の跡があり、又湖生動物の遺骸を見ることによつて、本湖が昔つてメリオル湖よりも遙に廣大であつたことがわかる。面積四一四四方里(二八七方里)で現在の水面高度は千二百八十八米である。

【海岸】 大西洋岸 大西洋岸の中部、ハッテラス岬(Hatteras)以北の海岸は地盤が徐々に沈降してチェサピーク灣(Chesapeake)デラウェア灣(Delaware)等數多の良港灣を作り都會が多いがハッテラス岬附近から墨西哥灣沿岸までの海岸は概ね沼澤性で砂洲多く、澤湖並列し良港が少く。墨西哥灣岸 墨西哥灣岸にはミシシッピ河の三角洲が突出し、灣口にはフロリダ半島(Florida)がある。

太平洋岸 太平洋岸は單調で、海岸山脈のために出入が乏しく、唯その斷絶した所にピューゼットサウンド灣(Puget Sound)及びサンフランシスコ灣(San Francisco)の良港灣がある。共に陥没によつて生成した灣入で、前者の灣口には島嶼が多い。

【氣候】 緯度は北緯二十五度から北緯四十九度に互り、而も大山脈や大平野があるため、氣候

は所によつて大差がある。

太平洋岸の北部は日本海流(暖流)に洗はれて、気温高く、雨量が多いけれども南部はカリフォルニア海流(寒流)の影響で、気温を低め、四月から九月までは乾季で降雨少く乾燥するが、其の他の季節は雨多く、略々地中海岸の氣候に似てゐる。要するに太平洋岸は本國中最良の氣候で、気温の變化が少く、常に温暖であるのは、海流と西南風多き結果である。

大西洋岸の北部はラブラドル海流(寒流)の影響で割合に寒く且つ少雨であり、而も夏は頗る高温であるため紐育などでは日射病の爲に斃るゝものが少なくないと稱せられるが、南部から墨西哥灣岸に互る地方は墨西哥灣流(暖流)の影響で高温多雨、亞熱帯性である。

内地地方は大陸性で寒暑の差が甚だしく、殊に北部は冬寒強く、南部は炎熱で墨西哥灣岸の如きは濕熱のため人の健康を害することがある。蓋し冬の北風、夏の南風を遮る山脈がないからである。又西部の山間には乏雨のため沙漠をなす所もあり、ロッキー山脈の東麓から北部平原にわたつてはプレイリー(Prairie)の草原をなしてゐる。

【産業】 國土廣大、氣候良好、土地肥沃、天然の富源豊富なる上に國民も亦非常に勤勉で、而も勞力の不足は機械力で補つてゐるので、規模頗る大で、世界第一を以て誇りとしてゐる。大戦



主要農産物分布圖

後は全く世界の最大富力國となり、實に世界無比の大實業國となつたのである。

●農業 本國第一の富源で、大農法を採用し、農場の組織、耕耘、收穫の方法がすべて大仕掛である。

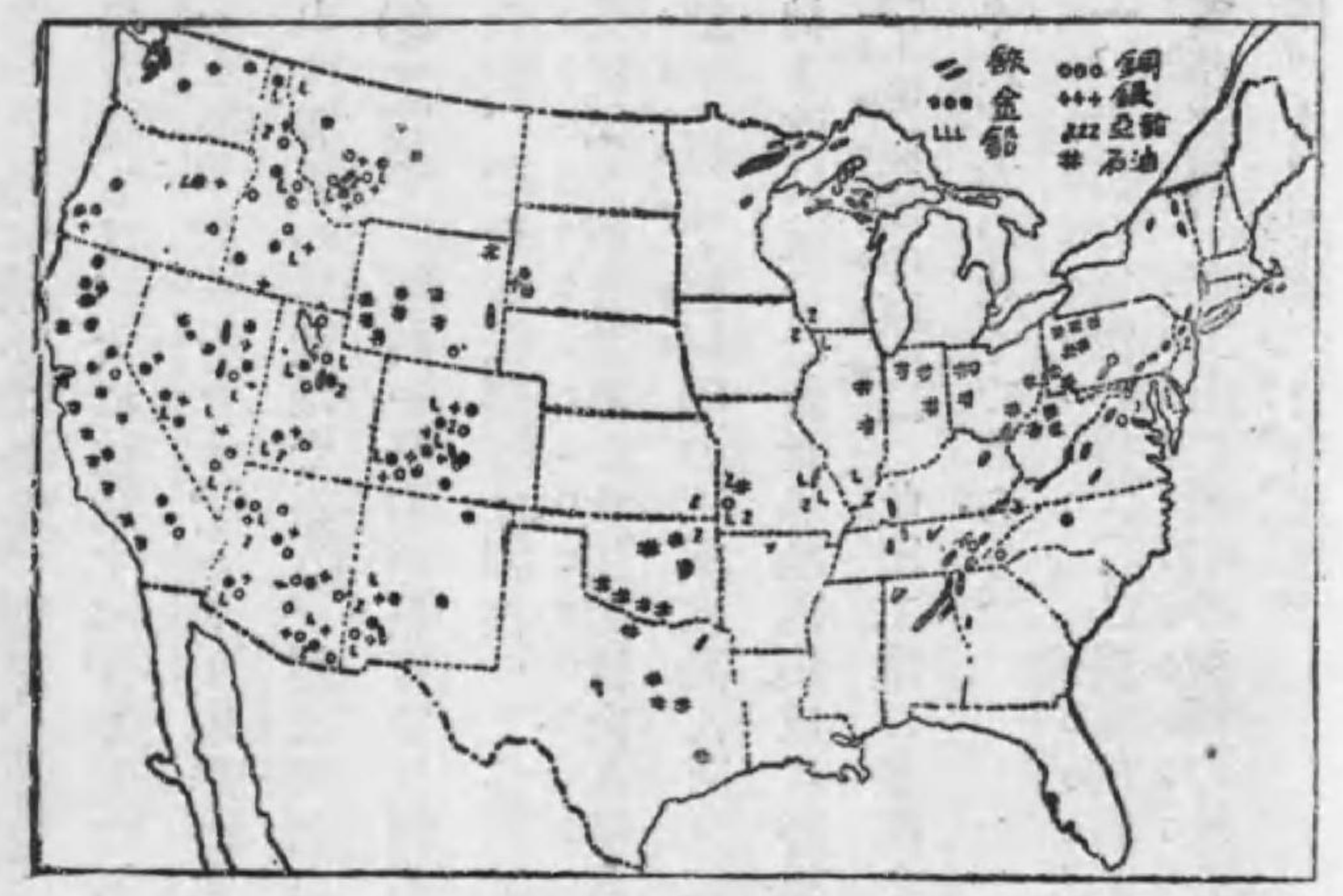
(二四三頁参照) 北部には小麦・大麥・燕麥が多く、中部には玉蜀黍、南部には棉花・甘蔗・米が多い。又東部から煙草、西部ではカリフォルニア州を第一として果實(葡萄・林檎・柑橘・苺等)を産し、馬鈴薯は各地に産する。殊に小麦・玉蜀黍・綿・煙草・馬鈴薯は世界第一の産額である。小麦はロシアと共に世界的供給地であつたが、近來ロシアは産業が振はず、小麦の輸出が大減少を來したため、この國のみが小麦の最も主要な輸出國となつて、麥粉が、歐羅巴に輸出される額は頗る多い。玉蜀黍は主として家畜の飼料

とするが又酒精の原料となり食用にも供せられ、其の油は石鹼の製造に用ひられる。綿は世界産額の約六割を産し、自國の工業原料とする外、英國其他に輸出せられる。因に我國の紡績工業の原料は其の六割を印度から、三割を米國から、一割を支那から輸入してゐる。

●**牧畜** ロッキーマン脈東麓のブレイリーは最も盛大で豚は世界第一位、牛馬は世界第二位(牛は印度に、馬はロシアに次ぐ)羊は濠洲・アルゼンチンに次ぎ世界第三位である。それで肉類の産は甚だ多くシカゴ(Chicago)の屠獸場では日に十餘萬頭を屠殺する程で、豚肉は世界産額の六割、牛肉は約四割を占め冷蔵肉として歐羅巴等に盛んに輸出されてゐる。又、大湖地方には酪業が盛んで牛酪・煉乳等の産も著しい。

●**林業** 東北部及び西部に盛んで木材の輸出が多く、殊にカリフォルニア地方は巨材の産が名高い。米國全面積の約四分の一は森林地で、實に本國重要な産業である。近時日本建築にも米國産の木材が珍重されて我が國へ輸出する木材も多くなつた。主にアメリカ松(一名オレゴン松)である。

●**水産業** 大西洋岸が最も盛大で、その北部には鱈、鯊、中部のチエサビーク灣等には牡蠣、南部には鱒、鱈、海綿が多い。太平洋岸北部は鮭の産が多く、就中コロンビア河は著名である。尙



主要産物分布圖

墨西哥灣岸にも牡蠣の産があり、河湖の水産も亦豊かである。西部の漁業はもと伊太利人が經營したものであるが、近時は主として我が國人の手によつて行はれてゐる。

●**鑛業** 世界第一の鑛業國で、鐵・石炭・石油・銅・鉛・滿俺・硫黄の産額は何れも世界第一で、金・銀の産も世界第二位である。殊に銅鐵はスベリオル湖附近に多く、石炭は中部平原及アパラチヤ山脈に産し、石油は中部のカンサス、オクラホマの二州及西部のカリフォルニア州と東部ペンシルバニア州附近に多く産する。始め東部に産するだけであつたから、亞細亞のコーカシヤと伯仲の産額を示してゐたが、二十世紀に至り前記の中部、西部の産出が加はつた爲め世界産額の六割を占め、墨西哥(第二)や露西亞(第

(三) 遙に遠いのである。船艦、自動車、飛行機等の原動力として石油が缺く可らざる時にこの大産出を見るは、大に注意すべきことである。金はコロラド、カリフォルニア地方が主産地で、銀はコロラド、モンタナ、ユター地方が主産地である。西部諸州には又水銀、鉛、亜鉛の産が多く、何れも世界の主産地である。銅は西部山地にも其の産額が頗る多い。

**六 工業** 原料や資本が豊富で且鐵石炭の産が多く世界無比の水力を利用し、教育の進歩、運輸の便、政府の保護等は相俟つて各種工業の繁盛を來し、その規模がまた頗る壯大で、今や歐洲の先進國を凌ぎ世界の大工業國たる英國と覇を争つてゐる。特に、製鐵、機械製造、造船、紡績、織物、製粉、罐詰、製紙等の工業は殆んど之に比肩する國がない程に發達した。(工業發達の原因に就ては拙著改造後の最新世界地理集成に詳記)

**【工業發達の原因】** 此國工業の發達の原因については種々あるであらうが、其の重なるものを擧ぐれば左の如くであらう。

- 一、天然の富源の偉大(イ)農業的富源、(ロ)鑛業的富源。
- 二、交通の至便。
- 三、各聯邦内の自由貿易。
- 四、産業上の發明の機械の改善。
- 五、資本の豊富。
- 六、練達せる企業及經營。
- 七、社會組織。
- 八、産業の自由思想。

前記の理由の内、別に説明しなくても明白なものが多いが、多少説明の必要あるものについて述べよう。

(三)各聯邦内の自由貿易とは米國の領土は廣大で經濟上全く自給自足の地位にあつて、そうして此の領土内で絶対に貿易に自由を受けつゝある。(七)米國の社會は國民平等で、門閥階級なき結果、人をして活動的奮闘的たらしむ。金力は即ち權力で一躍直に他國の王公貴人となるが如くである。(八)歐洲に於ては産業上の自由を抑壓し、其發展を阻害するが如き傾向なきにあらず、此國では新機械新事業を計畫するに最も自由で進歩的である。

**七 商業** 産業の發達と共に商業も極めて盛大で國內では紐育及市俄古が大中心である。外國貿易は保護貿易制度と國內取引が盛んなため英國に次ぎ世界第二の額を示してゐるが、輸出超過の大なることは世界第一である。一九二三年輸出四十三億一千一百萬弗、輸入三十五億五千七百萬弗、出超額七億五千四百萬弗で、取引の盛な國は英吉利(十二億六千萬弗)を第一とし、加奈陀(十億七千萬弗)、日本(五億八千五百萬弗)、政馬(五億四千萬弗)、獨逸(四億三千萬弗)、佛國(四億二千萬弗)が之に次いでゐる。主要輸出品は農産物が第一で綿(六億六千萬弗)・小麥・麥粉等があり、鑛産物が之に次ぎ、石油・鐵類・石炭・銅等がある。又工業製品の機械・車輛・綿製品等も、これに次ぐもので、畜産物には肉類等がある。主要輸入品には原料品「粗製品に生絲(四億一千萬弗、

輸入第一)・革類・ゴム等があり、食料品に砂糖(三億七千萬弗、第二位)・珈琲等がある。我が國との貿易も甚だ盛で、我が貿易の三分の一はこの國との間に行はれ、我が國第一の取引國である。日米貿易額は約十三億圓内外で(大正十一年十三億三千萬圓、大正十二年度十一億二千萬圓)。綿・鐵類・金屬製品・木材・機械等を米國から日本へ輸出し、生絲・絹織物・眞田類・茶等を日本から輸入する。而も米國から日本へ輸出する額よりも、日本から輸入する額が非常に超過するので、我が大切な得意先である。

【交通】●鐵道 その延長は四十二萬七千杆(二十六萬五千哩)に達し、世界全線の三割七分を占め、地球の周りを優に十周することが出来る。而も人口及び産業の中心が西經百度線以東であるから、鐵道網の發達もその方面に著しく、西半は山地が多く人口稀薄な爲め粗である。大陸横斷鐵道と稱する左記六線は何れも大湖、ミシシッピ河、又は墨西哥灣岸と太平洋岸とを連絡するものである。

1【大北鐵道】(Great Northern Railway) 名稱の如く國の最北部を東西に走りシヤトルシセントポール間。

2【北太平洋鐵道】(Northern Pacific Railway) 大北鐵道の南に略々並行してタコマセントポール間。以上二鐵道の沿線は最もよく開け穀物・羊毛及鐵物の産地として重要である。

3【ユニオン太平洋鐵道】(Union Pacific Railway) 桑港ハオンハ市俄古間。横斷鐵道中最初に竣工したもので一八六九年(明治二年)に完成し、幅廣キコルナレラの山地や沙漠の地を通過してゐる。太平洋岸

の開発、沿線の牧場や鑛山の發展を促した。

4【サンタフェ鐵道】(Santa Fe Railway) ローサンゼルスセントルイス間。

5【中央太平洋鐵道】(Central Pacific Railway) 桑港ハ大鹽湖市ハカンサスチーセントルイス間。

6【南太平洋鐵道】(Southern Pacific Railway) 桑港ハエルパソハニューオリリンズ間。この線は短距離であるが、沿線の大部分は沙漠で僅に所々に銅山があるに過ぎない。

以上の横斷線は中部から大西洋岸に至る鐵道と連絡し、太平洋岸から大西洋岸まで五千三百杆乃至六千杆あつて四日間乃至六日で横斷する。又加奈陀とは二十餘の鐵道があつて連絡し、墨西哥に通ずるのも七線ある。速力も亦頗るはやく、日本の最急列車は一時間約三十哩に過ぎないが、英國は五十哩、米國は六十哩を走るといふ。

自動車 鐵道の外陸路では自動車の利用が頗る盛大で其の數乗用一千三百五十萬臺(一九二四年一月)貨物用百八十萬臺、計千五百三十萬臺を超え、日常必須の交通機關となつてゐる。米國の人口一億五百餘萬に割當てると人口十人餘に對し一臺の割合である。



飛行機 又近時飛行機の發達も著しく、殊に北東部大都會の間には定期に往來し、旅客運搬を目的としてゐるのがある。

◎【自動車數】 今左に重なる國の自動車數を示さう。

	乗用	貨物	計
英國	四六九(千臺)	一七三(千臺)	六四一(千臺)
加奈陀	四五〇	八九	五三九
佛國	三五二	九二	四四四
獨國	一〇〇	五一	一五一

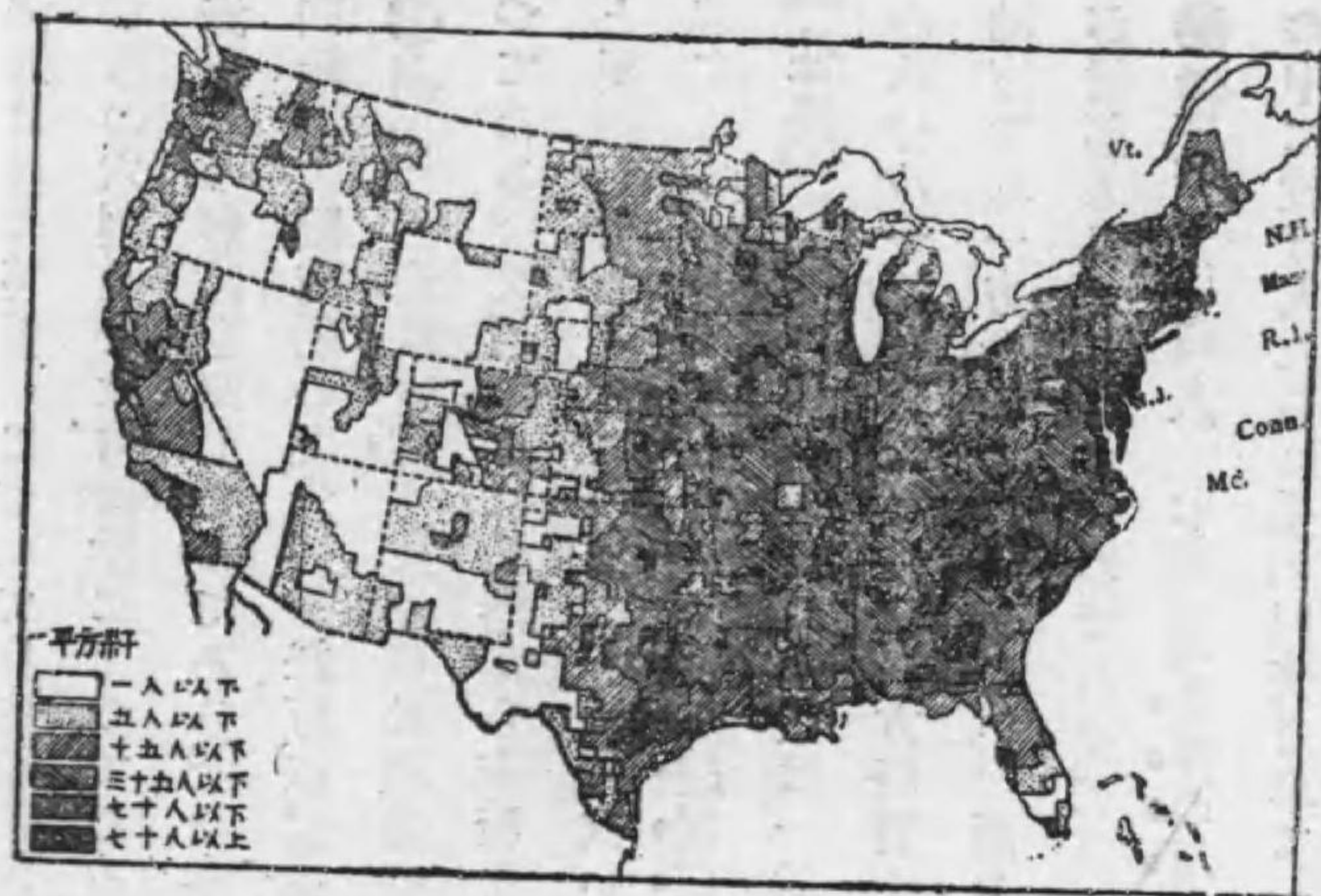
●水路 河湖の水運も頗る便利で、ミシシッピ河の航水路は二萬四千餘軒(一萬三千餘運)に達し、眞に内地開發の大動脈をなしてゐる。それだけでも我が鐵道延長に勝つて居るが尙其の他五大湖及運河等も汽船の往來が非常に頻繁である。運河の著名なもので、スベリオル湖とヒューロン湖とを連絡するソーサンマリ運河は、船舶の通過世界第一と稱せられ(二四五頁参照)、エリー運河は全長約百五十里で、エリー湖畔のベッフロからハドソン河畔のアルバニーに至つてゐる。其の他運河や河川の水運も頗る發達してゐる。商船の噸數は英國に次ぎ世界第二位で從來

海運は概ね英獨船に委ねて自國船は河湖及沿岸航路に従事してゐたが、大戰後大に活躍し、自國貿易の六割までは自國船によつてゐる。殊にパナマ運河の開通は太平、大西兩洋を連絡して本國海運界の發達を來したのである。日本船舶も西岸地方では相當有力の地位を占め、日本郵船の米國線、大阪商船の北米線、紐育線、東洋汽船の桑港線等定期航路を有してゐる。(二四五頁参照)

●通信 海底電線も東岸には數條の歐洲線と一條の南米線があり、コッド岬(Cod)及紐育に集つてゐる。又西岸には桑港から布哇を経て亞細亞に達するものがあつて、その支線は我が小笠原と接続してゐる。この國は英國に次いで多くの線を所有し、略々自國船のみで世界の各大陸と通信することが出来るといふ。無線電信も能く整備して我國とも直接通信を交換してゐる。

【住民】 ●人口 人民の總數は一億五百七十萬人で一方軒の密度十四人にあたり、我が國密度の八分の一である。(日本は一方軒百十四人)最大密度の北東部で一方軒七十五人、西半の稀薄な地方では一方軒二人に過ぎない。而も商工業の發達と共に都市集中の傾向があつて現に都市人口が村落人口よりも多いのである。

●種族 (1)白人 米國は「世界の坩堝」と稱せらるゝ程で、世界のあらゆる人種はこの一大坩堝の中に投げ入れられ融和混交されて一の新しい人種、米國人が造られてゐるのである。其の中



人口分布圖

堅をなし、最も多数を占めるのは英人及び其の子孫であるから、英語は其の國語となつてゐる。其の他獨逸人系も一千万人に達し、伊・佛等の移民も頗る多い。猶太人も約三百萬居住してゐる。

(2) 黑人 東南部の諸州には嘗つて奴隷であつたネグロ族の子孫が約一千万人ある。一八六五年南北戦争の結果、奴隷の開放となり、今では白人同等な權利が與へられた堂々たる米國の市民である。然し白人特有の人種的憎惡心から差別的待遇を受け、南部の諸州では旅館・劇場・飲食店・學校・電車等皆その席を區別されてゐる。政治上でも、財産や教育等で彼等の權行使を制限してゐる。けれども黒人の全部が無學でなく、貧窮者でない以上選舉資格を持つてゐるから政争の時には平素は侮蔑と迫害の的である

黒人も大に虐待される。

(3) アメリカインヂアン族 (American Indians) 原住民であるが人口三十萬に過ぎない。而も減少の傾向があるから特別の地區を限つて保護してゐる。その保護地域では白人の居住を禁じ政府から生活必需品の一部又は全部を供給し、政府の任命にかかる管理者、教師、醫師がある。多くはミシシッピ河以西に住み牧畜・狩獵を業としてゐる。保護地域を合算すると二萬方里以上に及びオクラホマ州にあるのが最大である。

(4) 東洋移民 西部諸州に多い。日本人の在住するものは十三萬一千餘(大正十二年六月末現在)で布哇を合すると二十五萬人に達するが一九二四年七月一日(大正十三年)以來排日法が實施されて労働者の入國は全く禁止さるゝやうになつた。支那人も一八八二年支那人排斥法制定以來移民の入國は絶對に不可能である。一九二〇年の國勢調査によれば六萬一千餘人である。

●米國人の特性 我が國に所謂「大和魂」あるが如く、米國には「米國魂」なるものがある。今左の重なる特性を挙げれば左の如し。

(1) 自由平等を國是とし、爵位、階級、勳等の別がない。

(2) 金○權○、實○益○を○尊○び○富○の○増○加○に○勉○む○る○か○ら○富○豪○か○多○い○。

(3) 快○活○で○獨○立○進○取○の○氣○象○に○富○み○殖○産○興○業○に○熱○中○す○る○。

(4) 自○尊○心○高○く○女○權○が○甚○だ○強○い○。

(5) 勤○勞○主○義○、努○力○主○義○で○あ○る○。

(6) 氣○力○絶○倫○旺○盛○で○あ○る○。(拙著世界地理集成下卷米人の氣質参照)

#### ④ 移民問題

十九世紀の半から海上交通が容易になり歐洲には戦亂、饑饉相次ぐに反し米國では廣い土地と政治、信教の自由とが得られたので移民が頗る多く一八二〇年以降百年間の白人移民が三千四百萬人に及んだ。試みにこの國の人口増加を見ると、一七九〇年全人口四百萬人、一八〇〇年五百三十萬人、一八五〇年二千三百二十萬人、一九〇〇年七千六百萬人、一九一八年(大正七年)一億五百万人といふ膨脹で、大なる移民がなくては斯様な増加を示すものではない。始めの移民は英・獨・愛蘭・瑞典の人が多くて容易に米國化した。近年はスラヴ族ラテン族が多く而も本國の言語習慣を捨てない上に生活程度が低いので米國でも移民制限の實現となつたのである。その理由とする所は米國內に同化しない移民を多くする危険があること、歐洲の窮乏と苛税のため夥しい移民が米國に殺倒すること、米國の勞銀及び生活程度を引上げ且失業者を増加させ

ることである。即ち一九二四年(大正十三年)の制限法に依ると一八九〇年(明治二十三年)に在留した諸外國人の人口に對する百分の二とされたので一ヶ年約十五萬人に制限したわけである。それを日本に適用すると一ヶ年二百八十人の入國が可能であるが所謂排日條項によつて日本人の移民は全く入國禁止となつたのである。その排日原因は、(1)米國人の種族的偏見、(2)白人労働者の職業的嫉視、(3)日本人の不同化、(4)人口増加の多大、(米人の算定によれば加州では十五年後に現在の倍となり七十五年後には全加州の白人に匹敵する日本人になるといふ)、(5)一部政治家の煽動、(選舉權を有しない日本人や支那人を政争の具に利用するのがある)、(6)日本人の生活程度低く白人の生活を脅かす等である。在留邦人は多く太平洋岸の三州に居住し、農業・園藝・漁業又は小商店を經營してゐる。殊にカリフォルニア州に最も多い。

⑤ 教育 　よく普及し、殊に高等教育が頗る盛で大學の數が多いこと、女子教育が盛大なこと、公立よりも私立に優秀な學校の多いことは注意すべき點である。私立の學校によい教師が居るからでもあるが又、公立學校はすべて無月謝であるので中學校以上になると學生自身も父兄も高い月謝を取られる私立の學校に入れたるのである。現在約六百の大學(日本には二十數校)があつて其の中約三百五十校は男女混合教育、約百五十校は男子専門、約百校は女子に限つて教育を施

してゐる。ポストン附近のハーヴァード大學、ニューヨークのコーンピア大學、ニューヘーブンのエール大學、ボルチモアのジョンズホプキンス大學は此の國第一流の大學で皆私立である。女子教育の盛なことは此の國の中等教育以下の諸學校で女教師が男教師の數より多いのでも窺はれる。

●宗教 信教の自由を認めてゐるが英・獨人の子孫が多い關係上新教の諸派が最も盛大で羅馬カトリック教が之に次ぎ、猶太教、ギリシヤ教、佛教等も行はれてゐる。

【政治】 政體は聯邦共和政體で四十八州(States)一區(District)一地方(Territory)とから成り、一區と稱するものは華盛頓所在地のコーンピア區で面積約百五十萬方呎(約十方里)あつて他の州に屬しない所である。二地方とはアラスカ及び布哇のことである。行政權は四年毎に改選(十一月第一日曜日に次ぐ火曜日に舉行)される大統領が之を統べ副大統領が補佐し、尙十省に分れてゐる。立法權は州を代表する上院(各州二名任期六年)と人民を代表する下院(四三五人任期二年)とに屬し、司法權は高等法院以下の裁判所にある。地方の四十八州は各々主權を有する獨立國の觀があつて、憲法があり、上下兩院の州會があり、司法機關があり行政を統ぶるのに知事がある。各州とも州會は一年置きに開かれ人民の日常生活に關する法律は多く州議會で決定せられ、

聯邦議會は租税の賦課、貨幣の鑄造、條約の締結、軍備等に關する法律を議決する。それで州によつて法律も違ひ、而も年々法律が増加するので自由を尊ぶ米國人も困つてゐる。布哇、アラスカの二地方には大統領の任命した總督が治めてゐる。

【軍備】 陸軍 常備兵は少いが戦時に多數の義勇兵を擧げ得ることは今回の大戦役に百五十萬の兵を送つたのでもよく證明される。一九二〇年議會の制定した法律では陸軍は正規軍、護國軍、編成豫備軍に分たれ一九二三年の議會で協賛された正規軍は將校一萬二千人、徵募兵十三萬二千餘人である。編成豫備軍は將校國及び兵國から成り其の數六萬七千人、護國軍は若干の州に平時編成し、又は戦時事變の際大統領が召集するので義勇制度による。

海軍 優勢な艦隊を有し、世界の第二位にある。即ち汎米主義を唱へて、西半球に雄飛し、進んで東洋方面に鷹手を延ばさうとしてゐる。一九二一年十一月(大正十年)華盛頓會議の結果、日・英・米の主力艦の比率は三・五・五となり、我が陸奥存置のため英・米兩國各二隻の建造を認められた。乃ち將來の標準比率は英・米五十二萬五千噸に對し、日本三十一萬五千噸となつた。然し軍備制限の主唱者であつた米國は補助艦、航空機、海軍根據地などの大々の擴張を計畫實行して居ることは一九二三年末海軍卿が議會に協賛を求めたのでも明らかである。(詳細は拙著改造後の最

【領地】 從來モンロー主義を採つて海外に領地を求めなかつたが、一八六七年アラスカを露西  
亞から買収し、一八九八年(明治三十一年)布哇議會の決議に基いて布哇を併合し、又同年西班牙  
に戦捷の結果、フィリピン、グвам、ポルトリコを併せ、一八九九年米獨の條約でサモア諸島の  
東半を得、一九〇四年パナマ運河地帯を永久租借し、一九一七年には丁抹から西印度諸島中のバ  
ージン群島の三島を購入して領土が大に擴張した。但し、布哇とアラスカは行政上各々本國の一  
地方となつてゐる。

【沿革】 本國の東海岸は一六〇七年以來英國の植民地であつたが一七七五年十三州の人民は母  
國の虐政を憤慨して、一七七六年七月四日獨立を宣言し爾來本國と戰ふこと八ヶ年、一七八三年  
ベルサイユの和議成立し、英國は米國の獨立を認め、列國も亦之を承認したのである。其の後ル  
イジアナ州を佛國から、フロリダ州を西班牙から買収し、テキサス州の併合から、墨西哥と戦ひ  
カリフォルニア州ニューメキシコ州を獲得し、次第に膨脹して現在の四十八州となつたのである。  
もとモンロー主義(Monroe Doctrine)を國是として他の大陸の事には關係しなかつたが近年國力  
の發展に伴ひパナマ運河を開鑿し、大に海軍を擴張し、汎米主義(Pan-Americanism)を唱へて西

半球の霸權を握り、近事東洋にも手を延ばさうとしてゐる。(拙著改造後の最新世界地理集成下卷  
七八七頁参照)

【モンロー主義】(Monroe Doctrine) 米國第五代の大統領ジェームス・モンロー(一八二五—二  
九)の公にしたもので其の主義とする所は南北亞米利加大陸には歐洲列國の干渉を許さず、又新  
大陸各國は歐洲の紛争に干渉しないといふことである。

【合衆國發達の原因】 此國が近時政治上、經濟上に於て隆々として發達することは、世界各  
國が驚歎する所で、今や此の國の一舉一動は實に世界の政治界、經濟界に影響を與ふるに至つた。  
斯く國勢の勃興せしことは到底簡單な事情ではないが、今自然地理人文地理上から其の要因と思  
惟せらるるものを左に列擧して研究の資料に供しやう。

自然地理

- 一、位置の良好。(1)緯度上から。(2)周圍に對し。
- 二、海岸線の良好。
- 三、地勢の良好。(1)大平野あり。(2)大河流あり。(3)大湖水あり(4)大高原あり。(5)大森林あり。(6)  
大山脈あり。

- 四、土地の廣大肥沃。
- 五、氣候の良好。
- 六、天産物の豊富。(各種の農産、鑛産、は世界第一である)

人文地理

- 一、民情の優良。(努力主義、勤勞主義、企業心に富む)
- 二、體力の旺盛。(國民の體力は事業能率に關係す)
- 三、教育の隆盛。
- 四、機械力の應用。(石炭及水力電氣を利用して)
- 五、交通機關の完備。
- 六、社會の組織。(自由平等で金力は權力である)
- 七、國家の政策。(積極的進取的に國富の増進國力の發達を計る)
- 八、木の豊富。
- 九、隆盛。
- 一〇、移民の増加。

【都邑】 (1) 東部地方 英吉利の清教徒が最初に開いた地方で獨立十三州の大部である。歐洲の對岸に位するので商工業が發達して、大都市が甚だ多い。



第四章 亞米利加合衆國

紐育(New York) ハドソン河(Hudson)の口に位し、ロング島(Long I.)に跨り、附近のブルクリン市(Brooklyn)等を併せて大紐育と稱し、人口五百六十二萬に及び世界第二の大都會である。然し倫敦が接續都市を加へないときは紐育より遙に少い。市の廣さも世界第一と言はるゝ程であるが地價も亦甚だ高價であるから摩天閣(Sky Scrapers)が相列り商工業の大中心をなし世界金融の大中心と稱せられる。港灣の設備も亦よく完備

して、河岸には無数の棧橋が相並び商船の出入が頗る繁く、一九二三年の輸出入の總數六十四億一千萬圓(輸出三十五億五千萬圓)に上り世界諸港の第一に位し、穀物・綿・石油等を輸出し、砂糖・生絲護謨等を輸入する。港頭には自由の巨像が屹立してゐる。高架鐵道や地下鐵道も縱横に走つてゐる。我が總領事館をおく。(拙著改造後の最新世界地理集成下巻紐育参照)

◎【紐育發達の原因】本市が前記の如く隆盛となつた重なる原因は左の如くである。

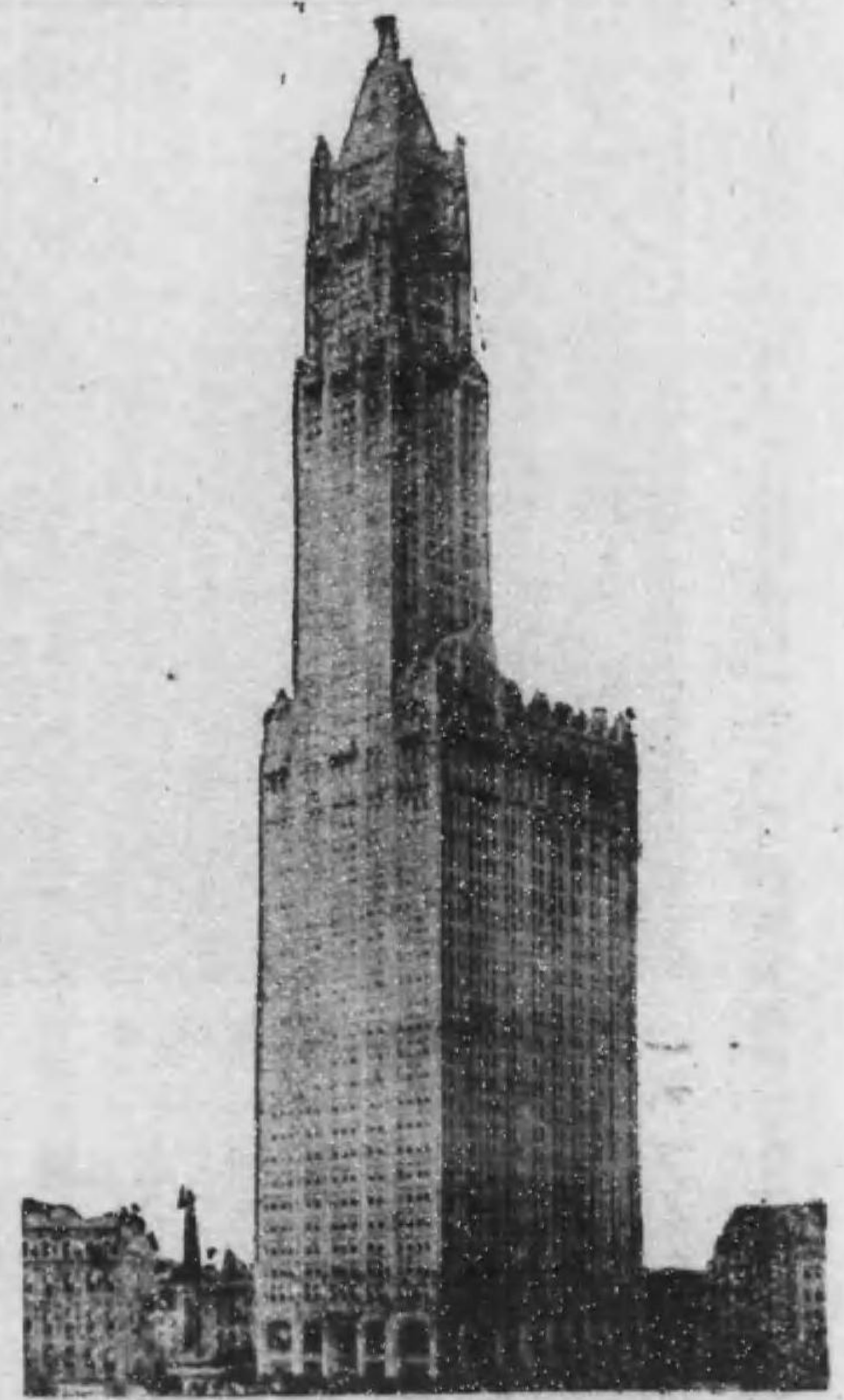
- 一、港灣の良好。二、位置の良好。(1)東に歐洲大陸。(2)南に南亞米利加を控ゆ。(3)東南に亞弗利加。
- 三、西に生産豐富の大平野あり。四、大鑛産地を近く控ゆ。五、周圍に大工業地を控ゆ。六、大交通の中心。(1)鐵路。(2)海路。(3)河路。(4)運河。七、大商業の中心。八、港灣の設備の完全。九、工業の中心。一〇、資本の豊富。

◎【摩天閣】一六二六年に一和蘭人は五十圓程の雜貨を土人に與へてマンハッタン島(紐育の最主要地)を得たと傳へるが今の紐育の地價は一坪三十萬圓に達する所がある。斯く地價が高いのと地盤(花崗岩)が堅硬なため摩天樓が發達しウォール街附近は悉く二十階以上の高樓である。世界第一の高樓と稱せられるウォールウォースビルディング(Woolworth Building)は四十一階(一英町は四段二十四歩)の面積の上に二百二十九米(七五〇呎)の高さに聳え地下の三層を加へると五十八階でエレヴェーターの延長が二哩に及ぶといふ。工費總額八百萬弗である。第二の高樓メトロポリタンビルディングは高さ二〇四米(六七〇呎)で

地下三層を加へて五十一階である。第三のシンガールビルディングは四十一階である。

◎【自由の巨像】港頭一哩餘のバドロー島(Bedloes

Is.)にあつて、高さ四十七米の花崗石臺上に立ち右手に炬火を捧げ左手に備忘録を把持し、頭に光冠を戴いた銅像で右手の



ワールウォースビルディング

炬火の頂點まで四十六米、食指の長さ二米に及んでゐるが、各部が調和整齊して美術の神髓を發揮してゐる。此の像は米國獨立宣言百年記念として佛國から寄贈したものでオーギュスト・バルソルサの設計にかかり一八八六年竣成し銅と鐵とを二百二十五噸用ひてゐる。

第四章 亞米利加合衆國

バタースン(Paterson) 此の國第一の絹織物業盛大な所で我が國から送る生絲の大部分はこゝで消費される。紐育の西北に位し人口十四萬。



場工計時ムサルョウ

一七ボストン(Boston) 東岸第二の大貿易港で穀物、家畜、皮革の輸出が多い。附近のケンブリッジ(Cambridge)には一六三六年創立のハーヴァード大學があり、又蔵書百萬冊を有するボストン圖書館があつて學藝の中心をなしてゐる。人口七十五萬、有名なウォルサム時計會社はこの地にある。

ポーツマス(Portsmouth) 軍港であつて日露講和條約の締結地として名高い。

一五、フィラデルフィヤ(Philadelphia)(費府)

石油の取引の盛なことは世界第一で、又造船・鐵器製作等の工業が盛大である。機關車の製作な

る。名な獨立閣や自由の鐘なまがある。デラウェア河(Delaware)三角江の右岸に位した良港で大船巨船も出入し、石油・石炭・鐵・農産物等を輸出する、人口百八十二萬でこの國第三の大都である。

◎【獨立閣】(Independence-hall) 大陸議會をこゝで開き、獨立を宣言し、第一次大統領ワシントンの就任式を擧げた所でワシントンはじめ關係者の肖像を掲げてある。階段下の一室には自由の鐘が保存されてゐる。

◎【自由の鐘】(Liberty Bell) 一七七六年七月八日(月曜)の正午獨立閣の樓上高く吊されて亂打されたもので其の後半世紀の間米國の祝祭日に清き音を響かせてゐたが、一八三五年龜裂が出来て破鐘となり、暫らく公裏の際に弔音を發するに止めて居たが一八七三年以來今の一室に秘藏されることになった。此の鐘は元來ペンシルヴァニア州處に設置するため英本國に注文したもので重量二千封度、價格二百磅であつた。

ボルチモア(Baltimore) 農産物殊に、棉花煙草の大輸出港で、ジョン・ホプキンス大學がある。人口七十三萬。

ワシントン(華盛頓)(Washington) ポトマック河(Potomac)の左岸に位し、聯邦政府の所在地で白聖館(White House)國會議事堂、圖書館等の大建築があつて清麗な都である。人口四十四萬、各國の大公使館がある。近郊十五哩のバーノン山にはワシントンの舊居と墳墓とがある。



①【白聖館】二階建の石造で高さ百七十米、歴代大統領の官邸である。一九〇二年に増築及び變更を行ひ芝生を隔て、大統領の行政館と相通じてゐる。

②【國會議事堂】(Capitol) 高さ二十七米の丘上にあつて最初の礎石は一七九三年國父ワシントンに依つて据えられ一八一一年に全部竣成し、中央大圓蓋は地上から九十四米の高さあつて其の頂上に自由の神を安置してゐる。前面に並んでゐる大理石柱は高さ九米の一本石でヴァージニア州の産であるといふ。右は上院、左は下院で正面石階上の大玄関は大統領就任式場に用ひられ建物の長さ二百二十九米に及んでゐる。

③【國會圖書館】(Library of Congress) 議事堂に隣接した三階建の世界無比の大圖書館で建坪約三エーカー半を占め、建築費六百十八萬弗、書籍二百萬卷の外十萬の古記録と七萬の地圖、十五萬部の版畫を所有し、書架の延長四十四哩で僅に四百五十萬圓の書を蔵架することが出来るといふ。(世界通に據る)

④ **リチモンド** (Richmond) バージニア州の東部にあつて煙草製造で名高い。バージニア煙草といふ。

・ **ノーフォーク** (Norfolk) バージニア州の門戸で我が汽船の航路にあたる。

・ **キーウエスト** (Keywest) メキシコ灣の東門を扼し、鐵道はフロリダ半島から珊瑚礁上を渡つて此の地に達してゐる。玫瑰との取引が盛である。

(2) **五大湖地方** 湖上の交通は運河及鐵道と共に頗る便利で附近に産する銅・鐵・石油・石炭等の鑛産物及び穀物・肉類・木材等は迅速に各地に運搬され、且ナイヤガラ附近の水力の利用も盛であるから商工業都市が發達してゐる。

① **ピッツバーグ** (Pittsburg) ペンシルバニア州の大炭田の中心で有名なカーネギー鐵工所 (Carnegie) があり、製鐵業は頗る盛大で世界第一と稱せられる。硝子製造も盛で人口五十九萬を有してゐる。

② **バッファロ** (Buffalo) エリー湖畔に位し、エリー運河の起點で大湖水運の東端をなし鐵道幹線を以て東部の諸港と相通じ穀物の大市場で殊に麥粉の産が多い。人口五十一萬。下流七里にナイヤガラの大瀑布があり、水力の利用も盛である。

③ **クリーヴランド** (Cleveland) エリー湖の南岸にあつて、ピッツバーグの門戸で鐵・石炭・石油の大市場である。人口七十九萬。

④ **デトロイト** (Detroit) エリー湖の西方、同名の河にのぞみ自動車製造は世界第一と稱せられフォード會社は特に規模宏大である。人口九十九萬、米國第四の大都である。

⑤ **シカゴ** (市俄古) (Chicago) ミシガン湖畔の大貿易港で三十有餘の鐵道線が交叉し眞に水陸交

通の要地で人口二百七十萬、米國第二の大都會で又世界第五に位する。中央平野の物資を集散し、穀物・肉類・木材の大市場でシカゴ屠獸場では日に十餘萬頭を屠殺し、世界最大と稱せられる。我が領事館がある。

一。ミルウォーキー (Milwaukee) ミシガン湖の西岸にあつて小麦・木材・鐵鑛の集散地である。人口四十八萬。

二。ヂュルース (Duluth) スベリオル湖畔にあつて穀物・肉類の集散地である。

(3) 中部地方 ミシシッピー河の沃野地方で農産豊富、而もブレイリーの草地には牛・羊等の牧畜が盛大である。

ハ。セントポール (St. Paul) ミシシッピーの左岸に位し、ミネアポリスと相對し、大北鐵道・北太平洋鐵道等鐵道幹線の集中點で人口二十三萬を有する。

七。ミネアポリス (Minneapolis) 小麦産地の中心で製粉業の盛大なこと此の國第一である。人口三十八萬。

エ。セントルイス (St. Louis) ミシシッピー河とミズリー河との會合點にある重要な河港で、穀物・肉類・煙草等の大集散地で内地交通の大中心をなしてゐる。人口七十七萬。この地は約百年前

西班牙から買取つた頃は住民一千に過ぎない小邑であつたが位置の良好と地形の優秀な關係から急速に發展した。

ルイスビル (Louisville) オハイオ河畔に位し、煙草の取引世界第一と稱せられる。人口二十三萬。南西にマンモス洞といふ大石灰洞窟がある。(拙著改造後の最新世界地理集成下巻八〇二頁参照)

九。シンシナチ (Cincinnati) オハイオ河畔にあつて肉類の一大市場で殊に豚肉罐詰業が有名である。人口四十萬。

一。ニューオーリークス (New Orleans) ミシシッピー河の下流(河口から百七十三軒)にのぞみ棉花の輸出世界第一である。又ミシシッピー河水運の大關門で物貨の集散が頗る多い。人口三十九萬。我が汽船の航路にあたる。

ニ。ガルヴェストン (Galveston) テキサス州(Texas)の門戸で棉花及び米の輸出が盛んで又我が汽船の航路にあたつてゐる。墨西哥灣岸第二の貿易港で人口三十五萬人を有する。

ペンサコラ (Pensacola) 墨西哥灣にのぞみニューオーリークスの東方に位して棉花の輸出港である。

三 モビル (Mobile) ベンサロラと同じく棉花を輸出する。

(4) 西部地方 ロッキー山脈以西の地では銅・金・銀・鉛等の鑛産が多く太平洋岸には北方に材木、小麦、南方に果實、石油を産するが開拓は未だ充分ではない。

デンバー (Denver) ロッキー山脈の東側一五八〇米の高地にあつて、コロラド鑛山地方の中心地で人口二十七萬を有する。

ソルトレークシティ (Salt Lake City) 大鹹湖の東南部にあつてモルモン宗本山がある。九

十餘年前ジョセフ・スミスが開いた宗旨で一夫多妻の主義は今や法律で禁じてゐる。

サンフランシスコ (桑港) (San Francisco) 桑港灣に臨み西岸第一の良港で各方面の太平洋航路と大陸横断の鐵道とを連絡する要地で我が汽船も寄航する。我が對米貿易の大部分はこの地で行はれ、在留邦人約一萬人あつて銀行、會社、商店等を營み新聞を發行してゐる。總領事館の設けがある。灣口の金門海峡 (Golden Gate) は幅千六百二十米に過ぎないが灣内は廣濶で大船巨船も安全に碇泊し、石油・麥粉・果物の輸出が盛である。人口五十一萬。この地は明治三十九年大震災のため大破を被つたが其の後忽ち回復して現在の盛況を呈してゐる。

サクラメント (Sacramento) カリフォルニア州の首都で同平原の中心にあたり我が同胞が多く

住し、農業や果物の栽培等に從事してゐる。人

口六萬五千。

ロスアンゼルス (羅府) (Los Angeles) 近

時長足の發達をなした港市で太平洋岸第一の都市となり果物の集散が盛で又附近に豊富な油田がある。サンベドロを外港とし、附近には在留邦人が多く、葡萄其の他の果實及び蔬菜の栽培に從事してゐる。我領事館がある。市には又活動寫眞大撮影所が多く、日本に輸出さるフィルム多数はこの地の作品であるといふ。自動車の使用も甚だ盛で市民三人につき一臺を有する割合である。人口約百十萬。市に近いウィルソン山には大天文臺がある。世に羅府稱せらる。

○【羅府の發達】 世界で都市の人口の増加の速かな

近附コスシンラフンサ



のはシカゴ紐育を舉げて、羅府は世の多く注意を逸するが其の増加は世界一であらう。即ち左の表を見て知る。

一八六〇年	三、七〇〇人
一九二三年(二年前)	八九〇、〇〇〇人
一九二四年(十月概算)	一、一五〇、〇〇〇人

◎【羅府發達の原因】として擧ぐべきものは(一)サンペドロの港灣は最も佳良で桑港に優ると稱せられ。(二)氣候が最も良好で近時羅府附近には富豪の邸宅又は別荘の建設せらるるもの多く。(三)石油の大産出地・果物・蔬菜・葡萄酒・羊毛等の大集散地となり。(四)南カリフォルニアの交通の要路である。

**サンペドロ(San Pedro)** ロスアンジェルスに近い港で我が國人の漁業に従事するものが多く罐詰工場に魚類を供給してゐる。我が南米航路の寄航地である。又米國潜水艇の根據地である。**インペリアルヴァレー(Imperial Valley)** もと不毛の地であつたが人工灌溉の設備をしてから農業が大に發達し綿の栽培が盛で多く在留邦人が開拓に従事してゐる。カリフォルニア州とメキシコとの國境近くにある。サンペドロを門戸とする。

**ポートランド(Portland)** コロンビヤ河(Columbia)の下流に沿ひ海岸から二百軒はなれた港で同河の鮭やカスケード山脈から産する木材の集散地である。人口二十六萬。我が領事館がある。

**タコマ(Tacoma)** ビューゼットサウンド灣内の良港で北太平洋鐵道の終點である。我が大阪商船會社の定期航路と連絡し、東亞交通貿易上の要地である。人口十萬。

**シアトル(Seattle)** ビューゼットサウンド灣内にある良港で大北鐵道の終點にあたる。我が日本郵船及大阪商船兩會社の北米航路に寄航し、附近はタコマと共に在留邦人の多い所でシアトルに我が領事館がある。東洋との貿易が盛大で木材、穀類、罐詰の取引が多い。人口三十二萬。

**アラスカ(Alaska)** 面積百五十三萬方軒(約十萬方里)。人口五萬五千。北亞米利加洲の西北部にある半島で一八六七年米國は七百二十萬弗で露西亞から買収し行政上は本國の一地方となし總督を置いて治めてゐる。面積廣大であるが人口は甚だ少い。全土高原性で南部にはロッキーマウンテン脈が聳つて土地崛起し、火山脈が之に重なつて、セントエリアス山(五五一七米)マッキンレー山(六二四〇米)等の火山聳え就中マッキンレー山は北米第一の高峯である。セントエリアス山には百哩にわたるといはれる世界最大のマラスピノ大氷河がある。その餘派は百五十餘島から成つたアレウト列島(Aleutian Is.)となり數多の火山が島上に屹立してゐる。ベーリング海は冬季凍結し、又濃霧が甚だ多い。域内を西流するユーコン河(Yukon)(八百里)は夏季航運の利便が多い。氣候は南は稍溫和で太平洋沿岸では一小部分の外冬期氷結の事實が無く其の他は冬寒く北半は凍原

305

をなしてゐる。土地は未だ開けないが産物には木材や毛皮があり、ユーコン河上流やノームシチーの砂金、南部沿海山地の銅(ケネコット大銅山は年産千萬弗に及ぶ)海岸地方の鮭、海獣等は主なるものである。就中鮭罐詰業は最も盛大で工場は各地にあるが太平洋岸だけで二百餘あり一ヶ年の製造額三千五百萬弗に達する。ベーリング海中のプリビロフ群島(Pribilof Is.)は臘腸獸の世界三大産地の一と稱せられ我が海豹島、露西亞のコマンドル群島と共に名高い。

【都會】ジュノー(Juneau) 太平洋岸の峽灣内に位し附近にジュノー金礦があつて石英鑛掘りをなしてゐる。水産物、鑛物を輸出し、アラスカの首府で總督官邸、議事堂(上院八人、下院十六人)等があり、その他近代都市の有するものは何でもあるといふ。人口三千、我が名譽領事を置いてゐる。

シトカ(Sitka) 太平洋岸の港でアラスカ農事試験所本部と南部アラスカ土人學區本部があつて淋しい町ではあるがアラスカの學府の觀がある。人口一千二百。

ノームシチー(Nome City) 附近に産金地(砂金)をひかえベーリング海峡に臨む。人口八百五十。

ダッチ港(Dutch Harbor) (一名ウナラスカ(Uналаaska)) アレウト列島中のウナラスカ島にあ

る無比の良港で米國の海軍根據地として經營せられてゐる。

◎【鮭罐詰製法】 棧橋に横づけされてゐる魚槽船から無數の鮭がエレベーターでどしどし自動斷頭臺へ送られる。頭のなくなつた鮭は次には自動的に腹を割かれ臟腑を洗はれ、輪切りにされ罐に詰つてゆく。この生のままの鮭の罐詰はそれ／＼組わくの中に並べられ大きなホイラーの中に入れられ二十分もするともう立派な罐詰が出来上り箱につめられて倉庫に收められる。此一組の製造器に従事する人員は僅に十名内外である。

【日米の關係】 ●歴史 一八五三年(嘉永六年)六月三日米國軍艦四隻はペリーに率ゐられて浦賀に來り、其の後ハルリスの渡來となり、安政五年遂に日米修好通商條約を結ぶ。これが外國と條約を結んだ始である。又日露戦争當時にも我國に好意を表し外債の應募又は講和談判の斡旋等に力を盡したものである。

●外交上 我が條約國で大使を交換する。嘗て我が開國を促し學術技藝を傳へ國交日に親善を加へたが近年移民問題や東亞問題等につき、時に利害一致せずして、外交上の問題を起すことは惜しむべきことだが吾人は常に大國民たる態度を以て正々堂々、眞に世界平和の爲め彼我の親善を圖るべきである。

總領事。(紐育、桑港) 領事。(シカゴ、シアトル、ホートランド、ロスアンゼルス、ニューヨーク、  
インス) 名譽領事。(ホストン、フィラデルフィヤ、セントルイス、カルヴェストン、モビール、ジュ  
バ)

### 交通上

日本郵船會社の米國航路(シヤトル線)及紐育線、大阪商船會社の北米航路(タコ  
マ線)及紐育線、東洋汽船會社の桑港線及南米線の定期航路があり、米國汽船も亦太平洋航路に  
従事して彼我の交通は甚だ便利である。又海底電線は東京、父島、グム島、ミッドウェー島、ホ  
ノルル、桑港間に敷設され我が警城無線電信局(原ノ町發信所、富岡受信所)は桑港のポリナス  
送信局及マーシャル受信局を相手として直接通信してゐる。

### 移民上 (住民の部参照)

### 貿易上 (商業の部参照)

### 練習問題

(一) 亞米利加合衆國の地勢を問ふ。(高文、北大、神商、文檢、高等、水産) (二) 亞米利加合  
衆國の地形圖を描け。(高檢、高等、專檢) (三) 亞米利加合衆國の略圖を描き之に主要なる山脈、河、湖、  
及都會を記入せよ。(長商) (四) ミシシッピ河に就て記せ。(高等) (五) 瀑布線とは何ぞや及び經濟上に及  
ぼせる影響を述べよ。(文檢) (六) 亞米利加合衆國の氣候につきて記せ。(神商) (七) 亞米利加合衆國の産業

を問ふ。(外語、陸經、東商、長商、高等、神商) (八) 亞米利加合衆國の形狀と隣界とを略圖し且各地方に  
於ける主要産物を概示すべし。(陸經) (九) 亞米利加合衆國の天産物に關して記せ。(神商) (一〇) 英米兩國  
に於ける鐵礦の産地につきて知れる所を述べよ。(東師) (一一) 日米間の貿易關係を問ふ。(陸經、陸士、外  
語) (一二) 北米合衆國に於ける小麥、綿、煙草の産出區域を記せ。(東師) (一三) 北米合衆國の鐵業を問ふ。  
(東師) (一四) 亞米利加合衆國富強の原因を問ふ。(東商) (一五) 亞米利加合衆國の工業地帯と主要工業と  
を記せ。(專檢) (一六) 日米間の海底電線の經由地を問ふ。(海經) (一七) 北米合衆國の東西に於ける主要港  
を列舉せよ。(海兵) (一八) 亞米利加合衆國東岸の港を北より順次に記せ。(商船) (一九) 北米大陸横斷鐵道  
につきて記せ。(高等、文檢、商檢、長商) (二〇) 米人氣質に就きて記せ。(文檢、專檢) (二一) 亞米利加合  
衆國の政治につきて述べよ。(高等、文檢、海兵) (二二) 左に就きて知れる所を記せ。(イ) アパラチヤ山脈  
(高等) (ロ) コロラド河。(東師、東商) (ハ) コロンビヤ河。(小商、文檢) (ニ) ヨセミテ谷。(專檢) (ホ) エ  
ローストン公園。(北大、文檢、專檢) (ヘ) サクラメント河。(海機、文檢) (ト) ミシガン湖。(東師、外語)  
(チ) ミシシッピ河。(高等) (リ) ミズーリ河。(東師) (ヌ) ビューセツトサウンド海。(文檢) (ル) パーリン  
群島。(文檢) (ヲ) 紐育。(海兵、高等、普文) (ワ) ホーツマス。(東師、神商) (カ) ホストン。(海兵、高等)  
(ヨ) フィラデルフィヤ。(海機、陸士) (タ) ニューオールリンズ。(東商、東師、小商) (レ) セントルイス  
(高等、陸士) (ソ) ヒツパバーグ。(海兵、神商、陸士) (ツ) シカゴ。(高等、海兵) (ネ) タコマ。(普文、商

### 第四章 亞米利加合衆國

船(ナ)シアトル。(高等、海兵、商船) (ラ)ローサンジェルヌス。(高等、東師、專檢) (ム)デンバー。(文檢) (ウ)サクラメント。(文檢) (井)ミノアポリス。(文檢) (ノ)ホルチモア。(專檢) (オ)ガルベストン。(專檢) (ク)キーウエスト。(文檢) (ヤ)ハンサコラ。(文檢) (マ)インマリアルバレー。(文檢) (ケ)プリビロフ群島(水産、文檢) (フ)ダッチ。(文檢) (コ)米國に於ける領事館所在地。(專檢)

◎【考察問題】 ●北米合衆國が世界第一の富を得し理由如何。 ●米國東西兩岸の發達程度が異なる理由。 ●米國の地勢と産業との關係を考究せよ。 ●米國が移民を制限するに至りし理由。 ●排日法制定の理由。 ●聯邦共和政法の特異點を考察せよ。 ●米國に於ける有色人種の現狀を考察せよ。 ●米國が常に輸出超過なる理由。

## 第五章 墨西哥(Mexico)

【境域】 亞米利加合衆國の南に隣接し、太平洋とメキシコ灣との間に挟まり南部は細くなつて中米に連つてゐる。面積約二百萬方呎(約十三萬方里)で我國の三倍にあたる。

【地形】 高原性で、コルチレラ山系(Cordillera)に屬するロッキー山脈(Rocky Mts)とシエラネバダ山脈(Sierra Nevada)とは國內に入つて、東シエラマドリ山脈(East Sierra Madre)と西

シエラマドリ山脈(West Sierra Madre)との二に分れ其間にアナワク高原(Anahuac Plateau)を挟み餘勢は南に走つて遂にテワンテペク地峽(Tehuacan of Tehuantepec)及びユカタン半島の低地となる。高原の平均高度は二千三百米で内陸灌漑の湖水を湛へ沙漠的な地がある。以上の脈中には火山が多く、オリザバ山(Mt. Orizaba)(五五八二米)ポポカテペトル山(Mt. Popocatepetl)(五四五二米)なき有名で南部に高峯が多く、ホルローヨ(Mt. Jorullo)といふ火山は一回の噴出で千三百餘米の山を作つたといふ。又地震も多い。東西兩山脈の外側には狭長な海岸平野がある。海岸は西岸に狭長なカリフォルニア半島(California)があつて陥没で出來たカリフォルニア灣を扼してゐる。同半島は米國に於ける海岸山脈の延長である。其の他は出入が甚だ少い。東岸では低地性のユカタン半島が突出して墨西哥灣を扼すると共に同灣内に更にカンベージュ灣を形成してゐる。東部の沿岸は平低なる沼澤地で岩濱を見ない。南部では東西兩洋相接近して幅の最も狭い所をテワンテペク地峽と稱し、幅二百十呎である。河流には米國との國境にリオ・グランデ・デル・ノルテ(Rio Grande del Norte)があつてメキシコ灣に入り、コロラド河(Colorado)はカリフォルニア灣に注いでゐる。高原には内陸灌漑の小河がある。

【氣候】 土地の高低並に海邊の遠近は氣候に差異を生じ垂直的に判然と三帶に分れてゐる。即ち沿海地から一千米までの間は熱地で暑氣強く、濕氣に富み疫病が流行して、健康に適しないが熱帶植物はよく繁茂する。一千米以上二千米迄は濕地で氣候溫和、激變少く農業盛に行はれ、メキシコに於ける人文發達の著しい所である。其の高原地には雨が少いたため大河がなく仙人掌(Cactus)や龍舌蘭(Maguey)の如き乾燥に堪える特別の植物が生育し、二千米以上は寒地で乾燥にして寒冷、霜を見る。地味礫礫で針葉樹等の森林がある。又一年は乾季(十一月から五月まで)と濕季(五六月より十月まで)に分れ冬には殆んど降雨がない。

【産業】 農業及鑛業を主とする。

(1) 農業 氣候に左右されて、土地の高低によつて種類を異にしてゐる。熱地たる海岸平野には砂糖、綿、米を産し平地と臺地との中間には珈琲、煙草の産が多く、臺地には玉蜀黍、仙人掌、龍舌蘭を産し、仙人掌からは寄生蟲の cochineal を採つて染料として洋紅の原料に供する。龍舌蘭を栽培しては花柄より液を採りてメキシコ人の愛好するブルケ酒を醸し、葉からはヘネケン麻(Henequen)を取つて製綱原料としこの國の重要輸出品である。コチニール、カカオ、ヴァニラ(Vanilla)はこの國が原産地で蔓性植物たるヴァニラの實は長さ

一尺に達し、香氣が強いで菓子や其の他の食品に加味する。

(2) 鑛業 銀は世界第一の産があつて世界産額(約三億九千萬圓)の三分の一以上にあたりこの國鑛産中の首位を占めて居り、之を貨幣に鑄造して輸出する。國內の何れの鑛山も銀を産しないのは無い位である。近年石油の産額が非常に増加して米國に次ぐ世界第二の産地となりタンピコ附近のメキシコ灣岸二百哩に亘る油田は産出が最も多い。その他金、銅、硝瑪瑙、蛋白石等を産する。鑛産は此國の大富源で貿易額の大半を占めてゐる。近年頻りに外資を輸入して産業の振興に勉めてゐる。

(3) 林業 海岸の濕熱地には密林が繁茂してマホガニー(Mahogany)や護謨を供給し、マホガニー

は材質堅硬、赤褐色で美しいから器具材として賞用される。

(4) 牧畜業 高原地方に發達し、北部に牛馬、南部に羊や山羊を飼育してゐる。

【交通】 鐵道は延長一萬哩で東西兩洋を連絡するのと又米國と連絡するのがある。有名なテワンテペック鐵道は南はサクナクルス(Saint Cruz)から北上してフェルトメキシコ(Puerto Mexico) (一名コアサコアルコス)に至る三百四軒(一八八哩)で通過するに約十時間半を要し北米の東西兩岸連絡上パナマ運河よりも一千八百軒近い。この鐵道は加奈陀や米國の横斷線及パナマ運河と競



争の地位にあるので、この鐵道への投資は列國の競争となり遂に内亂を起したといふ。パナマ運河開通以來その利用稍衰へたが尙運河との競争がはげしい。船舶は極めて少く航路は多く英米兩國船に支配され良港も少い。我が南米航路にはマンサニヨ (Manzanillo) とサリナクルズ (Salina Cruz) に寄航する。

×【住民】人口約千五百萬で一方籽八人の割合で密度は甚だ稀薄であるから移民を歓迎してゐる。住民の大部分は白人とアメリカインヂアンとの雜種たるメスチゾ族 (Mestizo) で約半數を占め優勢である。之に次ぐのは土人たるアメリカインヂアンで三分の一餘を占め、白人たる西班牙人の子孫は五分の一に過ぎない。全面積は我が國の三倍あるが人口は僅に我が國の二割餘であつて、我が移民は頗る歓迎されるのである。大正十二年六月現在の在留邦人は三千八百八十一人で南部に農業を營んでゐる。宗教は大多數が舊教を信奉し、教育は政府の奨励も未だ徹底せず無學者は全人口の五割五分を占むるといふ。

×【政治】この國はもと西班牙の領地であつたが今は獨立の共和國となつてゐる。一九一七年の憲法改正によつて聯邦共和制となり二十七州三地方及一聯合區から成つてゐる。大統領は行政を統べ、立法權は上下兩院にある。然し内政常に紛擾を極め國運が振はず、且つ天産豊富な爲め、

米國の干渉が多い。

◎【沿革】メキシコ最古の住民はトルテク人で西紀八九世紀頃には比較的文明の域に達し、南米ペルーのインカ帝國と共に新大陸で最も早く開けた所である。一五一九年から二一年にわたり西班牙將フェナント・コルテスが遠征を試みベラクルズに上陸してから西班牙領となり、一八〇八年ナポレオンが西班牙本國を侵略せんとする時獨立を企て一八二一年獨立して帝國となり一八二三年共和制となる。其の後同國の大州テキサス州が米國に合併されたので一八四六年米國と戰を開き三年の後敗れてニューメキシコ、カリフォルニア二州を米國に割讓した。其の後一度帝政を再興したが一八六七年又共和制を採るに至り現在に及んでゐる。爾來内亂が頻出し或は大統領の暗殺となり、或は黨を組んで相争ふ状態である。徳川家康が交通したといふノヴァイスマニヤ (Nueva Espana) (ノヴァ・スペインヤ) は此の國である。

×【都會】メキシコ (Mexico) この國の首府で、アナワク高原の中央二二六六米の高臺上にあるので熱帯の地に位するけれども氣候溫和、終年春のやうで、この國商工業の中心である。人口百八萬。我が公使館がある。

ペラクルズ (Vera Cruz) メキシコ灣岸にあつて本國第一の貿易港であるが氣候不良で疫病が屢々流行する。人口五萬。紐育及ハヴァナとの交通が頻繁である。

タンピコ(Tampico) 附近に豊富な油田があつて、石油の輸出港として名高い。メキシキ海岸にある。

プエルトメキシコ(Puerto Mexico) (一名コアサコアルコス) テワンテペク地峽鐵道の北端にあたる港である。

メリダ(Merida) フロリダ半島の北部にあつてヘネケン麻製造の中心地にあたる。プログレンソ(Progreso) 港から輸出する。

サリナクルス(Salina Cruz) テワンテペク地峽鐵道の南端にあたる太平洋岸の良港で我が東洋汽船の南米航路に寄航する。

マンサニヨ(Manzanillo) 太平洋岸の港市で我が東洋汽船の南米航路に寄航する。メキシコヤタンピコ其他へ鐵道が通じてゐる。

アカプルコ(Acapulco) 太平洋岸の港市であるが氣候不良で貿易は盛でない。

アンヘル島(Angel) カリフォルニア半島の東方にあつて近時一大石油帯を發見した所である

◎【練習問題】 (一)メキシコにつきて左の諸項に答へよ。氣候、人種、政體、言語、宗教。(海機) (二)墨西哥の住民につきて記せ。(海機) (三)墨西哥に關する次の事項を説明せよ。位置、氣候、産業、首府。(北大)

(四)墨西哥の主要産物につきて記せ。(長商、海機) (五)墨西哥の鐵産物及び農産物を擧げよ。(商船) (六)墨西哥の宗教、住民、政治につきて記せ。(海機) (七)左に就きて知れる所を記せ。(イ)マンサニヨ。(海機) (ロ)ハラクルズ。(廣、海兵) (ハ)墨西哥。(海兵、海機) (ニ)ヘネケン。(廣師) (ホ)ボカテートル火山。(廣師、文檢) (ヘ)タンピコ。(文檢) (ト)サリナクルス。(文檢) (チ)テワンテペク地峽。(專檢)

◎【考察問題】 ●墨西哥の人文發達と氣候との關係を考究せよ。●墨西哥に大貿易港のなき理由。●米國が排日を行ひ墨西哥が我が移民を歓迎する理由を考察せよ。●墨西哥の國勢振はざる理由。

## 第六章 中央亞米利加 (Central America)

【境域】 墨西哥と南米コロンビヤとの間に挟まれた狭長な地域で西は太平洋東はカリブ海(Caribbean Sea)にのぞんでゐる。中に六共和國と一英領があつて面積約四十六萬方呎(約三萬方里)人口約五百萬である。

【地形】 高臺性の地で、多くの火山が聳え、地震も亦多い。山脈は南北に走つてコルチレラ山系の一部をなし、處々斷續して五ヶ所の地峽部は稍低く廣潤な部分は高臺をなしてゐる。それで海水を數百米高めると、この三角形を接合したやうな中央亞米利加は忽ち列島と變するのである。

脈中には火山が多くその數八十餘に及んで古來往々大噴火をなし地震を起したことが多い。殊にグアテマラ國には高峯多くアカテナンゴ (Acatenango) (四一五〇米) タヤムルコ (Taymulo) (四二二〇米) なぎが聳えてゐる。

海岸 西岸は屈曲は多いが斷崖海に迫り、東岸は低平で潟や岩礁があつて海岸は概ね浅い。南部にパナマ地峽がある。

【氣候】 全域熱帯に位するが墨西哥と同じく垂直的に區別があつて、海岸の平地は炎熱濕潤、殊に蚊が多くて熱病の病毒を傳播することが多く、高原地方は、氣候良好で涼風吹き渡り、生活に適してゐる。尙本域は北東貿易風が暖流上の濕潤な空気を齎すため東岸は特に雨量多く、北米に於ける最多雨地である。グアテマラのヅラン (Durán) では年四千九百五十三耗に達する。又墨西哥と同じく雨季と乾季とに分れ雨季は五月から十一月までである。

【産業】 ①農業 農産の重要なものは珈琲でこの他バナナ、甘蔗、煙草、ココア、藍及コチニール等が多い。蓋し氣候の關係上熱帯性植物の生育良好で近時栽培を奨励すると共に珈琲、バナナ等は盛に米國に輸出してゐる。

②林業 マホガニー (Mahogany)、護謨、ログウッド (Logwood) 等が繁茂せるため盛に良材を

供給する。マホガニーは材質堅く水に強きため器具材とし、ログウッドからは染料を採る。又土人の大切とする麵包樹は果實を食料とし、樹皮を織物とする。

③牧畜業 高原地に飼畜し、皮革は重要な物産である。

【住民】 人口約五百萬で一方糶十一人に當る。アメリカインディアン及び雜種たるメスチゾ族が大部分を占めて、白人たる西班牙人の子孫は少數であるが最も勢力がある。それで言語は西班牙語が廣く行はれ六共和國を建設してゐる。住民の少いのは當地方の開発を阻害してゐるが又土人と白人との反目が騒擾多き原因をなしてゐる。

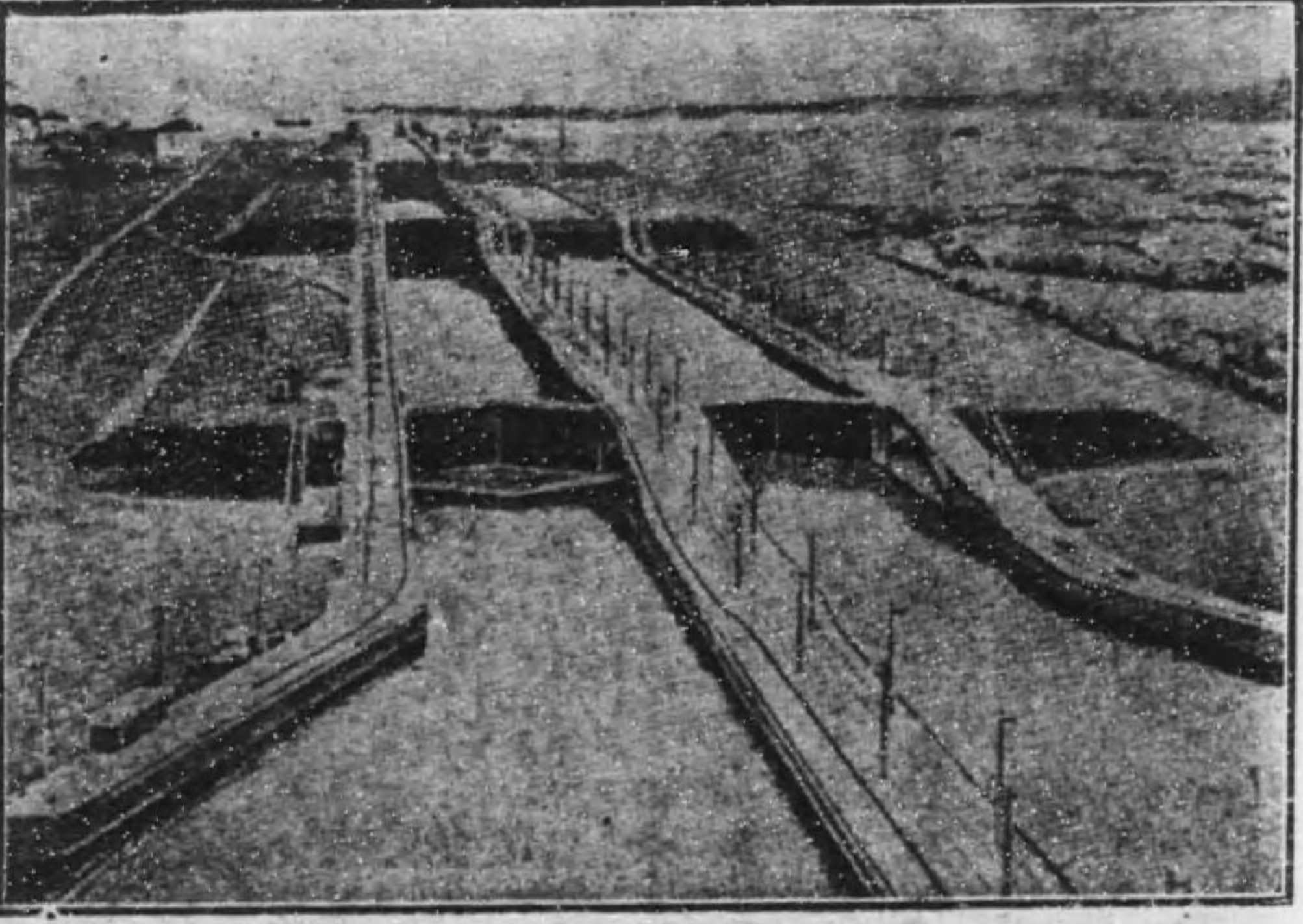
【政治】 グアテマラ (Guatemala) サルヴァドル (Salvador) ホンデュラス (Honduras) ニカラグア (Nicaragua) コスタリカ (Costa Rica) パナマ (Panama) の六共和國の外に英領ホンデュラス (British Honduras) に分れてゐる。各國の首府は左の如くである。(面積人口は總説の部を参照) グアテマラ (グアテマラ Guatemala 十二萬)。サルヴァドル (サンサルバドル San Salvador 八萬)。ホンデュラス (テグシガルバ Tegucigalpa 四萬)。ニカラグア (マナグア Managua 二萬)。コスタリカ (サンホセ San Jose 四萬)。パナマ (パナマ Panama 七萬)。

◎【沿革】 一五二一年から西班牙の領土となり一八二二年獨立してメキシコに合併され、一八二三年更に分

離して中央亞米利加聯合國を作つたが、一八四九年グアテマラ、サルバドル、ホンジュラス、ニカラグワ、コスタリカの五共和國の分立となり、パナマ共和國は一九〇三年(明治三十六年)コロンビヤから分離して獨立したものである。これらの共和國は從來國勢が振はず、野心のある將軍はその部下を率ゐて屢々革命を企て叛亂が絶えなかつたものである。



【パナマ運河】(Panama Canal)  
 (1)パナマ運河の現状 太平洋岸のパナマ港(Panama)とカリブ海岸のコロン港(Colon)との間をチャグレス河(Chagres)の河谷に沿ふて開鑿したもので延長七十三軒(約十八里半)、六箇の閘門を有する所謂閘門式で汽船は海拔二十六米の高所に昇る。通過時間は通常十時間である。米國は防禦上の必要から運河の兩側各々八軒と之が門戸たる海岸及びパナマ灣内の島嶼を永久租借し、運河の兩端にはクリストバル(Christobal)バルボア(Balboa)二市を建設した。米國の經營で通航料は一噸一弗二十仙空船はその六割である。今大西洋岸のグスリトバルから



パナマ運河の閘門

南進するとガツン閘門(Gatun Lock) (三箇)がある。電車に牽かれて閘門を出るとチャグレス河を堰きて作つた海拔二十六米のガツン湖(Gatun Lake)に出で、工事の最も困難で山崩れが屢々起つたツレブラ(Culebra)の洞割を過ぎるとペトロミゲル(Pedromiguel Lock) (一箇)及びミラフロス(Miraflores Lock) (二箇)閘門によつて海拔二十六米から太平洋の水面に降つてバルボアに至る。閘門内では汽船自身の運轉を許さずして兩岸の電車に牽かれて進む。閘門の動力はすべて電力を用ひ、閘門の開閉から、排水によつて上下閘門内の水準を平均させることまでスイッチャーで左右され、人夫は至つて少数で足る。水深約十四米、幅は九十一米乃至三百米で一九二三年の通過船舶三九六七隻二千三百萬噸でその前年の二七三六隻千四百萬噸に比べると著しい増加である。

②パナマ運河の由来 佛人レセップ(Leseppe)は資金三億圓

(六億法)を集めてパナマ運河會社を起し、一八八一年コロンに至り開鑿に從事したが悪疫流行や幾多の情實のため負債増加して一八八九年五分の二の工を了へて破産し、一八九四年新パナマ運河會社が出来たが又失敗した。ニカラグワ運河を計畫して失敗した米國は一九〇三年(明治三十六年十一月)パナマ共和國の獨立を援助した報償として四千萬弗で運河開鑿權を買収し且運河の兩側各八軒の地を永久租借し、又パナマ灣の諸島及防備に必要な地帯を割讓させ之が代償として一千萬弗を支拂つた。其の後米國は一九〇六年(明治三十九年)に工事に着手し工費三億七千五百萬弗、三萬の黒人と一萬の白人が炎熱の下に九ヶ年を要して一九一四年(大正三年)八月十五日を以て竣工した。

③パナマ運河の價值 ●經濟上 兩米太平洋岸の産業を振興し産業の大中心たる北米東部と東洋、濠洲、兩米の西岸との貿易が俄に盛になつた。我が汽船もパナマ經由で北米東岸に至り棉花・鐵材・石油を直接積取つてゐる。

●交通上 南米迂回の不便を除き紐育横濱間はホーン岬廻航に比し三千八百哩短縮し十六節の汽船で航行九日餘を節約する。通過船舶四千隻の大部分は英米兩國船である。

●政治上 米國の汎米主義には最も好都合でその覇權が南米太平洋岸にも波及することとなつた。

●軍事上 米國は大西・太平洋兩艦隊を殆んど一艦隊たらしめ太平洋の覇を唱へるに大なる便宜を得ることになつた。

【都會】 パナマ港(Panama) パナマ運河の入口に位し、我領事館がある。

バルボア(Balboa) パナマ運河の南門に當る所に新らしく建設した港市で交通上の要地にあたり、北口のクリストバル(Christobal)と共に我が汽船が寄港する。

コロン(Colon) パナマ運河の北口に位し交通上の要地である。

## 第七章 西印度諸島(West Indies)

【位置】 中央亞米利加の東方海上に羅列し、北米と南米とを列ぬる大小二千有餘の島嶼で大アンチル列島(Greater Antilles)小アンチル列島(Lesser Antilles)バハマ群島(Bahama)の三群島に分れてゐる。西印度とはコロンプスが印度の西部であると信じたので其の名がある。面積約二十四萬七千方軒(一萬六千方里)である。

【地形】 バハマ諸島は珊瑚礁から成り大小アンチル列島は山勝ちで火山も頗る多く時々激烈な噴火をすることがある。一九〇二年(明治三十五年)マルチニク島のブレイ火山が破裂した時はサンピエール港を破壊したのである。

◎【成因】 三帯に區別する。第一帯は東部の小アンチル列島の内側の部分で全部火山から出来てゐるもの、

第七章 西印度諸島

第二帯は山に富む島々で大アンチル列島や小アンチル列島の東側の部分で岩石は主に水成岩でトリダニード島のやうに白堊紀の化石を産する所があり其の上に第三紀の堆積物が重つてゐる。第三帯は北部にあるバハマ群島等で山地に少しもなく全く平坦な地で珊瑚礁から成立つてゐる。

【氣候】 炎熱濕潤であるが北東貿易風がよく發達し、海風が大いに氣候を和らけてゐる。尙乾濕二季に分れ雨量は一般に多く初秋の候屢々颶風の襲來することがある。高地は溫和である。

【産物】 植物の生育には頗る適當した豊沃地で甘蔗・煙草・珈琲・鳳梨等の農産が多く殊にキューバ島は甘蔗糖の世界第一の産地であり、ハバナの葉巻煙草も有名である。又麵粉樹は中米と同じく、至る處に野生して、其の果實は土人の常食となり樹皮は織物とするものである。尙バハマ諸島の海綿、ジャマイカ島のバナナ、トリニダード島のアスフォルトも名高い。

【住民】 總數九百萬で其の過半は黒人であつてメスチゾ族(白人とアメリカインディアンの雜種)及び西班牙人の子孫が之に次ぎ原住民たるアメリカインディアンは甚た少くて殆ん全滅の姿である。

【區分】 西印度諸島は政治上キューバ、ハイチ、サントドミンゴの三共和國と他は悉く、英・佛・米・蘭に分領されてゐる。

【バハマ諸島】(Bahama Is.) 英領で低平な珊瑚礁から成り其の數五百以上に及び面積一萬一千四百方呎(七百四十方里)を有する。氣候溫和で鳳梨・バナナ等の果物の産が多く、近海からは盛んに海綿を採收してゐる。又マグニー(龍舌蘭)を栽培して纖維をとり海綿、ヘネケン麻、果實を英國に輸出してゐる。群島中のサンサルバドル島(San Salvador I.)(一名アトリング島)(Wading)は一四九二年十月十二日コロンブスが初めて上陸した所である。

【大アンチル列島】(Greater Antilles) ●キューバ(玖瑪)(Cuba) 西印度諸島中の最大島で面積十一萬四千方呎(約七、四〇〇方里)、人口約二百九十萬を有する。山地多くて木材の産が多く低地・臺地は土地豊沃で砂糖・煙草其の他農産物に富み殊に甘蔗糖の産は世界第一である。工業品には酒精やブランデーがあつて酒精はガソリンの代用となる。もと西班牙領であつたが米國の援助によつて一九〇二年以來獨立の共和國となつた。首府ハヴァナ(Havana)は人口三十六萬、西印度諸島第一の大都會で葉巻煙草(ハバナシガー)の産で名高い。米國のキーウーストと定期船を通じ我が汽船も寄航する。東部のサンティアゴ(Santiago)はパナマ運河開通以來大に發展し、我が汽船も寄航する。ウインドワード(Windward)海峡に臨んでゐる。

● **ハイチ島** (Haiti) 黒人の建設したハイチ及サントドミンゴ (Santo Domingo) の二共和國があるが國力は微弱で米國の勢力下にある。住民には黒人が最も多い。國內山多く、山地にはマホガニー其の他の良材を産し、平野には甘蔗・煙草・珈琲等を栽培する。

● **ハイチ共和國** は同島の西部を占め、もと佛蘭西領であつたが一八八九年獨立し面積二萬六千方糎 (一七〇〇方里)、人口二百萬あつて九割は黒人である。首府をポートオーブリンヌ (Port Au Prince) とす。

● **サントドミンゴ共和國** は一八四四年西班牙から分離獨立したもので、面積四萬六千方糎 (三〇〇〇方里) 人口七十一萬で黒人は少くして西班牙の子孫やメスチチ族が多い。首府をサントドミンゴ (Santo Domingo) とす。

● **ジャマイカ島** (Jamaica) 英領で砂糖・バナナ・ラム酒を産する。ラム酒 (Rum) は甘蔗の汁又は糖蜜を醗酵させて造る酒精でこの島のが最も有名である。首府キングストン (Kingston) はハマ運河開通後大に發展し將來有望の港市である。

● **ポルトリコ島** (Porto Rico) 米領で砂糖・煙草及び良質の珈琲を産する。もと西班牙領であつたが米西戦争の結果一八九七年フィリピン等と共に米領となる。首府サンジュアン (San Juan)

は北岸にあつて砂糖・煙草を輸出し我が名譽領事を置く。

【小アンチル列島】 (Lesser Antilles)

1. 英吉利領

● **トリニダード島** (Trinidad) 地瀝青の産で名高い。又近年石油を産出する。小アンチル列島中の最大最南の島で面積三千二百方糎、人口約三十八萬である。

● **地瀝青** (アスファルト) 漆黒土狀又は半液體をなして産する。本島は世界第一の産地でオリノコ河口附近にも産し我が秋田縣からも少しく産する。道路の舗装、機械の土臺、電線の被覆用などに用ふる。

● **バルバドス島** (Barbados) 西印度諸島に於ける英國の衛戍地であると共に又海軍の根據地である。

● **リーワード諸島** (Leeward) ポルトリコとマルチニク島との間に散在する島々で小アンチル列島の北部を占めてゐる。其の中グアドループ島は佛領で、ドミニカ島 (Dominica) 其の他は概ね英領である。

● **ウインドワード諸島** (Windward) マルチニク島以南トリニダード島に至る島嶼でセントルーシヤ (St. Lucia) ヤントヴアンセント (St. Vincent) トバゴ (Tobago) バルバドス・トリニ

グード等皆英領である。火山島が多くセントビンセント島はマルチニックと共に屢々噴火した島として名高い。

## 2. 佛蘭西領

●グワドループ島 (Guadeloupe) 産物には砂糖・珈琲が多い。佛領中の最大島で火山島である。  
●マルチニック島 (Martinique) 有名なプレー火山 (Pele) は一九〇二年(明治三十五年)に大破裂をなし、其の麓にあるサンピエール港 (St. Pierre) を破壊し、三萬人の死者を出し山頂には約三百米の塔状の山塊即ち熔岩鐘を作つたので有名である。面積約一千方軒の同島には尙火山が多く、産物には砂糖や珈琲がある。

## 3. 和蘭領

●キュラサオ島 (Curacao) 南米の北岸に近い島で、リーワード諸島に於ける三島とヴェネズエラ海岸に於ける三島(キュラサオ島を含む)をキュラサオ植民地としキュラサオ島に政廳を置いてゐる。

## 4. 米國領

●バージン群島 (Virgin) の三島で、セントトーマス島 (St. Thomas) セントジョン島 (St. John) サントクルズ島 (Santacruz) を米國は領してゐる。もと丁抹領であつたが一九一七年米國が買取つたもので、セントトーマス島のシャーロットアマリエ港は西印度諸島中の貯炭所として汽船の寄港するものが多い。

【附】ベルムタ諸島 (Bermudas)

西印度諸島の北方大西洋中にあつて英領である。世界最北の珊瑚礁で三百六十の島から成り、墨西哥灣流に洗はるので氣候頗る良好、保養地として名高い。それで花卉、果實等の産も多く、又其の港は英國の海軍根據地で造船所、浮船渠の設けがある。ハミルトン (Hamilton) を首邑とし良港である。

◎【練習問題】(一)中央亞米利加の住民及邦國を問ふ。(高等、陸士、東師)(二)中央亞米利加の政治上の區分を略圖にて示せ。(外語)(三)パナマ運河につきて記せ。(廣師、紳商、海經、文檢)(四)西印度諸島の名を擧げ其の所屬本國を問ふ。(商船)(五)西印度諸島中の獨立國を數へよ。(商船)(六)キューバ島につきて記せ。(長商、高等、山商、東商)(七)西印度諸島中歐米諸國の領地をその本國名の下に列記せよ。(商船)(八)ベルムタ諸島の位置を圖示し軍事上交通上の價値を説明せよ。(廣師)(九)左に就きて知れる所を記せ



(イ) パナマ。(高等、山商、文檢、商船) (ロ) コロン。(外語、早大、山商) (ハ) キングストン。(文檢) (ニ) トリニダード。(北大、文檢) (ホ) ジャマイカ島。(海機) (ヘ) ハバナ。(海兵、海機) (ト) ハイチ。(外語) (チ) バルホア。(文檢) (リ) キュレブラ。(文檢) (ヌ) バージン諸島。(文檢) (ル) プレー山。(文檢) (ヲ) バルムタ諸島。(文檢)

◎【考察問題】 ●パナマ運河の軍事上政治上の價値を考究せよ。●テアンタマク鐵道の價値如何。●中美諸國の振はざる理由。●西印度諸島の成因を考究せよ。●パナマ運河が世界航路に與へた影響如何。

## 第五編 南亞米利加洲 (South America)

### 第一章 自然地理 (地文地理)

【**境域**】 南亞米利加洲は、新大陸の南半を領有し、大部分赤道の南にありて、南回歸線は大洲の中央を貫通して、北はパナマ地峽で、中央亞米利加を介して北亞米利加洲に連り、東は渺茫たる大西洋に望み、南は南極洋に入り、西はまた濠洲たる太平洋に洗はれてゐる。

【**面積**】 本洲の面積千七百八十萬方軒(一、一五五、〇〇〇方里)で、世界第三の大洲で亞細亞洲の約二割五分歐羅巴洲の約二倍に當つてゐる。此の廣大の面積の内、本洲内の一國である伯刺西爾は八百五十三萬方軒(五五三、〇〇〇方里)で將に四割四分を占めてゐる。

【**地勢**】 地形北部に膨大して、南方に狭少となつて略々三角形を呈す。さうして地勢の大體を通覽すれば西部山地、中央大平原、東部臺地に分れてゐる。

●西部山地(アンデス山脈) 本洲の西部を構造する大山系は北亞米利加の西部山脈と共に所謂コルデレラ山系に屬す、そして本洲では此れをアンデス山脈と稱してゐる。本山脈は本大陸の西

第一章 自然地理(地文地理)

部を蜿蜒して、其の延長實に七千九百軒(一、九七五里)に上り、世界最長の大山脈で、平均高度は約三千米でヒマラヤ山に次ける高峰である。本脈は西側は急斜であるが東側は緩斜である。そうして山脈の東西兩斜面の地は、氣候をして著しく差あらしむ。尙脈中の高峰を擧ぐればアコンカグマ山(Aconcagua)で七〇四二米の高きになる。その他ソラタ山(Sorata)(六、六一七米)(ボリビアにあり)、イリマニ山(Timani)(六、四〇五米)(同所にあり)、チンボラソ山(Chimborazo)(六、三三〇米)(エクアドル)ミスチ山(Mischi)(ベルー)(五、九二五米)等の高峰がある。

此の山系中には火山噴起して温泉も亦多く地震頻繁である。殊に前記の高峰は火山に屬するものがある。即ちコトバクシー山は(五、九四三米)世界最高の活火山と稱せらる。

○アンデス山脈と自然・人事

- アンデス山脈の延長は既に述べたように約二千里に亘るとし、平均高度も一萬尺に達すと云へば、これが自然・人事に與ふる影響定めて大であらう。今其の重なる一二を擧げよう。
- 一、アンデス山脈と氣候 後文氣候に述べるが如く、南北に蜿蜒たる此の長大の山脈に遮ぎられて緯度には拘はらず多様ならしむ、即ち東方には雨量豊沛として降下し、長大の河流を涵養せしむ。西方には雨量少く砂漠地を造る。又山脈の高度によりて或は寒冷、或は溫和或は炎熱の氣候となる。
  - 二、アンデス山脈と地勢 南米の此の長大の山脈が西方に偏するので、西方には南米の西藏と云はる地や、

高原國を造り、甚しきは此の山脈が劃斷して智利の如き狭長な國を西方に造る。そうして東方は廣大な平野となり、長大な河川を涵養するに至る。

三、アンデス山脈と交通 此の嵯峨たる大山脈は交通に至大の影響を與へ、即ち鐵道の敷設を困難ならしめ、漸く之を横斷して今や一線あるのみ(智利・亞爾然丁間)、且高原には羊駝・駱馬等で貨物を運搬するに過ぎない。

四、アンデス山脈と産業 山脈の大部分は礫積なる地味が堅硬な岩石で、森林の叢生にも有利ならず、僅に灌木・雜草・蘚等の生育せるに過ぎない。従つて山脈の大なるほど、林産又は農産の地にあらず。されど産業上好都合のことなきにあらず、即ち大高原は牧羊の天賦の地で、前記の羊駝、駱馬等の生育繁殖多く、尙偉大なる礦物の埋藏地である。金・銀・銅等所産し、智利の銅のみにて年額二千五百萬圓年額に上る、各種礦産は恐らく一億圓に上るであらう。

五、アンデス山脈と文化 此の偉大な山脈は前記の如く交通産業に影響があるので、概して人文の發達に多少の影響なきにあらずだが、或る山中の一高原の氣候清冷産業豊富の處には却つて早く開けて特異なる文化のインカ帝國の如きものを建設するに至る。此れ一に山脈が自然の要害となつて保護せし結果と云ふべしである。

●東臺部地 一に大西洋高地とも稱す、アマゾン河下流の北方にギヤナ山地がある、其の南部にブラジル山地がある、其の高さ千米乃至千五百米の臺地である。廣大な地域を爲し大西洋岸に近き所稍々峻峻である。

●中央大平原 本地域は頗る低卑なる平原で、南北に甚だ長く、北はオリコ河谷からアマゾン河畔及び南はラプラタ河谷から本洲の南端まで達し、南亞米利加洲の全面積の大部分を占めてゐる。此の大平原を大體分ちてリアノス(Llanos)、セルヴァス(Celvas)、パンプス(Pampas)、パタゴニア(Patagonia)等とす。  
リアノス(原野) オリノコ河流域の平野で草原茫茫として滿野牧草緑を敷き、乾季(北東貿易風季)には萬物枯死するのであるが、雨季(南東氣候風季)は滿野水溢れて全く海の如く、其の水減退すれば芳草離々として數丈に達し、良好の牧場である。「リアノス」とは西班牙語で「原野」の義である。  
セルヴァス(林原) アマゾン河流域の沖積平原の頗る廣大の地域で、殊に植物の繁茂盛で、殊に上流河域全部の無涯の平野は鬱々蒼々として天日尙暗く斧斤萬古に入りしことなく、世界無双の森林である、所謂「セルヴァス」とは西班牙語の(林原)の義で其名にふさわしき地である。

尙セルヴァスと南パンプスとの間にグランチャコ(Gran Chaco)と稱する平野あり、雨季(十月より三月まで)に綠草野を掩ひ美花咲き亂ると云ふ。

パンプス(平原) コロラド河以北の低卑なる河成沖積層の平野で、北はラプラタ河の灌域に涉つて、アルゼンチン國の中央部なる廣漠なる草原である。雨季(九月より四月)は牧草繁茂して牛・羊の大牧場であるが、寡雨期(五月―九月)は綠草枯れはて、一面の荒野となる。「パンプス」とは南米印甸人の稱呼で「平原」の義である。

パタゴニア(平原) パンプス平原の南、ネグロ河谷以南から本洲の南端に至る地方を稱し、稍々高臺性を呈し、砂礫から成る所多く南米第一の砂漠地を爲す。一部には土壤にて成り、草原となつて好牧場がある。

【河流】 本洲の排水界を分ちて、カリブ海系、大西洋系、太平洋系の三となす。太平洋系に屬するものは海岸に迫る山脈があるので全く長大なる河流はない。カリブ海、大西洋に注ぐものも重なるものは、

マグダレナ河(Magdalena) 本洲の西北部コロンビヤにありて、南方のアンデス山麓に發し北流して、別に支流カウカ河を併せて海に入る、(流程三六〇里)、ホンダ(Honda)まで汽船の便が

あり、河畔は土地豊饒で人口稠密である。

**オリノコ河 (Orinoco)** コロンビアの東方から發源し、東北流して、南方から有名なカシキアール河 (Casiquiare) を入れ、略々東流して河口に一大三角洲を築きて海に入る、(全長約六〇〇里) 河口から百里まで大船を通じ、上流所々に瀑布あるも、それを避けて三百里も小舟を通すべし。灌域は大平野で所謂リアノスで雨季には綠草繁茂し好牧場である。

**アマゾン河 (Amazon)** 源をアンデス山間に發し、上流は急湍瀑流を爲し、ウカヤリ河を合せてブラジルに入るや廣濶な大平原となり、數多の長大なる支流を容れ溶々として東流し、マラジヨ島を抱いて海に注ぐ、(全長一、二二〇里) 世界第三の長流で、其河幅の廣き水量の豊富なることは實に世界第一である。本流だけで約九百二十里本支流を合せて約四千四百里の間汽船を通じ、「南米の地中海」の稱がある。灌域は有名なるセルバス(林原)で一望無涯の森林であるので、未だ人文の開發に寄與することが出来ない。

○【英國巡洋艦の湖上】 明治四十二年に英國巡洋艦ペロラス號は噸數二一三五噸で、本流を溯りて遠くペル

ラプラタ河 (La Plata) アルゼンチンとウルグアイ國との間に注ぎ、本河は巴拉ナ河、パラグ

アイ河、ウルグアイ河等の合流する一大江と云ふべしである。(全長一、〇〇〇里)、河口は世界第一の大三角江を造る。舟楫の便甚だ大で、殊に本河の最上流から、距離僅に三哩でアマゾン河の支流のマデイラ河の上流なるグアボレノ河と連絡することが出来ること云ふ。本河の上流灌域はグランチャコ平野である。

**湖沼** 本洲には湖沼の數少く、従つて大なるものなし。唯々西部アンデス山地にチチカカ湖 (Titi Caca) (面積五四三方里) あり、洲の西北部にマラカイボ湖 (Maracaibo) あり、此れは一箇の海灣と見るべきである。

【海岸】 本洲は海岸線頗る單純で、海灣岬角稀れに、地形は恰も不等邊三角形のように、亞弗利加洲と相似てゐる。

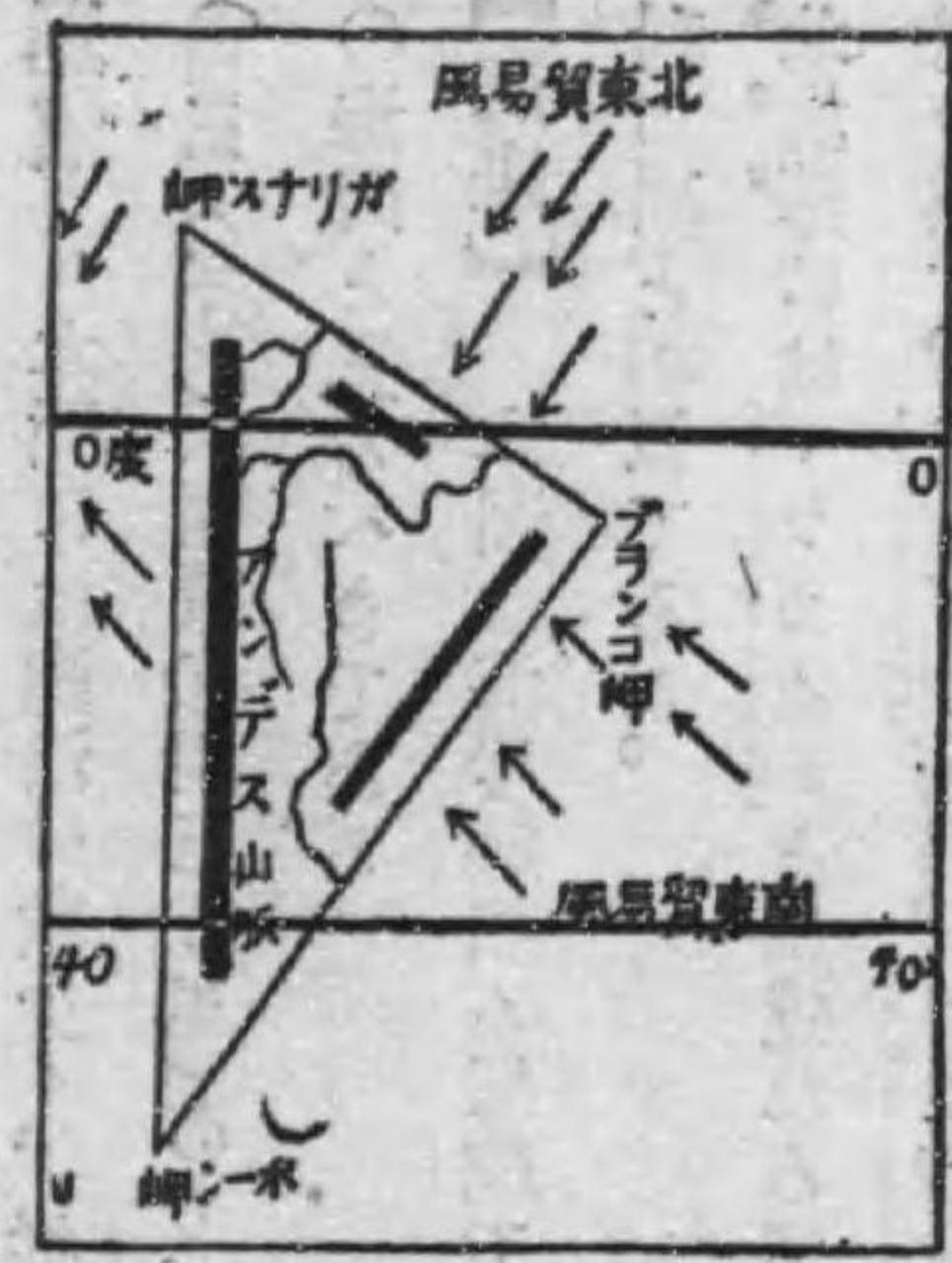
北海岸にはマラカイボと相連れる不完全なるベネズエラ灣がある、其の外東海岸多くは河口に江灣を爲す、アマゾン河口、ラプラタ河口等の外大灣入がない。

西海岸はアンデス山脈が急に海に迫るので、海岸絶壁を爲し、懸崖峭立(ケルゲリン)として、海底深けれき港灣稀れに、唯々智利の海岸は峽灣式の屈曲と無數の島嶼とを散點するのみ。本洲の南端とチラデルフエゴ島との間には有名なマジラン海峡がある。斯く本洲の海岸の状態は交通貿易

の發達を遅々たらしめ、文化を阻害(阻害)し、以て世界に稀なる豊富の富源を開發すること困難ならしむるのである。

【氣候】

本大陸の北部を赤道通過するので、本洲の約三分の二は熱帯性氣候である、されど亞



南亞米加利貿易風圖

弗利加に比して著しく溫和である。此れ貿易風の爲めに雨量多く、セルバスの如き大森林を造り、アマゾン河の如き大河を涵養するのである。されど高原地方は氣候溫和で、繁盛なる都會が建設せらる。(ボゴタ、キトリ、ラバズ等) アンデス山脈の西斜面には雨量少く、砂漠(アタカマ)を造るところがある。

◎【本大陸と亞弗利加との比較】 本洲と亞弗利加とは共に

- 一、本大陸は東南及び北東貿易風の影響で雨量甚だ多い。
- 二、本大陸には森林鬱蒼として繁れるが故に太陽光線の直射を少からしむること。
- 三、本大陸には高原地少からず、そこには溫帶的氣候あること。

四、本大陸の西海岸は寒流(ペルー海流)に洗はれること。

【天産】 植物

北亞米利加洲と同じく特有の生物少くない。即ち高温多雨なる赤道地方には大森林ありて、マホガニーの良材、護謨等を出し、其他アンデス山地方には規那、コカ等を生じ、又珈琲の産は世界最多にして、其他カカオ、椰子、龍舌蘭、大蓮及び各種の農産



規物がある。動物は寧ろ多種ならざれど、殊にピューマ(亞米利加獅子)(北亞米利加の二三四頁に記す) ジャグアル(亞米利加虎)の如き猛獸、駱馬、羊駝の如き有角畜類を初め偉大なコンドル鳥、微小な樹懶、蟻喰獸等も特生で、また大

鮮雀(北亞米利加二三六頁)がある。其他アルマジロ(鎧狸)、樹懶、蟻喰獸等も特生で、また大蛇、鰐魚等も多い。そうして近時盛に飼養せられる牛、羊等は白人が移入したものである。

礦物 礦物は北亞米利加洲よりも少く、殊に鐵、石炭に乏しく、唯々多産なるは金、銀で、又

銅・硝石は古來有名である。

○【規那】 アンデス山地方の特産、樹皮を規那皮と云ひ、之れから規尼涅と稱する薬品を製す、今は瓜哇及び印度にも栽培せらる。



カ

○【コカ】 古加科の灌木、其葉から薬料コカインを製す、局部を癡酔せしむるに用ひ、船暈、胃痛、嘔吐等の鈴静薬である。

○【カカオ】 (Cacao) 梧桐科の喬木、アマゾン河畔の森林より、北は墨西哥にも産す。殊にエクアドル及び西印度は最も多く産す、樹の高さ一丈五尺乃至一丈八尺、果實は大で卵状長楕圓形を爲し、長さ五寸乃至八寸、形は絲瓜(ヘチマ)の果實に似てゐる。多肉にして熟すれば橙黄色、又は赤褐色となり、樹幹又は枝より下垂す、堅くして厚く、内部は五房に分かれ、累累として五十箇乃至百箇の種子を蔵す。カカオ豆、又は生カカオと稱し、此の種子を乾したるをチョコレートビーン (Chocolate bean) と呼び、又種子を炒りて碎き粉末としたるをココア粉と云ふ、此の粉末を煉り固めたるものは飲料のチョコレートにして之れに砂糖と少量のヴァニラ (Vanilla) と黄色の色素を混じり香味とを加へ且着色す、菓子に製し又は湯に溶かして飲料となす。脂肪、蛋白質及澱粉を含み滋養に富む。



實果及オカカ

○【大蓮】 ビクトリアアレギナ (Victoria regina) と、譯して大蓮と云ふ。

アマゾン河を始め、諸大河の流水溜滞せる所に生じ、其葉は直径三尺に達するものがあり、人其上に載るも沈まずと云ふ。其の花は植物中の最大なるものである。

○【ジャガアル】 (Jaguar) 食肉獣で身長約五尺、虎に似て毛皮は斑紋あれども美麗ならず、肉も美味ならず、力強く好んで草食の野獸を食し又は人に害を與ふること妙からず。一に亞米利加虎と稱す。

○【駱馬】 (Lama) 一に無峯駱とも譯す、毛が長く尾が短い、性質柔順で山間の貨物運搬に必要なものである、肉は食用に供し、乳は飲用すべきのみならず、毛は織物の原料となる。

○【羊駝】 (Alpaca) 譯名羊駝によりて其形を推知すべし、即ち羊に似て頸長く、耳長くて尖れり、毛は通常黒くして細長く著しき光澤があり弾力性に富む、之を原料としてアルパカ織を製す、夏季の裏地又は服地

に可なり。

○【コンドル】(秃鷲) (Condor)

猛禽類で二千米乃至五千米の高山に棲み、灰色の羽毛、犀銳の眼光、美冠



ジャグワ



コンドル

の頭、白環の頸、眞個飛鳥中の怪王である。その大なるものは嘴尖より尾端まで僅に六呎に餘り、一度双翼を張る時は長さ二十餘呎を測るべし、一搏しては能く牛羊を中空に掠め去り、餌に飽いては蒼空に高翔

して好んで雪線に入る。

○【アーマディロ】(Armadillo)

一に犛<sup>ユウ</sup>と云ふ、貧齒類の頗る奇異の獸、背は數多の骨質小板より成る、甲を被り恰も鎧を着けたるが如し、故に鎧狸とも云ふ、自ら土中に穴を掘りて其内に棲み、夜間出で、食を求む、其の肉美味なり。

○【樹懶】(貧齒類で、形狀猿の如く、前肢後肢共に鉤狀の爪を有し、木に攀づるに適す、常に樹上に棲み、其運動甚だ遅緩である。)

○【蟻喰】(哺乳類中の貧齒類に屬する獸、南米の熱帶地方に産す、體の全長六尺許、口吻尖り、其長き尾に長き毛を生ず、全く齒を有せず、舌は長くして粘液を分泌し、自在に伸縮す、重に白蟻を甜め食す。)

○【大蛇】(Boa) 蛇類中最も大なるもので、其の長さ二丈に及ぶものがある、人畜に其害を及すことあれども其皮は以て裝飾用に供せらる。旅人誤て彼に近くときは乗馬共に絞殺せらるゝことあり、常に熱帶の森林叢間に棲み、又は樹枝に懸垂し、食餌近ければ躍つて之を絞殺して後ち嚙下す、食に飽けば眠り、饑餓に迫れば覺醒すといふ。

## 第二章 人文地理

【住民】

南亞米利加の人口總數は約六千六百萬人で、每一方哩の人口僅に七人餘(一方里に五

第二章 人文地理

十餘人)に過ぎない、本大陸が面積の廣大なるに比し、人口の寡少なる實に驚くべく、此れ地勢・風土等の地理的影響を受くるによるものである。

住民の種族は歐洲人は三分の一を占め、印甸人六分の一、黑人七分の一で其他は殆ど混血種(印甸人と歐洲人との雜種)である。

**歐洲人** 本大陸發見以來盛に移住したもので、伯刺西爾には葡萄牙人、其他の地方には西班牙人がる。北米の墨西哥以南と共に總べてラテン系の民族であるから之をラテン・亞米利加と稱す。近時伊太利人、獨逸人等の來り移住するもの多く、又日本人も伯刺西爾地方其他に移住せるものがある、即ち伯刺西爾に三萬九千二百四十九人(大正十二年六月末)其他の地方に一萬二千七百五十八人ある。

**印甸人** 本土の原住民で、現今は多く山地に住し、今尙野蠻の状態で弓箭を使用し、水澤山間に魚獸を捕獲するに過ぎない。又同族のバタゴニア人は本洲の南部にありて最大(身長平均五尺九寸)の人類と稱せられ其の東部のテラデルフゴ人と共に今尙石器を使用する蠻民である。印甸人は嘗てアンデス山中でインカ帝國を建設して稍々文化の見るべきものあつたが、侵入の西班牙人の爲めに征伏せられて、後遂に西班牙人と雜居し所謂雜種たるメスチゾ族(Mestizo)を造つた。

又東部地方には奴隸として亞弗利加から輸入した黑人の子孫が多く、また黒人と白人との雜種であるムラット族(Mulattoes)も多い。

○(南米の人口の密度と日本) 南米の陸土は我が國の二十六倍する面積を有し、人口は一方里で僅に五十六七人に過ぎない。此れを我が國の一方里内地二千二百二十五人、(帝國全體の千七百四十四人)に比すれば霄壤の差がある、假令アンデス山脈が蜿蜒し、土地礫礫不毛に屬する所多きも、數多の大平原肥沃の河畔には將來尙幾倍の人口を容るべく、中にも伯刺西爾には邦人を歓迎してゐる。要するに本洲は邦人の今後の移住地としては實に看過すべからざる地方である。

**【産業】** 本大陸は自然力の偉大に過ぎて、之を開發し利用するには人口、交通等未だ充分でない。即ち洲の北部アマゾン河流域は前人未だ到らない鬱鬱たる密林で、所々に蕃族がゐるに過ぎない。或は北部のオリノコ河畔、南部のバムパス、バタゴニア地方等でも一望無限の廣野で人口極めて少く開拓は今後に屬すべし、されど天然の資源甚だ大であれば、將來大發展を爲すのは遠くあらぬであらう。

**農業** 世界の大農場大牧場として珈琲・小麥・玉蜀黍・樹膠・ココア・綿・護謨・甘蔗を産し、殊にブラジルの珈琲は世界總産額の七割を出す。又アルゼンチンの麥も産額多く「世界の穀倉」



と稱せらる。

牧畜は北部のリアノス及び南部のバムバスの平原に盛で、舊世界から輸入せられたれき牛・馬・羊等の飼養多し、殊にアルゼンチンは羊毛・肉類の産地として世界に名がある。西方アンデス山の高地には羊駝、駱馬を飼養し、其絨毛を供給す。

**林業** 既に屢々述べたようなアマゾン河畔の大森林地の林原があるのだが、未だ開拓充分でないが、護謨・マホガニ・染料其他有用の木材を出す、殊に護謨は其産額世界第一と稱せらる。アンデス山中にはコカ・規那等の薬用植用がある。

**鑛業** アンデス山地方は鑛業盛に、ボリビアの錫・銀。智利の硝石（世界第一）・銅。ペルーの鳥糞、銀等は名高く、又ブラジル地方は金剛石の産で有名である。

**【交通】 河運** 高峻絶大なアンデス山脈と廣漠無比な大森林とは大に交通の障害となつてゐるが、アマゾン、オリノコ、ラブラタの三大河川は水量多く流れ寛に、内地交通の大動脈と云ふべきだが、灌域繁盛の都邑少き爲め其の利用未だ充分でない。

**鐵道** 前記のアンデス山を横断して今や鐵路通じ、又南北縦貫の汎米鐵道の連絡せられんとしつつあるので、漸次陸上の交通に一變化を與ゆるであらう。

**海運** 海運は大西洋には本洲は食糧・鑛物・其他の原料品を輸出し、織物・機械・石炭・鐵等を輸入するので歐羅巴洲及び北米との間に盛で、英・佛領等の汽船の往復繁く、太平洋岸には船舶の往來割合に寂寥たれき我が三大汽船會社の汽船は近時南米航路を開き一は遠く西航して大陸の東岸に達し、一は東航して大陸の西岸に到るものがある。

**電信** 海底電信は本洲の沿岸各地に通ずるの外遠く歐洲北米及亞弗利加に達してゐる。

○【アンデス横断鐵道】 智利のバルパライソからアルゼンチンのブエノスアイレスまで千四百三十軒（三五七里）でアンデス山を横断する所は三千米の高所に數多の隘道がある。

○【汎米鐵道】 (Pan-American Railway) 汎米鐵道とは、合衆國の紐育から墨西哥に至り中央亞米利加を経てアンデス山地を通じブエノスアイレスに至る約一萬六千五百軒（四、一二五里）の鐵道を云ふ。以上の内北米の墨西哥まで開通せるので、中米及アンデス地方のみで早晚完成するのであらう。

○【日本郵船、大阪商船會社南米航路】 神戸—長崎—香港—新嘉坡—ケープタウン—リオデジャネーロ—サン

トス。  
○【東洋汽船南米航路】 香港—門司—神戸—横濱—ホノルル—ヒロ—桑港—ボトローザンジュルス—マンザニョ—バナマ—カリヤオーモリエンド—アライカイキターバルパライソ。

【國勢】 本大陸は今から八九十年前までは總べて羅甸民族の殖民地であつたが、一八一〇年智利先づ反旗を翻し(獨立は一八一八年)、他の諸國も悉く之に習ひて獨立を計り、今や唯々北部のギアナ地方を除く本大陸は十獨立國となつた、そして獨立國は皆共和制である。今其邦國の名と首府とを擧ぐれば左の通りである。十共和國の内ウルグアイとベネズエラとを除く外は皆我が條約國である。

國名	首府	國名	首府
コロンビヤ	ボゴタ	エクアドル	キトー
ペルー	リマ	ボリビヤ	ラパス
智利	サンチャゴ	亞爾然丁	ブエノスアレイレス
パラグアイ	アスンシオン	ウルグアイ	モンテビデオ
伯利西爾	リオデジャネロ	ベネズエラ	カラカス
英領 ギアナ 佛領 蘭領	ジョージタウン パラマリボ カイエンヌ		

英領 フォークランド  
南ジョルチヤ群島

○【南米と自然人事】 南亞米利加洲は歐羅巴洲及び亞細亞洲に比して何が故に文化運々たる有様であらうか左は其の原因と見るべきものであらう。

- 一、海岸線の單調。
- 二、氣候の不良。
- 三、自然力の過大。
- 四、山脈大に過ぐ。
- 五、河流大に過ぐ。
- 六、平野大に過ぐ。
- 七、森林大に過ぐ。
- 八、鑛産(石炭、鐵)比較的少い。
- 九、交通比較的に不便。
- 一〇、陸上。
- 一一、海岸。
- 一二、歐羅巴に遠い。
- 一三、羅甸人の移住地。

○【練習問題】 一、南亞米利加の地勢について記せ。二、南亞米利加の河流について記せ。三、南米の地勢の特色について記せ。四、世界最大の山脈。五、世界最大の河流。六、世界特異の平野相。

- 一、南亞米利加の農業、牧畜、鑛産について記せ。
- 二、左につきて記せ。(イ)アルバカ。(ロ)硝石。(ハ)マテ茶。(ニ)リアマ。(ホ)カカオ。(ヘ)グアノ。
- 三、南亞米利加の住民について記せ。
- 四、南亞米利加の交通について記せ。
- 五、南亞米利加の國名と首府とを記せ。(早大、檢定、高檢、專檢、選信、陸士、東商、海兵)

○考察問題 ●アンデス山地の經濟的價值について研究せよ。●南米の將來の經濟的價值について考察せよ。

●南米が富源大なるに拘はらず比較的發達遅きは如何なる理由か。(本文三五頁)●本洲が一時西班牙、葡萄牙の領地たりしが、今や悉く獨立してしまつた、此れ殖民政策上研究すべき好資料であらう。●南米の人口と日本との關係について一考せよ。

## 第二章 地方誌

### 第一節 北部地方

本洲の北部地方を占め、西は太平洋岸から、東は大西洋岸に洗はれ、北はカリブ海に瀕してゐる。コロンビア・ベネズエラ・ギヤナ地方である。即ち西部のアンデス山脈から、東部のギヤナ高地に亙り、オリノコ河・マグダレナ河其間を灌溉し、土地概ね熱帯地方に屬す。されど土地の高低によりて氣候は寒温熱の三帯となる。従つて生物産業も自ら熱帯植物の(千米以下の低地)甘蔗・護膜カカオ・椰子から珈琲・玉蜀黍・烟草の温帯植物(三千米の高地迄)に及び、更に高地には寒帯植物となる。

#### 第一項 コロンビア(哥倫比)(Colombia)

【總説】 コロンビア共和國は本洲の北西隅を占め、北はパナマ共和國と連る。面積百十四萬方

軒(七四、〇〇〇方里)、人口五百九十萬あり。東部平野は所謂リアノス地方で農業牧畜に適し、砂糖・珈琲及び牛・馬等は此の國の富源である、西部のアンデス山地方は白金・金・銀及び綠玉(寶石)の産がある。又岩鹽が無盡藏と稱せらる。

マグダレナ河は此の國の重要な交通路でホンダまで汽船上下す、ホンダから鐵道の便がある。

【都邑】 ホゴタ(Bogotas) 國の中央、海拔二千六百三十二米、世界で高所の都會の一で、四季を通じ春のように風光又明媚である。ホンダと鐵道の便あり。

バランキリア(Baranguilla) マグダレナ河口近きにある、當國商業の中心である。

#### 第二項 ベネズエラ(Venezuela)

【總説】 本洲北端の一大國で、哥倫比亞の東に接し、北はカリブ海に臨む、面積百〇三萬四方軒(六七、一四〇方里)人口二百八十萬人。國の中央にオリノコ平原横はり、所謂リアノス平原で牛・馬・羊・山羊等の牧畜盛で、又此地には珈琲・ココア・甘蔗・玉蜀黍等を産す。北部にはアンデス山脈の支脈蟠り、南部にはギヤナ山地連互す。山地からは護膜・木材・金等を産す。マラカイ

ボ湖沿岸は別に一區を限りておる。

【都邑】 カラカス (Carcass) カリブ海岸に近きも一千米の高所にあり、大迂回鐵道でラグアイラ港に通ず。(兩地の距離六哩鐵道は二十三哩)此國の首府である。附近は盛に珈琲を産す。

### 第三項 ギヤナ (Guiana)

【總説】 此の地はベネズエラの東に隣りし、英・佛・蘭の三國に分領せられて、本洲で唯一の外國領土である。面積は英領二十五萬方秆(一六、〇〇〇方里)、蘭領十三萬方秆(八、四〇〇方里)、佛領八萬方秆(五、一〇〇方里)、人口英領三十萬人、蘭領九萬人、佛領五萬人である。地勢は南方は所謂ギヤナ山地に屬して臺地であつて、北部に至るに従ひ低平となる。平地には甘蔗・珈琲・カカオ等を産し、臺地には熱帶林繁茂して開拓未だ進まない。山地には砂金の産がある。

【都邑】 ジョージタウン (Georgetown) 英領の首府で、海面下に位し石垣で防波堤を築き和蘭に似ておる。

パラマリボ (Paramaribo) 蘭領の首府である。

カイエンヌ (Cayenne) 佛領の首府である。

◎【練習問題】【考察問題】 北部地方は次ぎの伯刺西爾の後三六〇頁に記す。

## 第二節 伯刺西爾 (Brazil)

【境域・面積】 伯刺西亞は本洲の東北部を占めた、南米第一の大國で又世界第七の大國で、面積八百五十三萬三千方秆(五五三、〇〇〇方里)に上り、我が日本の約十二倍である。そうして其の境域はエクアドル、智利を除くの外總べて本洲の諸國と相接してゐる。

【地勢】 此國の地勢を分ちてアマゾン河畔平原・ブラジル高原とす。(南亞米利加の地勢三三三頁参照)

アマゾン河畔平原 國の北部アマゾン河畔は世にセルバス(林原)と稱せられる大平原で、廣さ東西千二百里南北八百里に上る。實に廣漠たる大森林で、草原・砂地全くない。然し河畔は水運甚だ便利だが濕潤と高熱とで健康に適せず。人口稀れに都邑少く、人文の開發遅々たる状態である。

ブラジル高原 國の東部を占めた、其の高さ一千米乃至一千五百米の臺地で氣候良好で、白人

の移住に適し、重要な生産地域が少ない。

【氣候】 赤道は國の南部を通過するので、大部分は熱帯地方で概して炎熱であるが、沿海、平野・高地によりて多少異つてゐる。即前記のアマゾン河畔は暑氣烈しく又濕氣多いのであるが、南方海岸の低地は稍々溫和である。

降雨はアマゾン河畔に多くマラニョン地方では一ヶ月七千四百耗に上る。

【産業】 農業 産業の最も盛なのは農業である。此國は氣候・地味・平野・灌溉及び植物の發育の狀態に至るまで世界の大農業國たるに適してゐる。殊に珈琲の栽培は最もよく行はれ東南部のサンパウロ地方は甚だ盛で、其の産額は年平均千二百萬袋（一袋百三十二封度入）世界全産額の約七割を出し、此國第一の富源である。其他甘蔗・綿・烟草・カカオ等の産がある。近時米作も南部地方に行はれ我がブラジル拓殖會社それが耕作に努めて將來有望なりと云ふ。

牧畜業 斯業も亦盛大で牛・羊・山羊等の飼養尠からず、従つて皮革の産甚だ多い。

林業 林業も亦多望でアマゾン河流域のセルバスは多大の木材及び護謨を出し、其他染料・藥材・植物象牙（實の皮殻から卸を作る）等の産がある。殊に護謨は最も良質で多産で、世界の需用の半は此國から供給し、珈琲と共に此國の二大産物と稱せられ、パラ港から輸出し世に「バラ護謨」として有名である。

鑛業 東部の高地からは古來有名な金剛石及び金の産出がある。近時サンパウロ附近に豊富の鐵礦存在するので製鐵業（リベロンプレートにて）を起した。

工業 工業は未だ幼稚であるが、各種の原料豊富であるから、將來は實に有望である、近時盛なるものは綿絲・紡績業である。

【住民・政治】 人口は三千六十四萬餘人で、其密度は一方哩につき僅に八人で、實に我が國の四十分の一に過ぎない。

住民は葡萄牙人の子孫最も多く其他亞米利加印甸人も少くない。次は黒人及雜種である。斯の如く人口少く、産業有望で一方には政府の保護あるを以て伊太利・葡萄牙・西班牙・獨逸等から移住するもの多く最近三十年間に三百餘萬人の移住民を迎へた。近時日本人も漸次渡航し、今や四萬餘に上り尙漸次渡航しつゝある。

◎【伯刺西爾と日本移民】 伯刺西爾移民は我が海外興業會社の取扱で（伯刺西爾の珈琲産出の盛なサンパウロ州政府から渡航費の補助がある）渡航するもので、南亞弗利加廻りの移民船で、サンパウロ州の門戸たるサントス港に達し、特別汽車でサンパウロ市の移民收容所に到着し、各珈琲園支配人と勞働契約を締結

して、各珈琲園にて働くもので、其の主な仕事は珈琲園の草採りである。其他の特別の仕事は爲せば又特別の報酬がある。斯くして数年間働けば自ら土地を買つて珈琲園を耕作することが出来る。今や日本人の所有する珈琲樹は一千萬本を越へ、外に米田を作り、棉・豆を植へ牧畜等を爲すものがあり、日本人が初め移住したのは一九〇八年でまだ十七八年に過ぎないが、成功者尠くない。日本人の最も多く住する所はリベロンプレート (Belizão Prate) を中心とする地方である。大正十二年六月末の日本人總數三九、四二九人に上れば目下は四萬五千人に達するであらう。(大正十四年十月)

政治は立憲共和政體で、二十一州の直轄地から成る合衆國である。此の國は久しく葡萄牙の領土であつたが第十九世紀の初め獨立して皇帝を戴き、後一八八九年に革命起り、共和政體となり伯刺西爾合衆國を組織した。我が條約國である。

【都邑】リオデジャネイロ (Rio de Janeiro) 東南海岸の良好潤大なりオデジャネイロ灣に臨み、人口百十六萬、南米第二の大都會である。市街は清麗宏大で、此國の首府で、灣内風光絶佳で世界三大景と云ふ人がある、珈琲の輸出盛である。此地不健康地であるから、其の北方の高原上にペトロポリス (Petropolis) がある、避暑地として、我が大使館總領事館を初め各國使臣もここに駐在す。

【サンパウロ】 (Sant'Paulo) 珈琲栽培の盛なサンパウロ州の首都で、人口五十萬、當國第二の都會である。珈琲の集散甚だ盛に、此の附近に邦人の移住が多く、何れも珈琲栽培に従事す。又伊太利人多く世に新伊太利の稱がある。我が總領事館がある。此總領事館内の本邦移住民二四、六二二人(大正十二年六月末)に上り其の分館はリベロンプレート (Ribeirão Preto) にあり、本市及附近の日本移住民三、三七人(大正十二年六月末)あり。パウロ (Bauru) にも我が移住民が多い、其の附近と共に一四、三六六人(大正十二年六月)に上る。

【サントス】 (Santos) サンパウロ州の門戸に當り、珈琲の輸出盛なこと世界第一である。リオデジャネイロと共に我が大阪商船、日本郵船會社南米航路の寄港地で、我が移民は多くこゝに上陸す。本市及附近の日本移住民五、七九六人(大正十二年六月末)あり。

【バヒヤ】 (Bahia) 東海岸にありて、人口三十五萬、此附近は農業盛であるので砂糖・綿・烟草・珈琲等を輸出す。

【ペルナンブコ】 (Pernambuco) 東北海岸にあり、南米で最も歐羅巴に近き良港で砂糖・綿の輸出盛である。此地は歐洲及び亞弗利加と海底電線相通す。

【ベラ】 (Para) トカチンス河口に近く、良港で風光美である。「ベランヤ (Belem)」と稱し、護

護の輸出盛に、世にパラ護護の名あるは此地から盛に輸出せられるからである。  
マナオス(Manas) アマゾン河の中流で、ネグロ河の會合する附近にあり、大汽船の航遊自由で、護護の輸出盛である。

- 【北部地方及練習問題】一、アマゾン河の交通について記せ。二、哥倫比亞の主要産物について記せ。三、伯刺西爾の地勢について記せ。四、伯刺西爾の産業について述べよ。五、伯刺西爾と我が國との關係につきて述べよ。六、下の地について知れることを記せ。(イ)ホゴタ。(陸士、山商)(ロ)カラカス。(ハ)グアヤキル。(文檢)(ニ)サントス。(文檢、神商、東師、檢定)(ホ)サンパウロ。(文檢、廣師、海經、東商)(ヘ)リオデジャネイロ。(小商、東亞、海機)(ト)パラ。(文檢、外語)(チ)マナオス。(文檢)
- 【北部地方及考察問題】一、サンパウロ港發達の理由を考察せよ。二、我移民地として伯刺西爾が適當なるや否やを考察せよ。三、伯刺西爾の産業が世界に於ける位置を研究せよ。四、我が國から伯刺西爾に渡航する近路について考察せよ。

## 第二節 南部地方

本洲の南部、アンデス山脈以東の地で、パラグアイ、ウルグアイ、亞爾然丁の地方で、唯々緯度

上から見れば智利も南部地方と云ふべきも、全くアンデス山脈で劃られてゐるので、此れを省く。土地概ね廣漠たる平原で、多くはグランチャコ、パムパス、バタゴニヤの三平原に屬して、ラブラタ河、コロラド河の灌域で、有名なる牧畜の盛なる地方である。南部は降雨少く乾燥地であるが、北大半は概ね溫和である。

### 第一項 パラグアイ(Paraguay)

【總説】 パラグアイは南米の中央部にありて、北及北東は伯刺西爾、ボリビアに南と西とは亞爾然丁に隣接する無海の邦土で、面積二十五萬方軒(六、二〇〇方里)人口百萬人である。パラグアイ河は國の中央を灌流して東南境をかぎれるバラニヤ河、西南境を流れるビルコマヨ河は共に南流してラブラタ河となる。斯く河流に狭まれるので「南米のメソポタミヤ」と云つてゐる。國の東部は高臺状を爲せき、河岸は低平に豊饒で、牧草繁茂又耕作に適してゐる。西部のグランチャコも亦低平で良好の牧場がある。斯る地勢であるので牧畜甚だ盛に、河畔の肥沃地にはマテ茶・甘蔗・烟草・果物等が栽培せられ、中にもマテ茶は著名の特産物である。又森林には良材を産す。



茶

○【**茶**】 イエルバマテ (Yerba mate) 又は冬青茶と云ひ、又バラグアイ茶とも云ふ、終に似た常緑灌木で、茶を製するには若葉の枝を伐り小屋の屋根に掩ひ(小屋の上は骨のみ)、香氣を有する樹を小屋内に焚きて其葉を乾燥せしめ後粉末とす。之を飲用するには其粉末を茶碗に容れ、之に熱湯を注ぎ茶、眞鍮又は銀管の管にて之を吸ふ、強壯劑に用ひ、又南米人は朝食としては此茶のみを使用すること多し。此國の外ブラジルにも多少の産がある。

政治は共和政體で、近時我が國と通商條約を結んだ。

【**都邑**】 **アスンシオン** (Asuncion) **バラグアイ河**と**ビルコマヨ河**との會合點の東部に瀕し、當國の首府で汽船の往來繁く、附近は南米の**メソポタミヤ**と稱せられた肥沃の平野である。

## 第二項 ウルグアイ

### 【總説】

南米の東南隅の本州最小の邦國で**ラプラタ河**の三角江に沿ふ。面積十九萬方呎(一二、三〇〇方里)、人口百五十萬餘人。

地勢は大河の流域を占め又海に瀕するので地勢平坦で牧畜甚だ盛で、人口に比して牛・羊等の飼養頭數の多きこと世界第一である。従つて肉類・肉エキス・羊毛・皮革等は重要輸出品である。

○【**肉類**・**肉エキス**】 肉類とは牛肉の乾肉又は鹹肉等のこと、肉エキスとは牛肉を熱湯の内に入れて脂肪を去り之を煮つめて糖蜜のようになし、陶器の壺に入れて之を販賣す、滋養食料で病後等に用ひて特効がある。

政治は共和政治で、我が條約國である。

【**都邑**】 **モンテビデオ** (Montevideo) **ラプラタ河**の下流北岸に沿ひた良港で、此國の首府である。歐洲各國の汽船の出入多く、畜産物(肉類・生牛・獸脂等)の輸出甚だ多い。

## 第二項 亞爾然丁 (Argentine)

【**境域**・**地勢**】 亞爾然丁は南米の南部を占むる大國で、西は**アンデス山脈**でチレと背中合せを爲して、東南は一帯大西洋に臨む。

面積二百九十八萬方呎(一、九三八、〇〇〇方里)で南米第二の大國、我が國の四倍半餘に上る。此



の國の北端は我が臺灣と對蹠地(足のウラが)を爲してゐる。  
地勢は西方はアンデス山脈の高嶺で限り、東方は大西洋に向つて傾斜し、大部は廣漠たる平野で、  
即ち東北部はチャコと稱し、森林鬱蒼として茂り中部はバムバスと云ふ草原で芳草離々たり、南  
部はバタゴニアの荒地である。此の荒地には巨人バタゴニア族遊牧す。國の南端はマゼラン海峡  
となつてフェゴ島と相對す。

【氣候・産業】 氣候 本國は北方のポリビヤ國境から南方のテラデルフ・ゴ島に至るまで、  
長大な地域を占むるので氣候は一樣ではない。即ち北部は稍温暖で南部は冷涼である。されき殖  
民に適し、農業・牧畜等發達すべき状態である。

産業 全國面積三分の一は地味肥沃で農牧に利用すべく、即ち本國の牧畜業は世界に有名で實  
に最要の資源である。殊に羊の多きこと濠州に次いで世界第二位である。其他牛・馬の飼養も盛  
に人口一人につき家畜十五頭に上り、凍肉・乾肉・皮革・羊毛等は重要輸出品である。

農業は小麦・玉蜀黍・葡萄・亞麻仁等を耕作し、殊に亞麻仁は世界總産額の三分の二を出すと云  
ふ。小麦も亦盛に輸出せられ北米を凌ぐとする有様である。

【交通】 産業の隆昌と氣候の温和とにより交通機關の發達せることは南亞米利加第一である。

殊に鐵道は既に南米唯一の東西横斷線は智利のバルライソからブエノスアイレスに来て、又西  
北に向つてはポリビアに連絡し、且つ南方のバヒヤブランカ(Bahia Blanca)からも西方に向ひ、  
將に太平洋に出んとしてゐる。

水運の利便も亦よろしくラプラタ河は定期汽船上下して伯刺西爾まで達す。

【住民・政治】 人口は八百五十三萬、西班牙人の子孫最も多く、又印甸人三萬人あり、印甸人  
中のバタゴニア族は體格長大を以て著はれ平均身長六尺四寸である。面積に比して住民少いので  
大に歐洲移民を歓迎し、其の移住民も少くない、本邦人も漸く此地に移住するものあり。

政治は此國は會てリオデラプラタ聯合州と稱せしが一八二四年西班牙から獨立した。我が條約國  
で、近時教育の進歩し、國力の發展せる南米第一と稱せらる。我々條約國である。

【亞爾然丁と日本】 此の國は土地豐饒氣候温和で生産力絶大であるのに、人口は比較的少いので年々多數  
の歐洲移住民を招致し、又歐洲の資本家によりて巨大の資本が投下せられ種々の産業が發達しつつあるの  
である。斯くて本國の産業の著しき發展は全く歐洲の資本と歐洲の移民との恩澤である、従つて移民とし  
ては歐洲人を歓迎するも東洋人を喜ばない、此の國人自らも南米の白哲人國を以て誇りと爲すので目下の  
有様では本邦移民を此地に企つることは望みがないのである。現在の本邦移民數二、三二一人(大正十二年

六月末調査)

されど、貿易上に於ては逐次有望である、これ此國は産業上長足の發展を爲し富豪多く、購買力大であるからである。

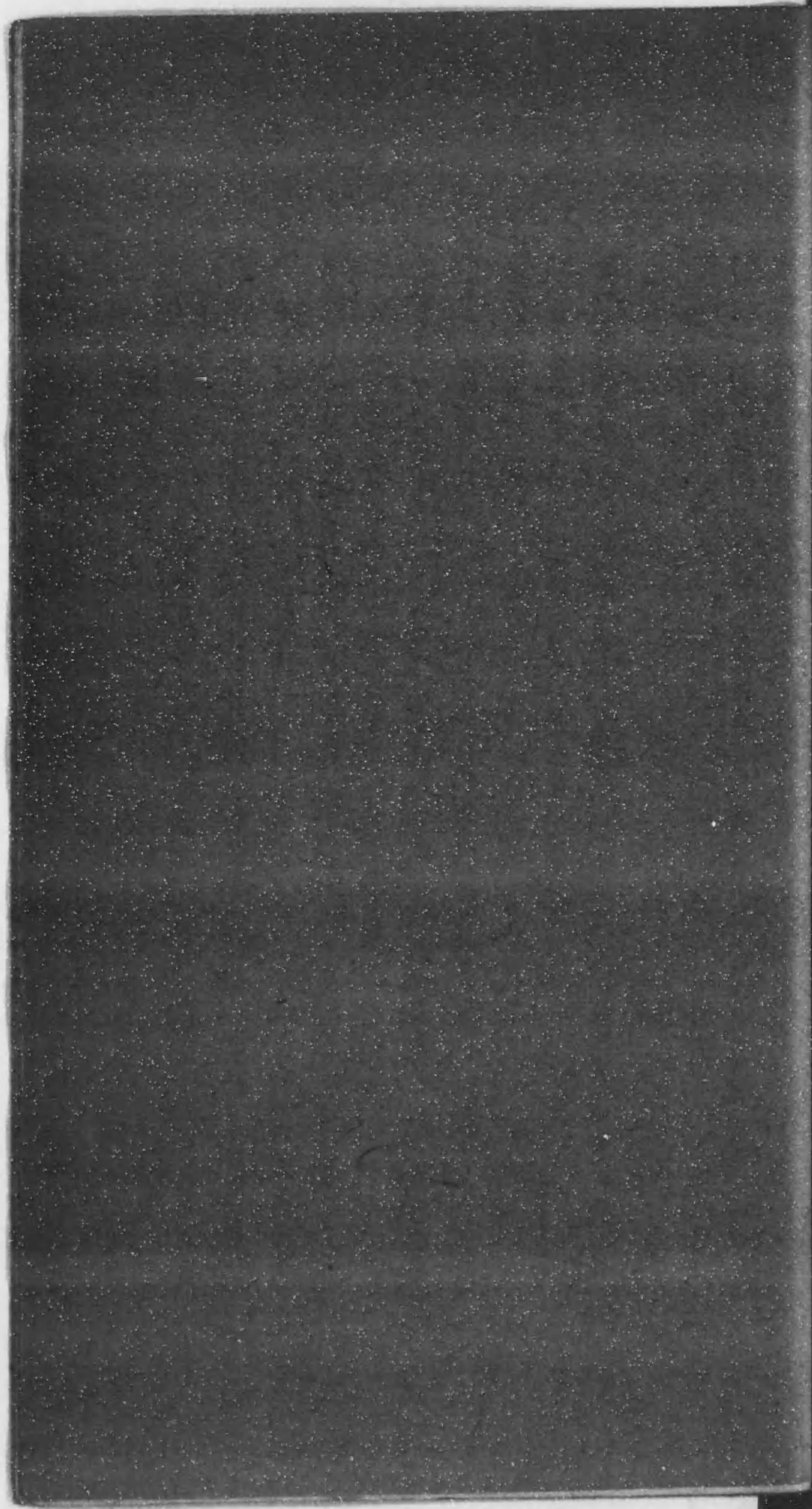
【都邑】 ブエノスアイレス (Buenos Aires) ラプラタ 江灣に臨み、水陸交通の要衝で、此國の首府で、人口百八十萬、南米最大の都會、又南半球第一の大都會である。市街美麗、風俗華奢で「南米の巴里」と稱せらる。農産・畜産の大集散地で工業も亦盛に世界有数の貿易港で、歐洲各國の船舶常に寄港し、我が大阪商船・日本郵船會社の南米航路の終點である。我が公使館及領事館がある。

○【大阪商船會社南米線】 往航 横濱—神戸—長崎—香港—西貢—新嘉坡—古倫母—モリシア—ダーバン—クープタウン—リオデジャネイロ—サントス—ブエノスアイレス。 往航日數約九十日、貨銀一等五八〇圓、三等三〇〇圓

復航 ブエノスアイレス—サントス—リオデジャネイロ—セントルシア—ハバナ—ニューヨーク—オルレアス—タリス—トベール—コロロン、バナマ—ロスアンゼルス—横濱—神戸。 復航日數約百日

○ロサリオ (Rosario) ラプラタ 河下流右岸の河港で、本國第二の都會、農産、畜産の集散地である

欠



欠

# 欠

あるか、此れ地勢其他について研究する必要があらう。

【地勢】 國の東境にはアンデス山脈蜿蜒して、殊に此地の中央に於て高峻を極めアコンカグア山の如きは七〇四二米（二、三、二四二尺）の高きに上り、南北兩米を通じての最高山と稱せられる。

海岸は北部は單調で丘陵海に迫る所多く平野少ないが、南部は稍々低夷で港灣多く、殊に最南部は海岸はフィオールド式の屈曲に富み、そして小島嶼が多い。

【氣候・産業】 氣候 北方熱帯に入り、南方寒帯に近き狭長の邦土に、加ふるに高峰東境に連互し、西方海岸にはフンボルト寒流洗ふので、氣候自ら多様であるが、北部は山脈南東貿易風を遮ぎるので、乾燥でアタカマ沙漠（Atacama）を造り、中部は氣候爽快で、我が九州地方に比すべく、南部は西風多く濕潤にして森林鬱蒼して、且南に従ひ氣温一層低下す。

産業 中央部の豊饒の溫暖地には農業行はれ本國の穀倉とも云ふべく、小麦・葡萄・甘蔗の産多く、牧畜は南部及びアンデス山麓附近に行はれ牛・馬・羊・豚を飼養す。又林業行はる。鑛業は此の國の一大産業で殊に北部の乾燥地には此國の最大富源である硝石の埋藏夥しく、又鳥糞の層がある。（鳥糞ペルー三七六頁参照）又アンデス山中には銅・石炭・金・銀を産し、硝石と共に五大鑛産